

弘前大学短期留学プログラム 授業科目シラバス

SYLLABUS OF INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

2025年度（前期・後期）

2025 I SEMESTER

2025 II SEMESTER

HIROSAKI UNIVERSITY

1 Bunkyo-cho, Hirosaki, JAPAN 036-8560

URL:<http://www.hirosaki-u.ac.jp>

目次

2025 年度 授業日程.....	1
2025 年度 授業時間割表【前期】	2
2025 年度 授業時間割表【後期】	3
2025 年度弘前大学短期留学プログラム日本語・日本事情関連科目等一覧.....	4
弘前大学総合教育棟配置図	6
履修モデル.....	8

前期 (I SEMESTER)

1. 日本語初級 1 / Basic Japanese 1	10
2. 日本語初級 2 (口頭表現 A) / Basic Japanese 2 (Oral Expression A)	12
3. 日本語初級 2 (筆記表現 A) / Basic Japanese 2 (Written Expression A)	14
4. 日本語中級 1 (総合 A) / Intermediate Japanese 1 (Integrated Course A)	16
5. 日本語中級 2 (総合 A) / Intermediate Japanese 2 (Integrated Course A)	18
6. 日本語中級 (聴解 A) / Intermediate Japanese (Listening A).....	20
7. 日本語中級 (口頭表現 A) / Intermediate Japanese (Oral Expression A).....	22
8. 日本語中上級 (読解 A) 【A1】 / Upper Intermediate Japanese (Reading A) 【A1】 ..	24
9. 日本語中上級 (作文 A) 【A3】 / Upper Intermediate Japanese (Writing A) 【A3】 ..	25
10. 日本語中上級アカデミックジャパニーズ (聴解 A) 【A5】 / Upper Intermediate Academic Japanese (Listening A) 【A5】	26
11. 日本語中上級 (文法 A) 【A7】 / Upper Intermediate Japanese (Grammar A) 【A7】	28
12. 日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーション A 【A9】 / Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-A 【A9】	29
13. 日本語上級 (読解 A) 【B1】 / Advanced Japanese (Reading A) 【B1】	31
14. 日本語上級アカデミックジャパニーズ (講義の聴解・論文の書き方 A) 【B3】 / Advanced Academic Japanese (Listening and Writing A) 【B3】	33
15. 地域プロジェクト 津軽地域文化国際共修①【教養】 / Regional Project Seminar- Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru ①.....	35
16. 地域の経済・産業 日本の国際化と地域経済ー多文化共生社会におけるキャリア① (国際共修) 【教養】 / Regional economy and industry Japan's Internationalization and Regional Economy: Careers in a Multicultural Society①.....	38
17. サークル活動に見る日本社会 ① / Insights in Japanese society through circle activity ①.....	41

18. 芸術－津軽のアートとナラティブー 【教養】／Art and narrative of the Tsugaru region	43
19. 日本美術史／Japanese Art History	45
20. 青森エクスカージョン－Cultural anthropology of Exhibition－ 【教養】／Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	46
21. 文学－日本の絵本の世界－ 【教養】／The world of Japanese picture books	48
22. 文学－日本の戦争文学－ 【教養】／Japanese war literature	50
23. 芸術－茶室の美学－ 【教養】／The Aesthetics of the Japanese Tea Room	52
24. インターンシップ A－リンゴ栽培、商品開発、マーケティング－／Internship A－Apple cultivation, product development, marketing－	54
25. インターンシップ A－観光 PR－／Internship A－Tour Promotion－	56
26. インターンシップ A－シティ・プロモーション－／Internship A－City Promotion－	58
27. インターンシップ A－Web マーケティング－／Internship A－Web marketing－	60
28. インターンシップ A－地域ツーリズム－／Internship A－Regional Tourism－	62
29. インターンシップ A－ホスピタリティ経営－ ／Internship A－Hospitality management－	64
30. インターンシップ A－アートツーリズム、プロモーション－／Internship A－Art Tourism and Promotion－	66
31. TESOL－ティーチング・プラクティス I A／TESOL－Teaching Practice I A	68
32. 児童教育－ティーチング・プラクティス I B／Childhood Education－Teaching Practice I B.....	69
33. 地域プロジェクト－ティーチングプラクティス IC／Community Project－Teaching Practice IC.....	71
34. 地域観光と地域プロモーション A／Tourism and Regional Promotion A	73
35. 自主研究 I A／Seminar I A	75
36. 自主研究 I B／Seminar I B	77
37. 自主研究 I C／Seminar I C	79
38. 自主研究 I D／Seminar I D	81
39. 自主研究 I E／Seminar I E.....	83
40. Exploring Nature and Local Realities in English.....	85

後期 (II SEMESTER)

1. 日本語初級 1 (口頭表現 B) / Basic Japanese 1 (Oral Expression)	89
2. 日本語初級 1 (筆記表現 B) / Basic Japanese 1 (Written Expression)	91
3. 日本語初級 2 (口頭表現 B) / Basic Japanese 2 (Oral Expression B)	93
4. 日本語初級 3 (口頭表現 B) / Basic Japanese 3 (Oral Expression B)	95
5. 日本語初級 3 (筆記表現 B) / Basic Japanese 3 (Written Expression B)	97
6. 日本語中級 1 (総合 B) / Intermediate Japanese 1 (Integrated Course B)	99
7. 日本語中級 2 (総合 B) / Intermediate Japanese 2 (Integrated Course B)	101
8. 日本語中級 (聴解 B) / Intermediate Japanese (Listening B)	103
9. 日本語中級 (口頭表現 B) / Intermediate Japanese (Oral Expression B)	105
10. 日本語中上級 (読解 B) 【A2】 / Upper Intermediate Japanese (Reading B) 【A2】 ..	107
11. 日本語中上級 (作文 B) 【A4】 / Upper Intermediate Japanese (Writing B) 【A4】 ..	109
12. 日本語中上級アカデミックジャパニーズ (聴解 B) 【A6】 / Upper Intermediate Academic Japanese (Listening B) 【A6】	111
13. 日本語中上級 (文法 B) 【A8】 / Upper Intermediate Japanese (Grammar B) 【A8】	113
14. 日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーション B 【A10】 / Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-B 【A10】	115
15. 日本語上級 (読解 B) 【B2】 / Advanced Japanese (Reading B) 【B2】	118
16. 日本語上級アカデミックジャパニーズ (講義の聴解・論文の書き方 B) 【B4】 / Advanced Academic Japanese (Listening and Writing B) 【B4】	120
17. 地域プロジェクト 津軽地域文化国際共修② 【教養】 / Regional Project Seminar- Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru ②.....	122
18. 地域の経済・産業 日本の国際化と地域経済ー多文化共生社会におけるキャリア②(国 際共修授業) 【教養】 / Regional economy and industry Japan's Internationalization and Regional Economy: Careers in a Multicultural Society②.....	125
19. 地域の国際化に役立つ「やさしい日本語」の実践 (国際共修授業) 【教養】 / Practicing "Easy Japanese" to help internationalize the region	128
20. サークル活動に見る日本社会 ② / Insights in Japanese society through circle activity ②.....	131
21. 国際地域・社会・文化ートランスナショナルリズムの音楽ー 【教養】 / International Area Studies/Society/CultureーMusic in Transnationalismー	133
22. 現代日本学ー日本文学とアイデンティティの形成ー 【教養】 / Modern Japanese literature and the formation of identity	135

23. 現代日本学－日本の表象文化－【教養】／Contemporary Japanology－Japanese Representation Culture－	137
24. 地域の社会・文化－津軽の近代文化史－【教養】／Survey of the modern cultural history of Tsugaru	139
25. 地域の食と産業化－Cultural anthropology of local food and dietary practices－【教養】／Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	141
26. 現代日本学－現代日本文化論－【教養】／Contemporary Japanology-Contemporary Japanese Culture-	143
27. 国際地域・社会・文化－異文化間コミュニケーション－【教養】／Intercultural communication	145
28. 国際学生フォーラム【人文】／International Student Forum	147
29. 現代日本学－日本の女性による文学－【教養】／Japanese women writers and their literature	148
30. インターンシップ B－リンゴ栽培、商品開発、マーケティング－／Internship B－Apple cultivation, product development, marketing－	150
31. インターンシップ B－観光 PR－／Internship B－Tour Promotion－	152
32. インターンシップ B－シティ・プロモーション－／Internship B－City Promotion－	154
33. インターンシップ B－Web マーケティング－／Internship B－Web marketing－	156
34. インターンシップ B－地域ツーリズム－／Internship B－Regional Tourism－	158
35. インターンシップ B－ホスピタリティ経営－／Internship B－Hospitality management－	160
36. インターンシップ B－アートツーリズム、プロモーション－／Internship B－Art Tourism and Promotion－	162
37. TESOL－ティーチング・プラクティス II A／TESOL－Teaching Practice II A	164
38. 児童教育－ティーチング・プラクティス II B／Childhood Education－Teaching Practice II B	165
39. 地域プロジェクト－ティーチングプラクティス II C／Community Project -Teaching Practice II C	167
40. 地域観光と地域プロモーション B／Tourism and Regional Promotion B	169
41. 自主研究 II A／Seminar II A	171
42. 自主研究 II B／Seminar II B	173
43. 自主研究 II D／Seminar II D	175
44. 自主研究 II E／Seminar II E	177
45. 英語による日本の文化と文学学習／Japanese Culture and Literature in English	179
46. 日本の歌と文化／Japanese Songs and Culture	182

2025年度 授業日程

前期（網かけ期日は授業日）									後期（網かけ期日は授業日）								
	日	月	火	水	木	金	土	備考		日	月	火	水	木	金	土	備考
2025 年 4月			1	2	3	4	5	4日 入学式 ※1 1～10日 ガイダンス・履修相談等 11日 前期授業開始日 (4月中旬～6月下旬 定期健康診断) 30日 火曜日の授業	10月				1	2	3	4	1日 秋季入学式 ※1 後期授業開始日 1日 月曜日の授業 14日 月曜日の授業 17日午後～19日 総合文化祭(仮) 17・20日 全日休講日(仮) 23日 金曜日の授業 24日 全日休講日(仮) 25・26日 総合型選抜入試(仮) ※6
	6	7	8	9	10	11	12			5	6	7	8	9	10	11	
	13	14	15	16	17	18	19			12	13	14	15	16	17	18	
	20	21	22	23	24	25	26			19	20	21	22	23	24	25	
	27	28	29	30						26	27	28	29	30	31		
5月					1	2	3	31日 開学記念日	11月							1	5日 月曜日の授業
	4	5	6	7	8	9	10			2	3	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	16	17			9	10	11	12	13	14	15	
	18	19	20	21	22	23	24			16	17	18	19	20	21	22	
	25	26	27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28	29	
										30							
6月	1	2	3	4	5	6	7		12月		1	2	3	4	5	6	26日 冬季休業前授業最終日
	8	9	10	11	12	13	14			7	8	9	10	11	12	13	
	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20	
	22	23	24	25	26	27	28			21	22	23	24	25	26	27	
	29	30								28	29	30	31				
7月			1	2	3	4	5	※7月中の11・12時限は補講期間。原則、1～15日を専門教育科目、16～31日を教養教育科目 18日 月曜日の授業	2026 年 1月					1	2	3	5日 冬季休業後授業再開日 5～15日メディア授業 15日 月曜日の授業 16日 全日休講日(仮) 17,18日 大学入学共通テスト(仮) ※3 ※1月中の11・12時限は補講期間。原則、5～15日を専門教育科目、19～30日を教養教育科目
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10	
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	21	22	23	24	
	27	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30	31	
8月						1	2	6日 前期授業・試験終了日 8日オープンキャンパス ※2 12～14日一斉休業	2月	1	2	3	4	5	6	7	6日 後期授業・試験終了日 25,26日 個別学力検査(前期日程)(仮) ※4
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14	
	10	11	12	13	14	15	16			15	16	17	18	19	20	21	
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	25	26	27	28	
	24	25	26	27	28	29	30										
	31																
9月		1	2	3	4	5	6	30日 秋季学位記授与式 ※1	3月	1	2	3	4	5	6	7	12日 個別学力検査(後期日程)(仮) ※5 23日 学位記授与式 ※1
	7	8	9	10	11	12	13			8	9	10	11	12	13	14	
	14	15	16	17	18	19	20			15	16	17	18	19	20	21	
	21	22	23	24	25	26	27			22	23	24	25	26	27	28	
	28	29	30							29	30	31					
計	—	15	15	17	16	17	—	※○→国民の休日、振替休日	計	—	12	17	18	18	15	—	※○→国民の休日、振替休日

授業実施日の曜日振替調整後

	月	火	水	木	金
前期	15 +	15 +	15 +	15 +	15 +
	1	1	1	1	1

前期 75+5

	月	火	水	木	金
後期	15 +	15 +	15 +	15 +	15 +
	1	1	1	1	1

後期 75+5

※定期健康診断に伴い休講を措置した場合、7月・1月の補講期間に授業の実施を考慮するものとする。

※7月、1月の補講期間に関わらず、担当教員が学生と調整の上、適宜補講を実施するものとする。

※1: 弘前大学入学式及び学位記授与式の日程に関する申告せによる

※2: 基本的に8月8日

※3: 文部科学省より実施方針[1月13日以降の最初の土・日曜日]

※4: 弘前大学個別学力検査日取り決め[日にち2月25日、26日]

※5: 弘前大学個別学力検査日取り決め[日にち3月12日]

※6: 弘前大学個別学力検査日取り決め[総合型選抜試験の実施日は総合文化祭実施日の一週間後の土・日曜日とする。]

2025年度前期 時間割(2025.4～2025.9)

曜日	1・2時限(8:40～10:10)	3・4時限(10:20～11:50)	5・6時限(12:40～14:10)	7・8時限(14:20～15:50)	9・10時限(16:00～17:30)
月	日本語中上級アカデミックジャパニーズ(聴解A)【A5】 〔山崎〕	日本語初級2(口頭表現A)〔山崎〕	日本語中級(聴解A)〔長尾〕	サークル活動に見る日本社会①〔諏訪〕	地域プロジェクトーティーチングプラクティスIC 〔サワダ〕
				インターンシップAーアートツーリズム、プロモーションー 〔サワダ〕	
火	日本語初級1〔小山〕	日本語中級1(総合A)〔長尾〕	日本語中上級(読解A)【A1】〔新川〕	日本美術史〔諏訪〕	インターンシップA-Webマーケティング-〔サワダ〕
		日本語初級2(口頭表現A)〔田中〕	芸術-津軽のアートとナラティブ-〔サワダ〕	TESOL-ティーチング・プラクティスⅠA 〔立田・佐藤(剛)・サワダ〕	
		日本語中級2(総合A)〔小笠原〕		地域プロジェクト 津軽地域文化国際共修① 〔高橋〕	
		日本語中上級(作文A)【A3】〔新川〕			
水		日本語上級アカデミックジャパニーズ(講義の聴解・論文の 書き方A)【B3】〔高橋〕	文学-日本の絵本の世界-〔サワダ〕	インターンシップA-リング栽培、商品開発、マーケティング- 〔サワダ〕	インターンシップA-地域ツーリズム-〔サワダ〕
		日本語初級1〔小山〕	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションA【A9】 〔高橋〕		
			青森エクスカッション-Cultural anthropology of Exhibition- 〔諏訪〕	日本語初級2(口頭表現A)〔長尾〕	Exploring Nature and Local Realities in English 〔ソロモン・ヤグノ・片桐〕
木	地域観光と地域プロモーションA〔鹿嶋〕	日本語初級2(筆記表現A)〔田中〕	文学-日本の戦争文学〔サワダ〕	日本語中級1(総合A)〔長尾〕	芸術-茶室の美学-〔サワダ〕
		日本語中級2(総合A)〔小笠原〕		地域の経済・産業 日本の国際化と地域経済ー多文化共生 社会におけるキャリア①(国際共修) 〔高橋〕	
		日本語中上級(文法A)【A7】〔新川〕	日本語初級1〔小山〕		
金	日本語上級(読解A)【B1】〔山崎〕	日本語中級(口頭表現A)〔山崎〕	インターンシップA-シティ・プロモーション- 〔サワダ〕	児童教育-ティーチング・プラクティスⅠB〔サワダ〕	インターンシップA-ホスピタリティ経営-〔サワダ〕
		日本語初級1〔小山〕	インターンシップA-観光PR-〔サワダ〕		
その他	【日本語・日本事情関連科目】 自主研究ⅠA〔諏訪〕(時間応相談) 自主研究ⅠB〔サワダ〕(時間応相談) 自主研究ⅠC〔高橋〕(時間応相談) 自主研究ⅠD〔澤田〕(時間応相談) 自主研究ⅠE〔長尾〕(時間応相談)				

■受講の注意点

1. 水曜7・8時限「青森エクスカッションーCultural anthropology of Exhibitionー」〔諏訪〕は、5月下旬または6月にフィールドワーク(1回)があります。受講する場合は、スケジュールを確保してから受講してください。
2. 「インターンシップA-シティ・プロモーション-」、「インターンシップA-観光PR-」、「インターンシップA-地域ツーリズム-」、「インターンシップA-リング栽培、商品開発、マーケティング-」〔サワダ〕は週末に実習を行います(主に土曜日ですが、場合によっては日曜日)。受講する場合は、スケジュールを確保してから受講してください。「インターンシップA-シティ・プロモーション-」と「インターンシップA-観光PR-」は事前指導とフィードバックを同じ日程(金曜日5・6時限)・同じ講義室で行います。
3. 火曜5・6時限「津軽のアートとナラティブ」〔サワダ〕は4月26日(土)にフィールドワークがあります。受講する場合はスケジュールを確保してください。
4. 水曜5・6時限「日本の絵本の世界」〔サワダ〕は6月29日(日)にフィールドワークがあります。受講する場合はスケジュールを確保してください。
5. 火曜7・8限の「地域プロジェクトー津軽地域文化国際共修①」は、5月と6月の土曜日(もしくは日曜日)に2回フィールドトリップがあります。スケジュールを確認してから受講してください。

日本語初級(1、2)
日本語中級
日本語中上級
日本語上級
教養教育科目
日本語・日本事情関連科目

2025年度後期 時間割(2025.10～2026.3)

曜日	1・2時限(8:40～10:10)	3・4時限(10:20～11:50)	5・6時限(12:40～14:10)	7・8時限(14:20～15:50)	9・10時限(16:00～17:30)
月	日本語中上級アカデミックジャパニーズ(聴解B)【A6】 〔山崎〕	日本語初級1(口頭表現B)〔山崎〕	日本語初級3(口頭表現B)〔志喜屋〕	サークル活動に見る日本社会②〔諏訪〕	国際地域・社会・文化・トランスナショナリズムの音楽― 〔諏訪〕
		日本語初級2(口頭表現B)〔小山〕	日本語中級(聴解B)〔長尾〕	地域の国際化に役立つ「やさしい日本語」の実践(国際共修 授業)〔高橋〕	地域プロジェクト―ティーチングプラクティスⅢC 〔サワダ〕
火		日本語中上級(作文B)【A4】〔新川〕	日本語中上級(読解B)【A2】〔新川〕	地域プロジェクト 津軽地域文化国際共修② 〔高橋〕	現代日本学-日本の表象文化-〔諏訪〕
		日本語中級1(総合B)〔長尾〕	現代日本学-日本文学とアイデンティティの形成- 〔サワダ〕	インターンシップB-Webマーケティング- 〔サワダ〕	TESOL-ティーチング・プラクティスⅡA 〔佐藤(剛)・バードセル・サワダ〕
		日本語中級2(総合B)〔小笠原〕			英語による日本の文化と文学学習 〔ソロモン〕
		日本語初級1(口頭表現)〔小山〕			
水		日本語初級3(筆記表現B)〔田中〕	現代日本学-現代日本文化論- 〔諏訪〕	インターンシップB-リング栽培、商品開発、マーケティング- 〔サワダ〕	国際地域・社会・文化-異文化間コミュニケーション- 〔長尾〕
		日本語上級アカデミックジャパニーズ (講義の聴解・論文の書き方B)【B4】 〔高橋〕	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションB【A10】 〔高橋〕		
			地域の社会・文化-津軽の近代文化史- 〔サワダ〕	日本の歌と文化〔小田〕	国際学生フォーラム【人文】 〔サワダ〕
木	地域観光と地域プロモーションB〔鹿嶋〕	日本語初級1(筆記表現)〔田中〕	現代日本学-日本の女性による文学-〔サワダ〕	地域の経済・産業 日本の国際化と地域経済―多文化共生 社会におけるキャリア②(国際共修授業) 〔高橋〕	日本語初級3(口頭表現B)〔志喜屋〕
		日本語中級2(総合B)〔小笠原〕			インターンシップB-地域ツーリズム-〔サワダ〕
		日本語中上級(文法B)【A8】〔新川〕	地域の食と産業化-Cultural anthropology of local food and dietary practices-〔諏訪〕	日本語中級1(総合B)〔長尾〕	
金	日本語上級(読解B)【B2】〔山崎〕	日本語中級(口頭表現B)〔山崎〕	インターンシップB-シティ・プロモーション-〔サワダ〕	児童教育-ティーチング・プラクティスⅡB〔サワダ〕	インターンシップB-ホスピタリティ経営-〔サワダ〕
		日本語初級1(口頭表現)〔小山〕			
			インターンシップB-観光PR-〔サワダ〕		
その他	【日本語・日本事情関連科目】 自主研究ⅡA〔諏訪〕(時間応相談) 自主研究ⅡB〔サワダ〕(時間応相談) 自主研究ⅡD〔澤田〕(時間応相談) 自主研究ⅡE〔長尾〕(時間応相談)				

■受講の注意点

1. 月曜9・10時限「国際地域・社会・文化―トランスナショナリズムの音楽―」〔諏訪〕は、受講相談した上で、受講してください。

2. 「インターンシップB-シティ・プロモーション-」、「インターンシップB-観光PR-」、「インターンシップB-地域ツーリズム-」、「インターンシップB-リング栽培、商品開発、マーケティング-」〔サワダ〕は週末に実習を行います(主に土曜日ですが、場合によっては日曜日)。
受講する場合は、スケジュールを確保してから受講してください。「インターンシップB-シティ・プロモーション」と「インターンシップB-観光PR-」は事前指導とフィードバックを同じ日程(金曜5・6時限)・同じ講義室で行います。

3. 火曜7・8限の「地域プロジェクト―津軽地域文化国際共修②」は、11月と12月の土曜日(もしくは日曜日)に2回フィールドトリップがあります。スケジュールを確認してから受講してください。

4. 水曜5・6時限「津軽の近代文化史」〔サワダ〕は11月8日(土)にフィールドワークがあります。受講する場合はスケジュールを確保してください。

日本語初級(1、2、3)

日本語中級

日本語中上級

日本語上級

教養教育科目

日本語・日本事情関連科目

(案)2025年度 弘前大学短期留学プログラム 日本語・日本事情関連科目等一覧

The list of Japanese Language and Japanese culture classes for Hirosaki University short-term program in 2025

■前期 I semester

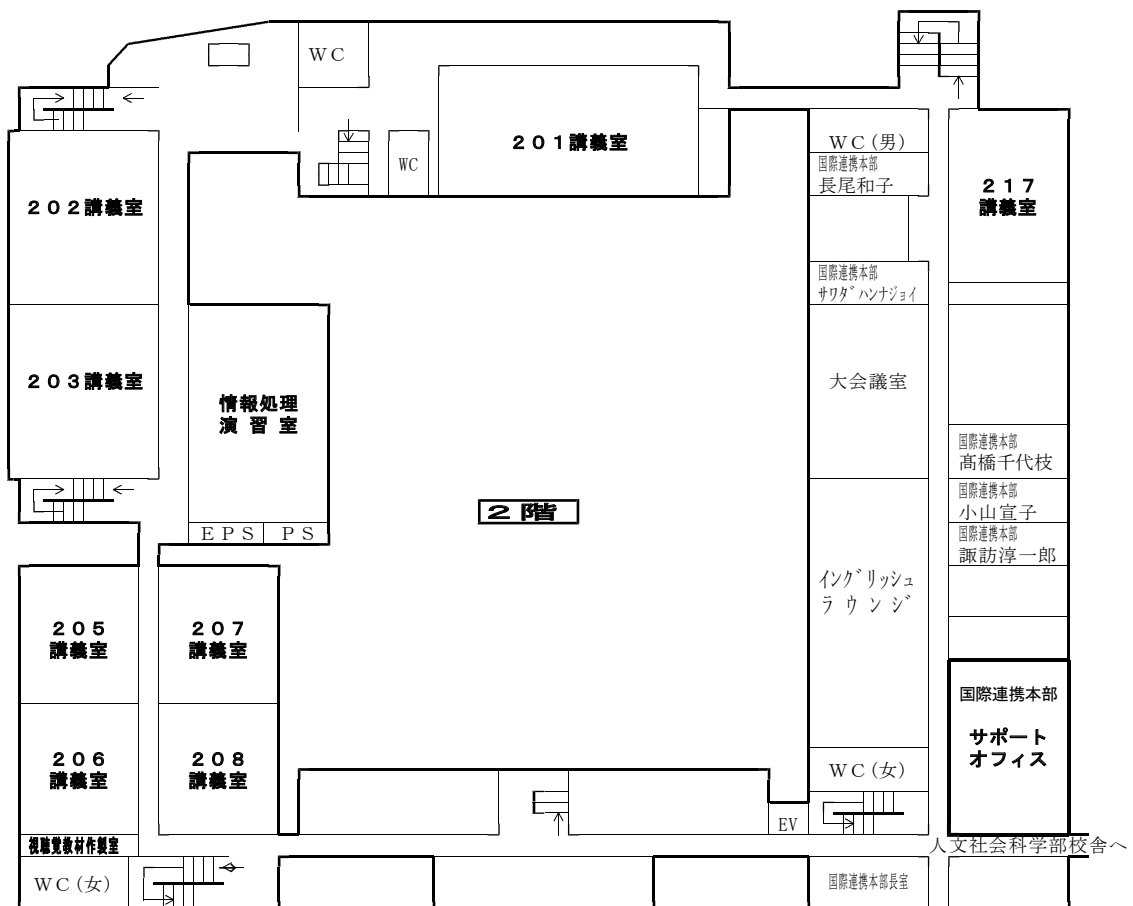
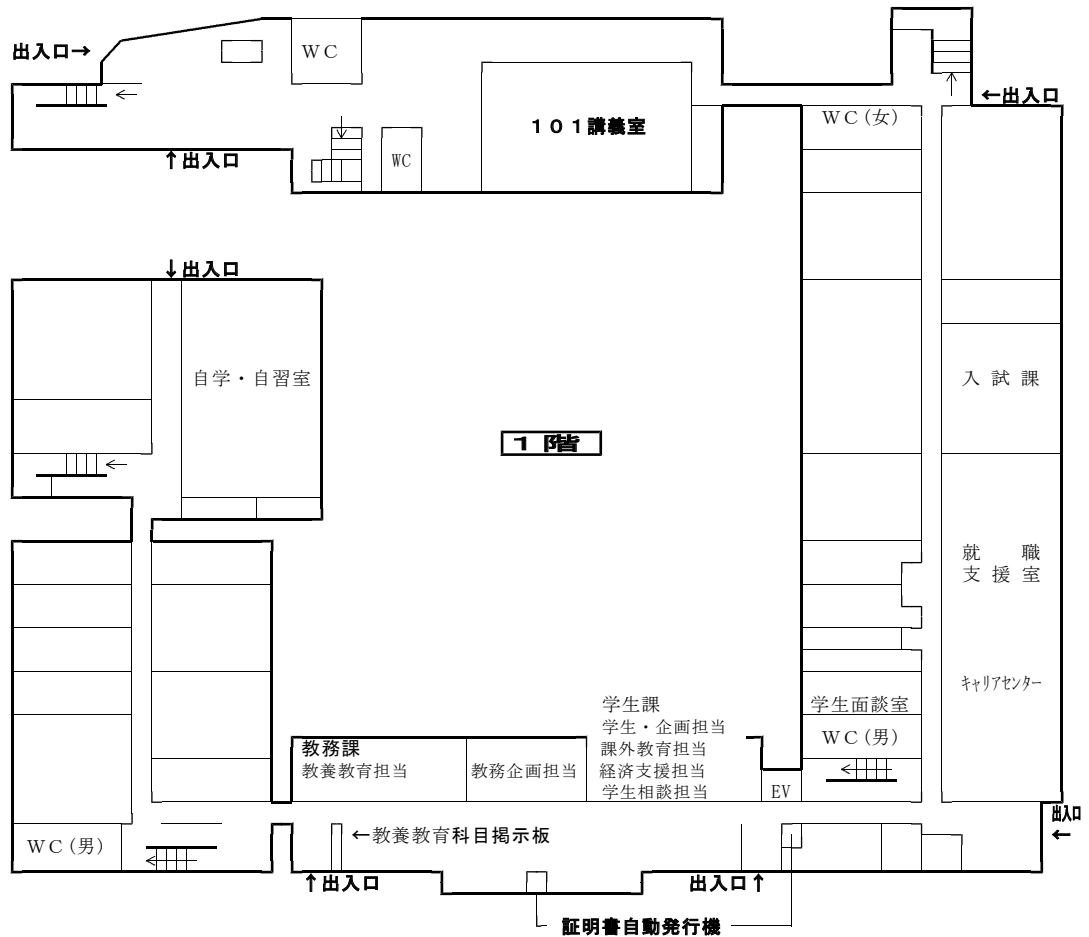
番号/No	科目名(日本語)/Subject(Japanese)	科目名(英語)/Subject(English)	開講枠/Date and time			担当教員/Lecturer	単位数 /Credits	備考/Notes	区分
			曜日/The day of week	時限/Period	日本時間/Japan time				
1	日本語初級1	Basic Japanese 1	火・水・木・金/Tue・Wed・Thu・Fri	火 1・2 水・金 3・4 木 5・6	8:40 A.M. - 10:10 A.M. 10:20 A.M. - 11:50 A.M. 12:40 P.M. - 2:10 P.M.	小山/Oyama	8		日本語
2	日本語初級2(口頭表現A)	Basic Japanese 2(Oral Expression A)	月・火・水/Mon・Tue・Wed	月・火 3・4 水 7・8	10:20 A.M. - 11:50 A.M. 2:20 P.M. - 3:50 P.M.	長尾(水)・山崎(月)・田中(火)/Nagao・Yamazaki・Tanaka	6		
3	日本語初級2(筆記表現A)	Basic Japanese 2(Written Expression A)	木/Thu	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	田中/Tanaka	2		
4	日本語中級1(総合A)	Intermediate Japanese 1(Integrated Course A)	火・木/Tue・Thu	火 3・4 木 7・8	10:20 A.M. - 11:50 A.M. 2:20 P.M. - 3:50 P.M.	長尾/Nagao	4		
5	日本語中級2(総合A)	Intermediate Japanese 2(Integrated Course A)	火・木/Tue・Thu	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	小笠原/Ogasawara	4		
6	日本語中級(聴解A)	Intermediate Japanese (Listening A)	月/Mon	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	長尾/Nagao	2		
7	日本語中級(口頭表現A)	Intermediate Japanese (Oral Expression A)	金/Fri	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	山崎/Yamazaki	2		
8	日本語中上級(読解A)【A1】	Upper Intermediate Japanese (Reading A)【A1】	火/Tue	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	新川/Niikawa	2		
9	日本語中上級(作文A)【A3】	Upper Intermediate Japanese(Writing A)【A3】	火/Tue	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	新川/Niikawa	2		
10	日本語中上級アカデミックジャパニーズ(聴解A)【A5】	Upper Intermediate Academic Japanese (Listening A)【A5】	月/Mon	1・2	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	山崎/Yamazaki	2		
11	日本語中上級(文法A)【A7】	Upper Intermediate Japanese(Grammar A)【A7】	木/Thu	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	新川/Niikawa	2		
12	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションA【A9】	Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-A【A9】	水/Wed	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	高橋/Takahashi	2		
13	日本語上級(読解A)【B1】	Advanced Japanese (Reading A) 【B1】	金/Fri	1・2	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	山崎/Yamazaki	2		
14	日本語上級アカデミックジャパニーズ(講義の聴解・論文の書き方A)【B3】	Advanced Academic Japanese (Listening and Writing A)【B3】	水/Wed	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A. M.	高橋/Takahashi	2		
15	地域プロジェクト 津軽地域文化国際共修①【教養】	Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regionlal culture of Tsugaru ①	火/Tue	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	高橋/Takahashi	2	使用言語: 日本語Japanese(英語その他によるサポートありEnglish or easy Japanese support will be offer)	リベラルアーツ
16	地域の経済・産業 日本の国際化と地域経済ー多文化共生社会におけるキャリア①(国際共修)【教養】	Regional economy and industry Japan's Internationalization and Regional Economy: Careers in a Multicultural Society①	木/Thu	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	高橋/Takahashi	2	使用言語: 日本語Japanese(英語その他によるサポートありEnglish or easy Japanese support will be offer)	
17	サークル活動に見る日本社会 ①	Insights in Japanese society through circle activity ①	月/Mon	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	諏訪/Suwa	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
18	芸術ー津軽のアートとナラティブー【教養】	Art and narrative of the Tsugaru region	火/Tue	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
19	日本美術史	Japanese Art History	火/Tue	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	諏訪/Suwa	2	使用言語: 英語 English	
20	青森エクスカーションーCultural anthropology of Exhibitionー【教養】	Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	水/Wed	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	諏訪/Suwa	2	使用言語: 英語English	
21	文学ー日本の絵本の世界ー【教養】	The world of Japanese picture books	水/Wed	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
22	文学ー日本の戦争文学ー【教養】	Japanese war literature	木/Thu	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
23	芸術ー茶室の美学ー【教養】	The Aesthetics of the Japanese Tea Room	木/Thu	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
24	インターンシップAーリンゴ栽培、商品開発、マーケティングー	Internship AーApple cultivation, product development, marketingー	水/Wed	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	サワダ/Sawada	2		
25	インターンシップAー観光PRー	Internship AーTour Promotionー	金/Fri	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2		
26	インターンシップAーシティ・プロモーションー	Internship AーCity Promotionー	金/Fri	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2		
27	インターンシップAーWebマーケティングー	Internship AーWeb marketingー	火/Tue	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	サワダ/Sawada	2		
28	インターンシップAー地域ツーリズムー	Internship AーRegional Tourismー	水/Wed	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	サワダ/Sawada	2		
29	インターンシップAーホスピタリティ経営ー	Internship AーHospitality managementー	金/Fri	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	サワダ/Sawada	2		
30	TESOLーティーチング・プラクティス I A	TESOLーTeaching Practice I A	火/Tue	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	立田・サワダ・佐藤(剛)/Tatsuta・Sawada・Sato	2		
31	児童教育ーティーチング・プラクティス I B	Childhood EducationーTeaching Practice I B	金/Fri	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	サワダ/Sawada	2		
32	インターンシップAーアートツーリズム、プロモーションー	Internship AーArt Tourism and Promotionー	月/Mon	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	サワダ/Sawada	2		
33	地域プロジェクトーティーチングプラクティスIC	Community Project -Teaching Practice IC	月/Mon	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	サワダ/Sawada	2		
34	地域観光と地域プロモーションA	Tourism and Regional Promotion A	木/Thu	1・2	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	鹿嶋/Kashima	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
35	自主研究 I A	Seminar I A	相談の上、決定			諏訪/Suwa	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
36	自主研究 I B	Seminar I B	相談の上、決定			サワダ/Sawada	2		
37	自主研究 I C	Seminar I C	相談の上、決定			高橋/Takahashi	2		
38	自主研究 I D	Seminar I D	相談の上、決定			澤田/Sawada【人文】	2		
39	自主研究 I E	Seminar I E	相談の上、決定			長尾/Nagao	2		
40	Exploring Nature and Local Realities in English	Exploring Nature and Local Realities in English	水/Wed	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	ソロモン・ヤグノ・片桐/Solomon・Jagno・Katagiri	2	使用言語: 英語English	

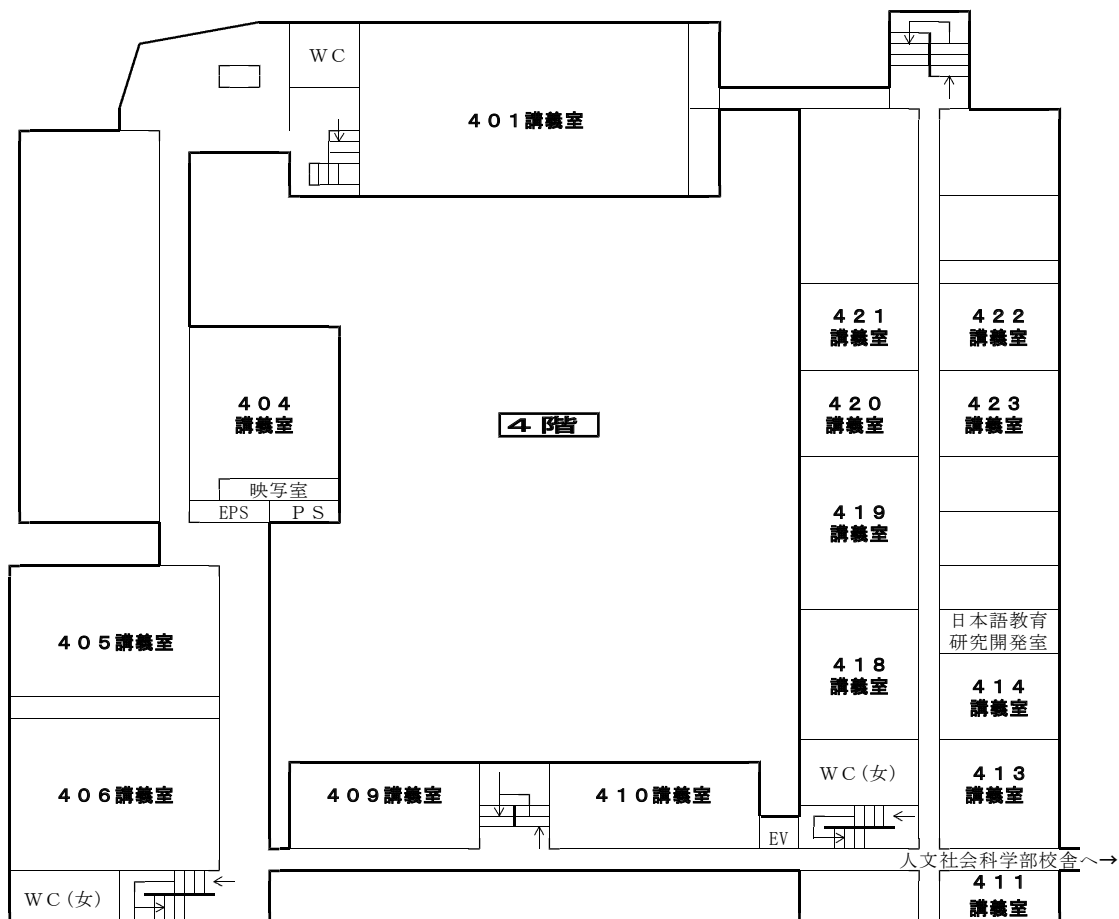
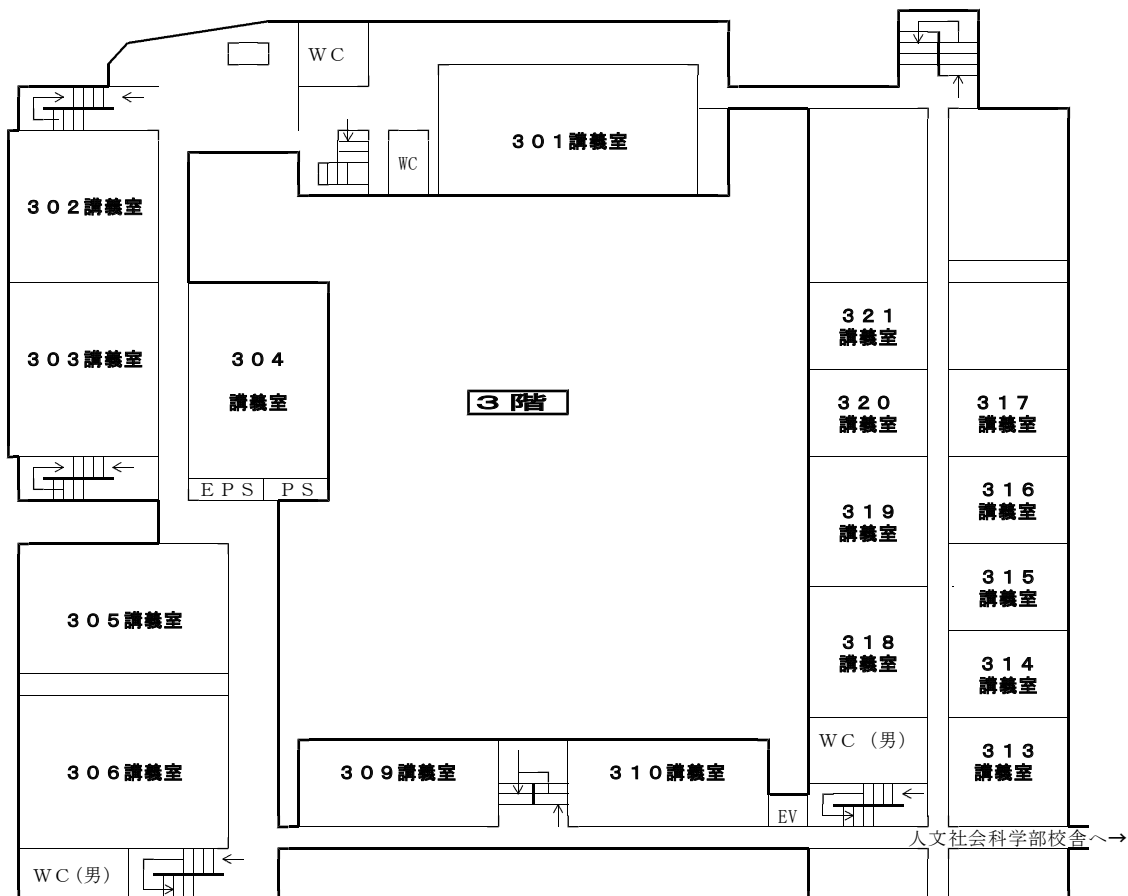
■後期 II semester

番号/No.	科目名(日本語)/Subject(Japanese)	科目名(英語)/Subject(English)	開講枠/Date and time			担当教員/Lecturer	単位数 /Credits	備考/Notes	区分
			曜日/The day of week	時限/Period	日本時間/Japan time				
1	日本語初級1(口頭表現)	Basic Japanese 1(Oral Expression)	月・火・金/Mon・Tue・Fri	月・火・金3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	山崎(月)・小山(火金)/Yamazaki・Oyama	6		日本語
2	日本語初級1(筆記表現)	Basic Japanese 1(Written Expression)	木/Thu	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	田中/Tanaka	2		
3	日本語初級2(口頭表現B)	Basic Japanese 2(Oral Expression B)	月・木/Mon・Thu	月3・4 木7・8	10:20 A.M. - 11:50 A.M. 2:20 P.M. - 3:50 P.M.	小山/Oyama	4		
4	日本語初級3(口頭表現B)	Basic Japanese 3(Oral Expression B)	月・木/Mon・Thu	月5・6 木9・10	12:40 P.M. - 2:10 P.M. 4:00 P.M. - 5:30 P.M.	志喜屋/Shikiya	4		
5	日本語初級3(筆記表現B)	Basic Japanese 3(Written Expression B)	水/Wed	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	田中/Tanaka	2		
6	日本語中級1(総合B)	Intermediate Japanese 1(Integrated Course B)	火・木/Tue・Thu	火3・4 木7・8	10:20 A.M. - 11:50 A.M. 2:20 P.M. - 3:50 P.M.	長尾/Nagao	4		
7	日本語中級2(総合B)	Intermediate Japanese 2(Integrated Course B)	火・木/Tue・Thu	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	小笠原/Ogasawara	4		
8	日本語中級(聴解B)	Intermediate Japanese (Listening B)	月/Mon	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	長尾/Nagao	2		
9	日本語中級(口頭表現B)	Intermediate Japanese (Oral Expression B)	金/Fri	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	山崎/Yamazaki	2		
10	日本語中上級(読解B)【A2】	Upper Intermediate Japanese(Reading B)【A2】	火/Tue	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	新川/Niikawa	2		
11	日本語中上級(作文B)【A4】	Upper Intermediate Japanese(Writing B)【A4】	火/Tue	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	新川/Niikawa	2		
12	日本語中上級アカデミックジャパニーズ(聴解B)【A6】	Upper Intermediate Academic Japanese (Listening B)【A6】	月/Mon	1・2	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	山崎/Yamazaki	2		
13	日本語中上級(文法B)【A8】	Upper Intermediate Japanese(Grammar B)【A8】	木/Thu	3・4	10:20 A.M. - 11:50 A.M.	新川/Niikawa	2		
14	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションB【A10】	Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-B【A10】	水/Wed	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	高橋/Takahashi	2		
15	日本語上級(読解B)【B2】	Advanced Japanese (Reading B)【B2】	金/Fri	1・2	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	山崎/Yamazaki	2		
16	日本語上級アカデミックジャパニーズ(講義の聴解・論文の書き方B)【B4】	Advanced Academic Japanese (Listening and Writing B)【B4】	水/Wed	3・4	10:20 AM- 11:50 AM	高橋/Takahashi	2		
17	地域プロジェクト 津軽地域文化国際共修②【教養】	Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru ②	火/Tue	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	高橋/Takahashi	2	使用言語: 日本語Japanese(英語その他によるサポートありEnglish or easy Japanese support will be offer)	リベラルアーツ
18	地域の経済・産業 日本の国際化と地域経済ー多文化共生社会におけるキャリア②(国際共修授業)【教養】	Regional economy and industry Japan's Internationalization and Regional Economy: Careers in a Multicultural Society②	木/Thu	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	高橋/Takahashi	2	使用言語: 日本語Japanese(英語その他によるサポートありEnglish or easy Japanese support will be offer)	
19	地域の国際化に役立つ「やさしい日本語」の実践(国際共修授業)【教養】	Practicing "Easy Japanese" to help internationalize the region	月/Mon	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	高橋/Takahashi	2	使用言語: 日本語Japanese(英語その他によるサポートありEnglish or easy Japanese support will be offer)	
20	サークル活動に見る日本社会 ②	Insights in Japanese society through circle activity ②	月/Mon	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	諏訪/Suwa	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
21	国際地域・社会・文化ートランスナショナルイズムの音楽ー【教養】	International Area Studies/Society/CultureーMusic in Transnationalismー	月/Mon	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	諏訪/Suwa	2		
22	現代日本学ー日本文学とアイデンティティの形成ー【教養】	Modern Japanese literature and the formation of identity	火/Tue	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
23	現代日本学ー日本の表象文化ー【教養】	Contemporary Japanology-Japanese Representation Cultureー	火/Tue	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	諏訪/Suwa	2	使用言語: 日本語Japanese	
24	地域の社会・文化ー津軽の近代文化史ー【教養】	Survey of the modern cultural history of Tsugaru	水/Wed	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
25	地域の食と産業化ーCultural anthropology of local food and dietary practicesー【教養】	Japanese Local Food Culture and Dietary Practices	木/Thu	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	諏訪/Suwa	2	使用言語: 英語 English	
26	現代日本学ー現代日本文化論ー【教養】	Contemporary Japanology-Contemporary Japanese Cultureー	水/Wed	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	諏訪/Suwa	2	使用言語: 日本語Japanese	
27	国際地域・社会・文化ー異文化間コミュニケーションー【教養】	Intercultural communication	水/Wed	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	長尾/Nagao	2		
28	国際学生フォーラム【人文】	International Student Forum	水・Wed	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
29	現代日本学ー日本の女性による文学ー【教養】	Japanese women writers and their literature	木/Thu	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M.	サワダ/Sawada	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
30	インターンシップBーリンゴ栽培、商品開発、マーケティングー	Internship BーApple cultivation, product development, marketingー	水/Wed	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	サワダ/Sawada	2		
31	インターンシップBー観光PRー	Internship BーTour Promotionー	金/Fri	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M	サワダ/Sawada	2		
32	インターンシップBーシティ・プロモーションー	Internship BーCity Promotionー	金/Fri	5・6	12:40 P.M. - 2:10 P.M	サワダ/Sawada	2		
33	インターンシップBーWebマーケティングー	Internship BーWeb marketingー	火/Tue	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	サワダ/Sawada	2		
34	インターンシップBー地域ツーリズムー	Internship BーRegional Tourismー	木/Thu	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M	サワダ/Sawada	2		
35	インターンシップBーホスピタリティ経営ー	Internship BーHospitality managementー	金/Fri	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	サワダ/Sawada	2		
36	TESOLーティーチング・プラクティスⅡA	TESOLーTeaching Practice ⅡA	火/Tue	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	佐藤・バードセル・サワダ/Sato・Birdsell・Sawada	2		
37	児童教育ーティーチング・プラクティスⅡB	Childhood EducationーTeaching Practice ⅡB	金/Fri	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	サワダ/Sawada	2		
38	インターンシップBーアートツーリズム、プロモーションー	Internship BーArt Tourism and Promotionー	月/Mon	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	サワダ/Sawada	2		
39	地域プロジェクトーティーチングプラクティスIIC	Community Project ーTeaching Practice IIC	月/Mon	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	サワダ/Sawada	2		
40	地域観光と地域プロモーションB	Tourism and Regional Promotion B	木/Thu	1・2	8:40 A.M. - 10:10 A.M.	鹿嶋/Kashima	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
41	自主研究 ⅡA	Seminar ⅡA	相談の上、決定			諏訪/Suwa	2	使用言語: 英語/日本語Taught in Japanese & English	
42	自主研究 ⅡB	Seminar ⅡB	相談の上、決定			サワダ/Sawada	2		
43	自主研究 ⅡD	Seminar ⅡD	相談の上、決定			澤田/Sawada【人社】	2		
44	自主研究 ⅡE	Seminar ⅡE	相談の上、決定			長尾/Nagao	2		
45	英語による日本の文化と文学学習	Japanese Culture and Literature in English	火/Tue	9・10	4:00 P.M. - 5:30 P.M.	ソロモン/Solomon	2	使用言語: 英語English(日本語その他によるサポートありJapanese or easy Japanese support will be offer)	
46	日本の歌と文化	Japanese Songs and Culture	水/Wed	7・8	2:20 P.M. - 3:50 P.M.	小田/Oda	2	N3以上の日本語能力を有することが望ましい。 N3 or higher Japanese language proficiency is desirable.	

総合教育棟 校舎配置図

(2025年4月1日現在)





履修モデル Curriculum Model

	初級・中級 Basic & Intermediate	中上級 Upper Intermediate	上級 Advanced
日本語	3～4コマ 3 courses	3～4コマ 3 or 4 courses	2～3 コマ
リベラル アーツ	3～4コマ以上 3 or more courses	3～4コマ以上 3 or more courses	4～5 コマ 以上
専門	要相談 speak to supervisor	要相談 speak to supervisor	

前期

(I Semester)

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級 1 Basic Japanese 1
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	8 単位 (credits)
学期 semester	前 期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	Tuesday8:40-10:10, Wednesday10:20-11:50, Thursday12:40-14:10, Friday10:20-11:50
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小山 宣子 (国際連携本部) Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	Can greet people in Japanese, shop in Japanese, use necessary Japanese when using public transportation, talk about daily activities, use Japanese when eating out, talk about plans and things they have done, talk with friends(1)
授業の概要 course description	<p>Basic Japanese is a basic training in Japanese. Each section consists of the same type of activities.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Letters and Pronunciation 2. "Scene Conversation" for each part of the textbook 3. Checking and practicing sentence patterns 4. Applied conversation 5. Activities, reading and writing for each lesson <p>By repeating these activities, students build a solid foundation in beginning Japanese. A solid foundation is essential for sufficiently advanced and detailed language activities in the upper levels.</p>
授業の内容予定 schedule of the class	<p>1st week Hiragana Part 1 of Lesson1 2nd week Katakana Part 2 of Lesson1 3rd week Part 3 of Lesson1, Activities, Reading and Writing 4th week Part 1,2 of Lesson2 5th week Part 3 of Lesson2, Activities, Reading and Writing 6th week Part 1,2 of Lesson3 7th week Part 3 of Lesson3, Activities, Reading and Writing Intermediate Exam 8th week Part 1,2 of Lesson4 9th week Part 3 of Lesson4, Activities, Reading and Writing 10th week Part 1,2 of Lesson5 11th week Part 3 of Lesson5, Activities, Reading and Writing 12th week Part 1,2 of Lesson6 13th week Part 3 of Lesson6, Activities, Reading and Writing 14th week Part 1,2 of Lesson7 15th week Part 3 of Lesson7, Activities, Reading and Writing Final Exam</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	65% for regular tests, 35% for homework/submissions
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Vocabulary study Review: workbook and reading aloud/recording
教材・教科書 text	『つなぐにほんご 初級 1』アスク出版 2500円 『つなぐにほんご 初級 1 ワークブック』2000円
参考文献 references	Introduced in class as needed.

留意点・予備知識 remarks	<p>You may wonder why Japanese has three types of letters, or why it does not just use the alphabet or one simple type like other languages, but it is a natural question to ask. The answer to your question will vary from person to person, but I personally believe that it would be very inconvenient if any one of the three types were no longer in use. The good and bad of this may be a point that different people appreciate differently. However, as a practical matter, learning characters is the most important point in the foundation of the Japanese language. If you get stuck here, it will be difficult to move on, even if you spend a lot of time on it. Please come to class with strong determination.</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>We have 4 classes a week, so if you have any questions, please ask after class. You can also use the Teams' Chat.</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	<p>nobuko(a)hirosaki-u.ac.jp</p>
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>In this textbook teaching method, we talk in class without looking at the textbook. The textbook is used for preparation and review. The “workbook” is used for homework.</p>
その他 other	<p>Please use Japanese as much as possible in class. You may use your native languages to teach each other what you don't understand, but please use Japanese to greet or to communicate current situations. The key to improving your Japanese is to keep practicing. Trying to use Japanese both outside and inside the classroom is very important.</p> <p>Textbooks and workbooks cost a total of 4,500 yen, but since there are 90 hours (60 classes), the cost is 50 yen per hour, which is not expensive considering the price of other books and materials. Please do not use illegal printouts or pdfs.</p> <p>This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級2 (口頭表現A) Basic Japanese 2 (Oral Expression A)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirotsaki University
単位 credit	6 単位 (6 Credits)
学期 semester	前期 (I semester)
曜日 day 時限 period	月曜日 (Mon) 3・4 時限 (10:20~11:50) 火曜日 (Tue) 3・4 時限 (10:20~11:50) 水曜日 (Wed) 7・8 時限 (14:20~15:50)
授業形式 class format	Lecture, practice and activities
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 (国際連携本部) Nagao, Kazuko (Department of International Education and Collaboration) 山崎 達郎 (非常勤) YAMAZAKI, Tatsuro 田中 美由紀 (非常勤) TANAKA, Miyuki
授業としての具体的到達目標 goal of the class	1) To be proficient on on basic patterns/expressions of Japanese (equivalent to JLPT N5 level) 2) To be proficient on basic Japanese conversation in daily settings (equivalent to A1 and A2-1 of JF standard)
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Conversational Grammar section. Although the primary focus is on developing conversation skills, time is also devoted to studying grammar and vocabulary in order to ensure a smooth transition to the language usage.
授業の内容予定 schedule of the class	Lesson 7. Family Picture. Talk about families and friends, Describe how people are and get dressed. Lesson 8. Barbecue. Short Forms. Talk casually. Express thoughts and opinions. Lesson 9. Kabuki. Short Forms. Talk casually in the past. Report someone's speech. Lesson 10. Vacation plans. Compare things and people. Talk about future plans. Midterm Exam Lesson 11. After the vacation. Express what we want to do. Talk about our experiences and hometowns. Lesson 12. Feeling ill. Give and ask for an explanation. Describe symptoms of illness. Give advice. Lesson 13. Looking for a Part-time Job. Say what we can or cannot do. Express first impressions. Give several reasons. Lesson 14. Valentine's Day. Express what we want. Give and receive presents. Talk about uncertain things. Talk about special days. Lesson 15. A trip to Nagano. Suggest doing something together. Describe people or things in detail. Make preparations. Final Exam
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	2 regular examinations ----- 60% Homework ----- 25% Quizzes ----- 15% The final grade will be determined by adding up the above results.

準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	Preparation: Study and memorize vocabulary using a recommended app. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, recording of role-plays, and other related tasks. Note: As this is a 6 credit courses, it is expected that you will dedicate about 10 hours per week to studying outside of class. Try to use Japanese in your daily life what you learned in the class. Be part of the Hirosaki Community with your proficiency of the language.
教材・教科書 text	GENKI: An Intergreate Course in Elementary Japanese I Third Edition, the Japan Times publishing, 2020. (Tax not included ¥3,600) GENKI: An Intergreate Course in Elementary Japanese I [Workbook] Third Edition, the Japan Times publishing, 2020. (Tax not included ¥1,700) GENKI: An Intergreate Course in Elementary Japanese II Third Edition, the Japan Times publishing, 2020. (Tax not included ¥3,600) GENKI: An Intergreate Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition, the Japan Times publishing, 2020. (Tax not included ¥1,700)
参考文献 references	Genki Videos: https://genki3.japantimes.co.jp/en/student/dialoguevideo.html Video Collection of Genki Sentence Patterns: https://genki.japantimes.co.jp/site/video/en/ Video Clips for Culture notes: https://genki3.japantimes.co.jp/en/student/culturenote/ Applications for a smartphone: GENKI Vocab for 3rd Ed. GENKI Conjugation Cards.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	水曜日 (Wednesday) 16:00-17:00
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom in principle. During class, Students are individually nominated and answer the questions. They may write word or sentences on paper. Homework assignments may be submitted thorough online platforms, such as Microsoft Teams or on paper.
その他 other	This description may be fine-tunes to suit the students taking the course.

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級2 (筆記表現A) Basic Japanese 2 (Written Expression A)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	2 単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I semester)
曜日 day 時限 period	木曜日 (Thursday) 3・4 時限 (10:20~11:50)
授業形式 class format	Lecture, practice and activities
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	田中 美由紀 (非常勤) TANAKA, Miyuki
授業としての具体的到達目標 goal of the class	To be proficient on reading and writing simple passage with <i>Hiragana</i> , <i>Katakana</i> and some basic <i>Kanji</i> .
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for Reading and Writing section. Although the primary focus is on learning <i>Kanjis</i> and Reading, time is also devoted to Writing.
授業の内容予定 schedule of the class	<p>Lesson 7. メアリーさんのてがみ Mary's letter. Read a letter. Describe your town, school, family, friends, and so on.</p> <p>Lesson 8. 日本の会社員 Japanese Office Workers. Read and answer questionnaire.</p> <p>Lesson 9. ソラさんの日記 Sora's Diary. Read and write a journal. Write a thank-you mail to someone.</p> <p>Lesson 10. 昔話「かさじぞう」 The Folktale Kasajizo. Read a famous Japanese Folktale.</p> <p>Lesson 11. 友達・メンバー募集 Looking for Friends/Members. Read ads. about the members/friends. Answer a mail or message to one of them.</p> <p>Lesson 12. 七夕 Tanabata Festival. Read about Tanabata Festival. Write a wish on a piece of paper.</p> <p>Lesson 13. 日本の面白い経験 Interesting Experiences in Japan. Read and write about interesting experiences.</p> <p>Final Exam</p>
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	<p>Final examination ----- 40%</p> <p>Homework ----- 30%</p> <p>Quizzes ----- 30%</p> <p>The final grade will be determined by adding up the above results.</p>

準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	<p>Preparation: Study and memorize <i>Kanji</i> in advance. It is required to read the textbook before attending class.</p> <p>Review: After each class, homework assignments will be given. They may include exercises from the textbook and workbook, and other related tasks. Note: As this is a 2 credit course, it is expected that you will dedicate about 3 hours per week to studying outside of class.</p> <p>Be curious about written text in Japanese in your daily life for example package of foods, poster about events, <i>manga</i>, or ads of circles, and explore meaning of what it is written. Use what you learned in class to write or type some messages.</p>
教材・教科書 text	<p>1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I Third Edition, the Japan Times publishing, 2020. (Tax not included ¥3,600)</p> <p>2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I [Workbook] Third Edition, the Japan Times publishing, 2020. (Tax not included ¥1,700)</p> <p>3. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition, the Japan Times publishing, 2020. (Tax not included ¥3,600)</p> <p>4. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition, the Japan Times publishing, 2020. (Tax not included ¥1,700)</p> <p>5. The compliant app of Kanji is recommended. (¥730)</p>
参考文献 references	References will be introduces in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	Ask your teacher before or after class in the classroom.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom in principle. During class, Students are individually nominated and answer the questions. They may write word or sentences on paper. Homework assignments may be submitted thorough online platforms, such as Microsoft Teams or on paper.
その他 other	This description may be fine-tunes to suit the students taking the course.

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級 1 (総合A) Intermediate Japanese 1 (Integrated Course A)
副題 subtitle	
対象学生	初級（教室で200時間から250時間[1時間は60分]）を勉強し、内容を十分習得した学生。日本語能力試験でN4程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。
単位 credit	4単位 (4 Credits)
学期 semester	前期 (I semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 3・4 時限 (10:20～11:50) 木曜日 7・8 時限 (14:20～15:50)
授業形式 class format	講義と活動 (Lecture & Activities)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	あるテーマやトピックについて日本語で学ぶことを通して、日本語の力と、内容を理解して思考する力の二つの力をつける。
授業の概要 course description	日本語を使った様々な四技能（聞く・話す・読む・書く）のタスクを行うのに必要な言語知識（語彙、文型・表現、漢字のことばなど）と言語スキル（メモの取り方、情報の集め方、発表の仕方など）を学ぶ。
授業の内容予定 schedule of the class	<p>第1回～第5回 ガイダンス 第1課 習い事は役に立つ？ （習い事の経験について自分の気持ちや考えとその理由を、時間を追って語ることができる）</p> <p>第6回～第10回 第2課 漢字・ひらがな・カタカナ、どれで書く？ （日本語の表記の歴史や使い分けについての説明文を読み、理解することができる）</p> <p>第11回～第15回 第3課 昔話の世界を知ろう （昔話の流れを理解し、新しい結末を書く）</p> <p>第16回 第1課～第3課の復習</p> <p>第17回 中間テスト</p> <p>第18回～第22回 第4課 旅の計画を立ててみよう （グループ旅行の計画を立てて発表する）</p> <p>第25回～第27回 第5課 違いについて考えてみよう （自分にとって身近な国・地域と日本を比べ、習慣や制度等を比較したまとまりのある文章を書くことができる）</p> <p>第28回～第29回 第7課 日本から世界へ （点字ブロックの誕生や発展についての説明文を読み、主題を理解することができる）</p> <p>プロジェクトの説明と実施：このコースで学んだテーマを1つ選び、日本人学生にインタビューし、その結果について発表する。レポートを書く。</p> <p>第30回 プロジェクト発表①</p> <p>第31回 プロジェクト発表②</p> <p>レポート提出</p>
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	出席・積極的な授業参加10%、中間テスト30%、課題提出20% プロジェクト発表20% プロジェクトレポート20%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	教科書付属の教材「漢字のことば」練習シート、メインタスクの課題の一部、「文型・表現」練習シートを課題として行う。 多読教材から本を選んで読み、ログを書く。
教材・教科書 text	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程著（2022）『タスクベースで学ぶ日本語中級1』スリーエーネットワーク
参考文献 references	

留意点・予備知識 remarks	テーマは身近なものからやや社会的なものへ、タスクも単純なものからやや複雑なものへとになっていきます。言語の形式にも注意しながら、自分の経験や考えをまとめる、自分たちで考えた計画を説明する、調べたことを発表するといったことを積極的に日本語を使って行うようにしましょう。
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業中に質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	プレタスク（背景知識を活性化するタスク・聞くタスク・読むタスクによるインプットメインタスクをする準備）⇒メインタスク（「聞く」「読む」「話す」「書く」「やりとり」）⇒文型・表現⇒ポストタスク（創造的・発展的な活動）⇒漢字の言葉⇒質問文を使ったやりとり⇒振り返り
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進捗や興味によりシラバスが変更される場合があります。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級2（総合 A） Intermediate Japanese 2 (Integrated Course A)
副題 subtitle	
対象学生	昨年度(2024年度)後期に「日本語中級1」を受講した学生、または日本語能力試験のN3か・CERFのB1程度のレベルにある学生。
単位 credits	4単位 (4 credits)
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	火曜日 3・4時限 (10:20～11:50)と木曜日 3・4時限 (10:20～11:50)
授業形式 class format	講義と活動 (lecture and Activities)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小笠原淑子 OGASAWARA, Yoshiko (非常勤講師)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	中上級に進むために必要な漢字・語彙〔ごい〕・文型・表現の習得に加え、読解力と作文力を高める。
授業の概要 course description	1. プレタスクで自分の考えを話したり、テーマに関する説明文を読む。 2. メインタスクで情報を検索し、調べて考えたことを説明する。 3. ポストタスクでテーマに関する聞き取り、作文、発表等を行う。 4. 定期的に漢字と語彙の小テストを行い、定着を図る〔はかる〕。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：オリエンテーション 第2回：第1課 なぜその言葉？①プレタスク 第3回：第1課 なぜその言葉？②メインタスク 第4回：第1課 なぜその言葉？③ポストタスク 第5回：第1課 なぜその言葉？④復習 第6回：第2課 ユニバーサルデザインとは？①プレタスク 第7回：第2課 ユニバーサルデザインとは？②メインタスク 第8回：第2課 ユニバーサルデザインとは？③ポストタスク 第9回：第2課 ユニバーサルデザインとは？④復習 第10回：第3課 公共施設を利用している？①プレタスク 第11回：第3課 公共施設を利用している？②メインタスク 第12回：第3課 公共施設を利用している？③ポストタスク 第13回：第3課 公共施設を利用している？④復習 第14回：第1課～第3課 復習 第15回：第4課 違う自分になりたい？①プレタスク 第16回：第4課 違う自分になりたい？②メインタスク 第17回：第4課 違う自分になりたい？③ポストタスク 第18回：第4課 違う自分になりたい？④復習 第19回：第5課 災害に対して準備している？①プレタスク 第20回：第5課 災害に対して準備している？②メインタスク 第21回：第5課 災害に対して準備している？③ポストタスク 第22回：第5課 災害に対して準備している？④復習 第23回：第6課 地球の環境、大丈夫？①プレタスク 第24回：第6課 地球の環境、大丈夫？②メインタスク 第25回：第6課 地球の環境、大丈夫？③ポストタスク 第26回：第6課 地球の環境、大丈夫？④復習 第27回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？①プレタスク 第28回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？②メインタスク 第29回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？③ポストタスク 第30回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？④復習 第31回：第4課～第7課 期末試験、1学期のまとめ
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	漢字・語彙〔ごい〕の小テスト：30% 中間試験と期末試験：40% その他（文型・表現学習、作文、口頭発表など）：30%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	1) 次の授業で扱う箇所〔かしよ〕を前もって読み、漢字や語句を調べてくる。 2) 宿題や課題は、次の授業の活動に関わるので、必ず完成させて来る。 3) 漢字と語彙や新しい文型・表現を復習する。

教材・教科書 textbook	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程 (2022) 『タスクベースで学ぶ日本語 中級2』スリーエーネットワーク
参考文献 references	特になし
留意点・予備知識 remarks	間違いを恐 [おそ] れずに、積極的に日本語を使うようにしてください。
授業内容に関する質問・ 疑義等 office hours	授業の前後に質問を受けます。個人面談が必要な場合は時間を設 [もう] けます。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address	louloudi99@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義に加え、ペア・グループ活動や課題などの実践的練習も行うことで学習内容を身に付ける
その他 other	1) 週2回の授業です。火曜日と木曜日、両方出席しなければなりません。 2) シラバスの内容に変更が生じる場合はプリントと口頭でお知らせします。 3) 単位が必要な場合は3分の2以上出席しなければなりません。 4) 遅刻や早退 [そうたい] は3回で一回の欠席としてカウントされます。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中級(聴解A) Intermediate Japanese (Listening A)
副題 subtitle	一般日本語中級 (中級1・中級2)
対象学生	初級 (教室で200時間から250時間[1時間は60分]) を勉強し、内容を十分習得した学生。日本語能力試験でN4またはN3程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。または、B1の学生。
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I semester)
曜日 day 時限 period	月曜日 (Mon) 5・6 時限 (12:40～14:10)
授業形式 class format	講義・活動(Lecture & Activities)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGA0, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の会話場面でのやりとりを聞き取ることができる ・ くだけた話し方やていねいな話し方が理解できる ・ それぞれの場面で使われている表現を学ぶ
授業の概要 course description	<p>2回の授業で以下の内容を進めます。</p> <p>1. 聞き取り練習1 ①人間関係や話のトピック 場面を聞き取る 単語の意味を確認する ②内容が正確に聞き取れたかどうか確認する ③やりとりに出てくる重要な表現を書きとる</p> <p>2. 聞き取り練習2 聞き手が後に取るべき行動を考える</p> <p>3. ポイントリスニング 短い会話を聞いて、質問に答える</p> <p>4. 重要表現の確認</p>
授業の内容予定 schedule of the class	<p>第1回 ガイダンス 第1課「今、いないんですけど」―伝言― 第2回 第1課「今、いないんですけど」―伝言― 第3回 第2課「一緒に行ってみない?」―勧誘― 第4回 第2課「一緒に行ってみない?」―勧誘― 第5回 第3課「これ、使わせてもらってもいいかなって」―許可― 第6回 第3課「これ、使わせてもらってもいいかなって」―許可― 第7回 第4課「渋滞してるらしいですよ」―確かな情報・不確かな情報― 第8回 第4課「渋滞してるらしいですよ」―確かな情報・不確かな情報― 第9回 中間テスト 第10回 第5課「そこをなんとか」―依頼・指示― 第11回 第5課「そこをなんとか」―依頼・指示― 第12回 第7課「中華のほうがいいんじゃない?」―提案― 第13回 第7課「中華のほうがいいんじゃない?」―提案― 第14回 第8課「給料はわるくないんだけどね」―感想― 第15回 第8課「給料はわるくないんだけどね」―感想― 第16回 期末テスト</p>
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	授業への積極的参加 10%、課題提出 30%、中間テスト 30% 期末テスト 30%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	予習: 各課の新出語彙を調べておいてください。 復習: 重要表現を聞き取って書き込んでください。
教材・教科書 text	日本語生中継 ボイクマン聡子・小室リー郁子・宮谷敦美 (2022) 『聞いて覚える話し方 日本語生中継 中～上級』くろしお出版。

参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	日本語能力試験N4以上の日本語能力が必要です。
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業で質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義・課題・活動（ペア）
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進捗や興味によりシラバスが変更される場合があります。 遅刻や早退を3回すると、1回欠席になります。

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級（口頭表現A） Intermediate Japanese (Oral Expression A)
副題 subtitle	
対象学生	ブレースメントテストで中級（口頭表現）を指定された学生
単位 credit	2 単位
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	金曜日(Friday) 3・4時限(10:20-11:50)
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達目標 goal of the class	まとまった内容の文章を、スムーズに話すことができる。 自分に関することを、相手に話すことができる。 相手について知りたいことを、質問することができる。 相手から聞いた内容を、文章にまとめることができる。
授業の概要 course description	このクラスは、中級会話のクラスです。このクラスでは、次のことを学習します。 (1) まとまった内容をスムーズに話すこと (2) テーマについて、自分のことを話すこと (3) テーマについて、相手にたずねること。 (4) 相手から聞き取ったことをまとめて、話すこと
授業の内容予定 schedule of the class	第 1回：授業の説明、毎日の生活 (1) 第 2回：毎日の生活 (2) 第 3回：わたしの楽しみ (1) 第 4回：わたしの楽しみ (2) 第 5回：できること・できないこと (1) 第 6回：できること・できないこと (2) 第 7回：親切・手助け (1) 第 8回：親切・手助け (2) 第 9回：中間テスト、授業の振り返り (1) 第10回：ほめられたこと・しかられたこと (1) 第11回：ほめられたこと・しかられたこと (2) 第12回：しつけ (1) 第13回：しつけ (2) 第14回：ひどい経験 (1) 第15回：ひどい経験 (2) 第16回：期末テスト、授業の振り返り (2)
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	中間テスト：35% 期末テスト：35% 課題、授業時のパフォーマンス：30%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	予習：授業の前に以下のことをしておいてください。 (1) 課題文を読み、内容を理解する。また、音読の練習をする。 (2) インタビューしたことを文章にする。 復習：授業後は、授業で話した内容を、さらにスムーズに話せるように練習してください。
教材・教科書 text	決まったテキストは使いません。
参考文献 references	必要なときは、授業で紹介します。
留意点・予備知識 remarks	ブレースメントテストの結果、「中級（口頭表現）」と指示された学生が受けることができます。

授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業についての質問は、授業中にしてください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業 授業方法：授業は以下のように進める予定です。 (1) 課題文の音読練習 (2) テーマについて、学生同士のQA (3) 聞き取った内容をまとめ、発表
その他 other	授業に参加する学生は、積極的に発言してください。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級（読解A）【A1】 Upper Intermediate Japanese (Reading A) 【A1】
副題 subtitle	Upper Intermediate Japanese (Reading A) 【A1】
対象学生	中上級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 5・6時限 (12:40～14:10)
授業形式 class format	演習
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	新川 以智子(非常勤)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日常生活や大学生活に必要な日本語の文章を正確に読んで理解するための語彙力と読解技術を身に付ける。
授業の概要 course description	読解ストラテジーに焦点をあて、文章の中のキーワードや主題、文章構造、定型表現を見つけ出すことで、早く正確に読解する練習をする。テキスト問題に加え、語彙リスト作成、タイトルつけなどの活動も行う。またテーマに合わせて、新聞記事なども読解する。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 読解ストラテジー 第3回 パート1 情報取得 第4回 パート1 キーワード 第5回 パート1 接続語・指示語 第6回 パート1 数字 第7回 パート1 比喩表現 第8回 パート1 意外な意味を持つ言葉 第9～15回 パート2・応用読解 第16回 修了課題 ★ 進行状況によって予定を変更する可能性あり
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	毎回の授業参加度 20% 課題 60% 修了テスト 20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	毎回の課題及び担当課題があれば、期限までに準備または提出する。
教材・教科書 text	『読むトレーニング応用編 日本留学試験対応』三上京子・山形美保子・他 著 スリーエーネットワーク
参考文献 references	授業時に提示
留意点・予備知識 remarks	
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は授業内もしくは終了後に直接してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級（作文A）【A3】 Upper Intermediate Japanese(Writing A) 【A3】
副題 subtitle	Upper Intermediate Japanese(Writing A) 【A3】
対象学生	中上級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 3・4時限 (10:20～11:50)
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子（非常勤）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	中上級の語彙・表現を習得し、より正確で適切な日本語作文を作成する力を向上させる。
授業の概要 course description	まずテキストを用いて、作文力・語彙力を高めるための技術を習得するための活動をし、途中から、自己PRのための作文完成に向けた活動を同時進行していく。最後にそれぞれの自己PR文の発表を行う。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 表現のルール 第3回 書き言葉 第4回 和語と漢語 第5回 名詞化 第6回 ジャンルによる使い分け 第7回 長い文 第8回 上位概念 第9回 簡潔な表現 第10回 含意・解釈 第11回～14回 自己PR作文完成作業 第15回 作文発表前半 第16回 作文発表と講評 ★進行状況などにより、変更する可能性あり
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	活動参加度 30% 課題 40% 最終作文30%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習課題、復習課題がある場合は、期限までに準備、提出すること
教材・教科書 text	『上級日本語学習者対象 アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』鎌田美千子 仁科浩美著 スリーエーネットワーク
参考文献 references	随時 提示
留意点・予備知識 remarks	
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は、授業内もしくは授業終了後に直接質問するように
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英名]	日本語中上級(アカデミックジャパニーズ聴解A)【A5】 Upper Intermediate Academic Japanese (ListeningA)【A5】
副題 subtitle	
対象学生	ブレースメントテストで中上級（聴解）を指定された学生
単位 credit	2 単位
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	月曜 1・2 時限
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達目標 goal of the class	講義形式の発表を聞いて、理解できる。 聞いた講義について、ノートが取れる。 理解した内容を、説明できる。 理解した内容を、短い文章にまとめることができる。
授業の概要 course description	中上級レベルの聴解のクラスです。講義形式の教材を聞き、まとまりのある内容を理解するとともに、理解した内容をまとめる（話す、書く）練習を行います。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：授業案内、第1課「掃除」（1） 第2回：第1課「掃除」（2） 第3回：第2課「本屋」（1） 第4回：第2課「本屋」（2） 第5回：第3課「新幹線のおでこ」（1） 第6回：第3課「新幹線のおでこ」（2） 第7回：第4課「体験プレゼント」（1） 第8回：第4課「体験プレゼント」（2） 第9回：中間テスト、第5課「そば屋ののれん」（1） 第10回：第5課「そば屋ののれん」（2） 第11回：第6課「犬の肥満」（1） 第12回：第6課「犬の肥満」（2） 第13回：第7課「卵かけご飯」（1） 第14回：第7課「卵かけご飯」（2）、第8課「女性専用車両」（1） 第15回：第8課「女性専用車両」（2） 第16回：期末テスト、授業の振り返り
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	中間テスト：30% 期末テスト：30% クイズ：20% 課題、授業時のパフォーマンス：20%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	予習：当日の授業範囲のCDを聞いてくること。 授業で行う発表の準備をすること。 復習課題：聞き取った内容について、要約を作成すること。
教材・教科書 text	東京外国語大学 留学生日本語教育センター編著『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解 [中上級]』2014、スリーエーネットワーク
参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。

留意点・予備知識 remarks	プレースメントテストの結果に従って、授業登録をしてください。
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>対面授業 授業方法：授業は以下のように進める予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教材の聞き取り (2) 問題への解答 (3) 内容のまとめ（ノートのとおり方） (4) ノートをもとにした再話 (5) 内容の要約
その他 other	学生には、積極的に授業に参加し、発言をすることを求めます。

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級（文法A）【A7】 Upper Intermediate Japanese (Grammar A) 【A7】
副題 subtitle	Upper Intermediate Japanese (Grammar A) 【A7】
対象学生	中上級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	木曜日 (Thu) 3・4 時限 (10:20～11:50)
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子(非常勤)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本語文法の様々な機能を理解し、適切な場面で適切で正確な日本語の語彙と表現が使えるようになることを目標とする。
授業の概要 course description	日本語の文法を総合的に理解するために、日本語文の基本的構造を学び、各文法項目を適切に使用できる力をつけるための活動を行い、各回の課題によって理解を深めていく。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 基本文型 第3～4回 格助詞 第5～6回 複合助詞 第7回 接辞 第8～9回 ヴォイスの使い分け 第10回 指示語 第11回 「～は～が」 第12回 呼応・副詞 第13～14回 接続表現 第15回 まとめ 第16回 修了テスト ★進行状況によって予定を変更する可能性あり
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業時の参加度20%、各回の課題達成度50%、修了テスト30%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	課題が出されたら、期限までに提出すること。課題・テストは解説を聞いた後に、訂正して再提出。
教材・教科書 text	教科書はなし。資料は授業時にコピーして配布する。
参考文献 references	中級日本語文法要点整理ポイント20、日本語文法ハンドブック、考えて解いて理解する日本語教育の文法、他 授業内でも提示
留意点・予備知識 remarks	自分で考えて、疑問点を解決しようとする姿勢が望まれる。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関しての質問があれば、なるべく授業中にしてください。課題作成時の質問などは、Teamsのチャットで質問してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業・演習形式
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションA【A9】 Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-A【A9】
副題 subtitle	Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-A【A9】
対象学生	中上級と上級の留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	水3
授業形式 class format	演習
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝(国際連携本部)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	<p>1. 日本の文化・生活にかかわる資料や文章を読み、日本社会・文化についての理解を深める</p> <p>2. 中上級～上級の日本語語彙・文法・表現能力を身に付け、場面によって適切な言葉遣いや態度で話せる「日本語使用者」となる</p> <p>3. 世界で起きている出来事を把握し、自らテーマについて調べ、適切な日本語を用いてまとめ、ディスカッションやディベートの中で自分の意見を発表したり、異なる意見に耳を傾け、論理的・建設的に話し合いができる</p> <p>1. Read materials and texts related to Japanese culture and life to deepen your understanding of Japan.</p> <p>2. Acquire intermediate to advanced Japanese vocabulary, grammar, and expression skills, and become a "Japanese language user" who can speak with appropriate language and attitude depending on the situation.</p> <p>3. Be able to grasp world events, research the topic on one's own, summarize it using appropriate Japanese, express one's opinion in discussions and debates, listen to differing opinions, and discuss logically and constructively.</p>
授業の概要 course description	<p>教科書から日本事情・社会・文化に関する様々なトピックを取り上げ、グループワークで調査・まとめ・発表をする。新聞のワークシートを使って、日本事情や国際情勢についての理解を深めると同時に、新聞記事で用いられる上級レベルの語彙・表現・文法を身につける。中上級・上級レベルの日本語によるプレゼンテーションスキルを学ぶ。</p> <p>Students will take up various topics related to Japanese affairs, society, and culture from the textbook, and will research, summarize, and present in group work. Using newspaper worksheets, students will deepen their understanding of Japanese affairs and international affairs, while also acquiring upper-intermediate and advanced-level vocabulary, expressions, and grammar used in newspaper articles. Students will also learn advanced-level Japanese presentation skills.</p>
授業の内容予定 schedule of the class	<p>第1回 4月16日 オリエンテーション</p> <p>第2回 4月23日 日本語による「プレゼンテーション」の基礎</p> <p>第3回 5月7日、第4回 5月14日 Unit8「現代文化とポップカルチャー」自分の好きな日本のポップカルチャーについてわかりやすく説明する・紹介する・語る</p> <p>第5回 5月21日、第6回 5月27日 Unit13「産業構造と経済」日本の産業や経済について知る・調べる・まとめる、自国と比較して問題点を見つける・解決策を考える</p> <p>第7回 6月4日、第8回 6月11日 Unit12「教育と子供たち」日本の教育制度や子供を取り巻く社会問題について知る・調べる・まとめる。自国の教育制度や子供を取り巻く問題を振り返る・調べる、ディスカッション2</p> <p>第9回 6月18日、第10回 6月25日 Unit10「前進を続ける科学技術」日本の科学技術分野について知る・調べる、自国の科学技術の発展について振り返る・調べる・まとめる・発表する</p> <p>第11回 7月2日、第12回 7月9日 Unit15「多文化共生社会を目指して」</p> <p>第13回 7月16日、第14回 7月23日 Unit6「知っておきたい日本の歴史」</p> <p>第15回 7月30日 まとめ・復習</p>

授業の内容予定 schedule of the class	1st session: April 16th, orientation 2nd session: April 23rd, the basics of "presentation" in Japanese 3rd session: May 7th, 4th session: May 14th, Unit 8 "Modern culture and pop culture" Explain, introduce, and talk about your favorite Japanese pop culture in an easy-to-understand way 5th session: May 21st, 6th session: May 27th, Unit 13 "Industrial structure and economy" Learn, research, and summarize about Japanese industry and economy, compare with your own country to find problems and think about solutions 7th session: June 4th, 8th session: June 11th, Unit 12 "Education and children" Learn, research, and summarize about the Japanese education system and social issues surrounding children. Reflecting on and researching the education system and issues surrounding children in your own country, Discussion 2 9th June 18th, 10th June 25th Unit 10 "Continuing progress in science and technology" Learn about and research the field of science and technology in Japan, reflecting on, researching, summarizing, and presenting the development of science and technology in your own country 11th July 2nd, 12th July 9th Unit 15 "Aiming for a multicultural society" 13th July 16th, 14th July 23rd Unit 6 "Japanese history you should know" 15th July 30th Summary and review
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業参加度10% 提出・発表40% 最終レポート50% Class participation 10% Submission/presentation 40% Final report 50%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	ネットニュースやテレビなどで、日本社会や国際情勢についての知識を普段から意識的に得るようにしてください。Make a conscious effort to regularly obtain knowledge about Japanese society and international situations through online news, television, etc.
教材・教科書 text	『クローズアップ日本事情15 日本語で学ぶ社会と文化』佐々木瑞枝著 The Japan times
参考文献 references	『日本語文型辞典 改訂版』グループ・ジャマシイ くろしお出版 『新訂版 どんな時どう使う日本語表現文型辞典』友松悦子他 アルク
留意点・予備知識 remarks	この授業の対象者は、プレースメントテストで中上級と上級にプレースされた留学生です。This class is targeted at international students who have been placed in the upper-intermediate and advanced levels in the placement test.中級にプレースされた人でこの授業を取りたい人は相談してください。If you have been placed in the intermediate level and would like to take this class, please contact us.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。Make an appointment by e-mail.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、アクティブラーニング Exercises, Active learning
その他 other	※受講生の日本語レベルや進度、興味関心によってシラバスの内容が変更になる場合があります。The syllabus may change depending on the students' Japanese level, progress, and interests. ※MSpower pointを使用して発表をします。日本語フォント(MS明朝やゴシックなど)をインストールしたPCを用意してください。The presentation will be made using MS Power Point. Please prepare a PC with Japanese fonts (such as MS Mincho or Gothic) installed.

※上記の内容は変更される場合があります。
※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語上級（読解A）【B1】 Advanced Japanese (Reading A) 【B1】
副題 subtitle	Advanced Japanese (Reading A) 【B1】
対象学生	プレースメントテストで、上級（読解）を指定された学生
単位 credit	2 単位
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	金曜 1・2 時限
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達目標 goal of the class	上級レベルの日本語の文章を、独力で読むことができるようになる。 上級レベルの語彙、文法、漢字を習得する。 読み取った内容をまとめ、自分のことばで説明できる。 日本社会の現状に対する認識を深める。
授業の概要 course description	上級レベルの読解の授業です。現代の日本社会に関する文章を読み、上級レベルの日本語能力を身につけるとともに、現代の日本社会についての理解を深めていきます。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：授業案内、1. 遠距離結婚（1） 第2回：1. 遠距離結婚（2） 第3回：2. 「輝く女性」とは何なのか―「女性活躍」の現場―（1） 第4回：2. 「輝く女性」とは何なのか―「女性活躍」の現場―（2）、3. 父親の育児参加（1） 第5回：父親の育児参加（2） 第6回：4. 社内結婚、企業が後押し（1） 第7回：4. 社内結婚、企業が後押し（2）、5. 働き方―変わる・変える（1） 第8回：5. 働き方―変わる・変える（2） 第9回：中間テスト、6. なぜ少子化が社会問題なのか（1） 第10回：6. なぜ少子化が社会問題なのか（2）、7. 「買い物弱者」（1） 第11回：7. 「買い物弱者」（2） 第12回：8. 離れて暮らす親の見守り（1） 第13回：8. 離れて暮らす親の見守り（2）、9. ノーマライゼーションの地域をつくる（1） 第14回：9. ノーマライゼーションの地域をつくる（2）、10. 高齢社会は怖くない（1） 第15回：10. 高齢社会は怖くない（2） 第16回：6～10のまとめ、期末テスト
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	中間テスト：40% 期末テスト：40% 小テスト、課題、授業時の発表：20%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	予習：当日の学習範囲の文章を事前に読んでくること。読んだ内容を説明できるようにしておくこと。また、テキストの問題の答えを考えてくること。 復習、課題：次の回に小テストを行うので、学習範囲に出てきた、新出語彙、文法項目、漢字を復習すること。 テキストの文章課題を書いてくること。
教材・教科書 text	宮原 彬（編著）『留学生のための時代を読み解く上級日本語 第3版』2018、スリーエーネットワーク
参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。
留意点・予備知識 remarks	プレースメントテストの結果に従って、授業登録をしてください。

授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>対面授業</p> <p>授業方法：授業は、以下のように進めることを予定しています。</p> <p>(1) 当日の学習範囲の文章について、担当学生による内容の説明</p> <p>(2) 発表内容に対する質疑応答</p> <p>(3) 発表内容に関する検討</p> <p>(4) 教師からの解説</p>
その他 other	出席する学生には、最低1回発表の担当者となり、文章の内容について発表することを求めます。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語上級アカデミックジャパニーズ(講義の聴解・論文の書き方A)【B3】 Advanced Academic Japanese (Listening and Writing A)【B3】
副題 subtitle	Advanced Academic Japanese Writing/listening A 【B3】
対象学生	中上級と上級の留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	水2
授業形式 class format	演習
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝(国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1) 適切に設計されたアカデミック場面における模擬講義を聞き、説得力のある論が展開されている文章構成とはどのようなものかを学ぶ 2) 上級以上のアカデミック場面で使用される日本語の語彙・文法・表現を学び、段落と段落の関係やある程度の長さの文章の構造を分析的に見る能力を身につける 3) 1)、2)で学んだアカデミック日本語を使い、日本語で大学のレポートや論文を書くために必要なライティングスキルを身につける 4) 社会的、国際的なテーマについて、高度な日本語の表現を適切に使用して、大学の講義を聞いたり、議論をしたりでき、それらに基づいた論文やレポートが書けるようになる。
授業の概要 course description	○アカデミックレベルの日本語を使用した模擬講義を聞き、わからない語彙があっても前後の文脈から推測して大まかな内容をつかむ方法を身につけると同時に、大学の講義で使用される上級レベルの語彙・文法・表現を学びます。 ○大学の講義のような、ある程度の長さがある長文を聞き、どのように論が展開されているか、段落と段落の関係はどうなっているかなどに着目して、長文の構成を分析的に見る視点を身につけます。 ○以上のリスニングで学んだ長文の構成の仕方や、アカデミックレベルの日本語を使って、大学生に求められるレポート、論文の書き方を学びます。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 4月17日オリエンテーション、【ライティング】(以下【ラ】)ライティングの基礎Ⅰ(原稿用紙の使い方(縦書き・横書き)、文体、書きことば、段落の構成、「は」と「が」) 第2回 4月24日【ラ】ライティングの基礎Ⅱ(文の基本、記号、引用)【リスニング】(以下【リ】)第1課「昼」① 第3回 5月1日【リ】第1課「昼」②【ラ】一テーマを述べるー「国の特別なもの」 第4回 5月8日【リ】第4課「知里幸恵さん」① 第5回 5月15日【リ】第4課「知里幸恵さん」②【ラ】一理由・経過を述べるー「before/afterの文」 第6回 5月22日【リ】第7課「フェアトレード」①【ラ】一判明していることを述べるー 第7回 5月29日【リ】第7課「フェアトレード」②【ラ】一問題点を述べるー「少子高齢化」「新型コロナウイルス」 第8回 6月5日 まとめと復習 第9回 6月12日【リ】第6課「バイオミクリ」① 第10回 6月19日【リ】第6課「バイオミクリ」②【ラ】一定義するー 第11回 6月26日【ラ】一比較するー「意見文」 第12回 7月3日【リ】第13課「子供の顔」①【ラ】一仕組みの説明ー 第13回 7月10日【リ】第13課「子供の顔」②【ラ】一因果関係ー 第14回 7月17日【ラ】一引用するー(データの利用、資料の引用)「論説文」 第15回 7月24日 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業態度10%、提出物30%、最終レポート60%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	授業内で指示します
教材・教科書 text	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解[上級]』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著

参考文献 references	『新訂版 どんなときどう使う日本語表現文型辞典』友松悦子他 アルク 『日本語文型辞典 改訂版』グループジャマシイ くろしお出版
留意点・予備知識 remarks	※ブレースメントテストで中上級以上、またはN2以上の日本語能力が必要です。 ※研究生や院生で、日本語で論文を書く予定がある人は受講を強くおすすめします。 ※受講生の日本語レベルや進度、興味関心によって内容を変更する可能性があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	※提出物はMSwordを使って作成します。日本語フォント(例:MS明朝、MSゴシック)がインストールしてあるPCを用意してください。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域プロジェクト 津軽地域文化国際共修①【教養】 Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru ①
副題 subtitle	津軽地域文化国際共修(つがるちいきぶんかこくさいきょうしゅう)①[Intercultural Collaborative Learning of Regional Culture of Tsugaru ①]
対象学生	留学生、日本人学生2, 3, 4年生(医学部1年生) International Students, Japanese students(1~4year)
単位 credit	2
学期 semester	前期/First Semester
曜日 day 時限 period	火4 Tuesday 4
授業形式 class format	プロジェクトワーク、講演、体験学習、フィールドツアー、グループワーク Project Work, Lecture, Field trip, Culture experience
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝(国際連携本部) Chiyoe, TAKAHASHI(D-IEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	①青森県津軽地方に残る日本文化的な歴史遺産や伝統文化等についての理解を深める ②地方に残る歴史・文化的資源を教材として学ぶことを通して、他国の文化と比較してどのような特徴があるかを客観的に見る視点を身につける ③異文化を背景に持つクラスメートと一緒に活動することによって、国・言語・文化を超えて相手のことを理解する異文化コミュニケーションの能力を身につけ、自分の身の回りにある社会的な問題に気づき、柔軟な発想で解決する方法を提言することができるようになる ①Deepen student's understanding about the Japanese culture, history, and traditional culture, etc. especially which left in Aomori-ken Tsugaru area. ②By studying the history and culture of the region, students can objectively see the characteristics of your own culture compared to the culture of other countries. ③By working with classmates who have different cultural background, you can acquire the ability of cross-cultural communication to understand the other person regardless of country, language, and culture, and become aware of social problems around you, and will be able to propose solutions with flexible ideas.
授業の概要 course description	本授業は以下の構成で行う。①青森県津軽地方の伝統文化について、事前調査・発表(グループワーク)、②特別講演会:津軽地域の歴史・文化について、こけし職人のライフストーリー、③体験学習(ワークショップ①こぎん刺し②ねぶた絵アート③こけし絵付け(黒石こけし館にバスツアー))④津軽文化PRビデオ作製 以上の活動を、留学生と日本人学生の混成グループによるグループワークで行います。 This class will be structured as follows: 1) Research and presentation (group work) on the traditional culture of the Tsugaru region of Aomori Prefecture, 2) Special lecture: History and culture of the Tsugaru region, life stories of Kokeshi craftsmen, 3) Experiential learning (Workshops 1) Kogin embroidery, 2) Neputa painting art, 3) Kokeshi painting (bus tour to Kuroishi Kokeshi Museum), 4) Creation of a promotional video for Tsugaru culture. The above activities will be carried out in group work by a mixed group of international students and Japanese students.
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 4月15日 オリエンテーションと他己紹介のppt作成(パソコンを持ってきてください Bring your PC to make ppt.) 第2回4月23日【文化についての調べ学習】グループ分けとテーマ決め(以下のテーマから選ぶ: ねぶたまつり、こけし、こぎん刺し、青森県津軽地方の文化歴史) 第3、4、5回 4月30日、5月13日、5月20日 【グループ発表とディスカッション】 第6、7、8、9回(5月27日~6月17日) ▼【スペシャルレクチャー(2回)】(テーマ:「津軽地方の歴史文化」(本学教授瀧本壽文先生)「津軽こけしについて」(津軽温泉系こけし工人小島利夏様) ▼【体験学習】「こぎん刺し」(授業内、講師:近藤康子様)、「ねぶた絵」(土曜日から日曜日に開催、講師:澤田励也様) ▼【バスツアー】黒石市こけし館(見学と絵付け体験/土曜日に行きます) ※日程は調整します 第10回 7月1日 【津軽PRビデオプロジェクト】テーマ決め、ディスカッション、動画作成案の企画立案、動画撮影、編集、発表準備 第11回~14回 土・日に開催するワークショップ・バスツアーの振り替え休講(授業はありませんが、PRビデオ作製をしていただきます) 第15回 8月5日 PRビデオ披露会、総括 ※黒石市こけし館訪問と、ねぶた絵ワークショップは5月~6月の土曜日から日曜日に行います。 ※7月第2週から4回は授業を行いません(8時間4コマ分を振り替え)。その間にグループワークでビデオ作製をしていただきます。

授業の内容予定 schedule of the class	<p>Contents of this class:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Group presentation to prepare to research of regional traditional culture as a group mixed by international students and Japanese students for 4~5 themes(About the features of Aomori , Tsugaru cultures, Neputa-festival, Kokeshi doll, Koginzashi embroidery, The connection of the culture and the society). 2.The special lecture from the professor major in Tsugaru historical culture. 3.Lectures and workshops by guest professional craftsmen (Theme:Koginzashi embroidery, Kokeshi doll, Neputa picture, or other 4. Field tour to the Kokeshi museum in Kuroishi city by bus. 5. Making PR multilingual video(choose the theme, research and discussion, planning of video creation, video shooting, editing, presentation preparation) as a final task. 6. Final presentation of your PR Video in multilingual. <p>※The first class is for orientation and peer-introduction activity(Bring your PC). ※We will arrange the date of those lectures, workshops, and field trip(2 times on Saturday or Sunday in May or June) ※From week11 to week14 we have no class, but creating video by groupwork.</p>
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	<p>授業参加態度10%、グループワークにおける活動(ポートフォリオ、相互評価による)20%、作成動画・発表の内容30%と最終レポート40% Class participation attitude10%、Activities in group work (self and peer evaluation)40%、Contents of the created video and presentation and the Final Report 50%</p>
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	授業内で指示します。It will be given in class.
教材・教科書 text	なし None
参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	<p>・この授業は留学生と日本人学生が共に学ぶ「国際共修」授業です。日本人学生も授業中や作業中、留学生のメンバーと積極的にコミュニケーションを取ってください。日本語が通じない場合には、英語や(初級者でもわかる)簡単な日本語に言い換えたり、ジェスチャーや漢字、スマホの翻訳を使うなど、意思疎通を図ってください。</p> <p>・中級以上の留学生は参加可能です(簡単な英語、やさしい日本語でのサポートがあります)。</p> <p>・特別講演会、ワークショップの講演者、講師は日本語のネイティブスピーカーです。説明等はすべて日本語で行われますが、適宜高橋が英語かやさしい日本語によるサポートをします。</p> <p>・最終的に作成してもらう動画は、音声・字幕を複言語にさせていただきます。</p> <p>・ねふた絵ワークショップとこけし館訪問は、授業期間内の土日(6月頃)に行われます。参加できるように日程を調整して受講を検討してください。</p> <p>・作成した動画は、大学や地域のプロモーションに使用される場合があります。</p> <p>*This class is an "international co-education" class that both international students and Japanese students learn together.</p> <p>*The language used is basically Japanese, but English translations or easy Japanese will be provided(desirely more than N3, but N4 level students can participate).</p> <p>*The final PR video must be created in multiple languages.</p> <p>*Neputa-art workshop and visiting Kokeshi-museum in Kuroishi-city will be held on Saturday or Sunday. Make time in your schedule and take a class.</p> <p>*The videos produced may be used for university and local promotional activities.</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。Please make an appointment by email.

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	プロジェクトワーク、講演、体験学習、フィールドツアー、グループワーク Project work, lectures, group work
その他 other	社会情勢やゲストスピーカーの都合により授業の内容・日程が変更になる場合があります。 *This syllabus is subject to change based on the needs of the class. *The schedule or theme of the lectures by guest speakers is subject to change.

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域の経済・産業 日本の国際化と地域経済ー多文化共生社会におけるキャリア①(国際共修) 【教養】 Regional economy and industry Japan's Internationalization and Regional Economy: Careers in a Multicultural Society①
副題 subtitle	日本の国際化と地域経済ー多文化共生社会におけるキャリア① Japan's Internationalization and Regional Economy: Careers in a Multicultural Society
対象学生	留学生(International Students)、日本人学生1,2,3年生(Japanese Students 1~3year)
単位 credit	2
学期 semester	前期 First semester
曜日 day 時限 period	木4 4,Thursday
授業形式 class format	演習、講演、グループワーク Lectures, Group work, Presentation
担当教員 (所属 学部) lecturer	高橋千代枝 Chiyo, TAKAHASHI(D-IEC)
授業としての具 体的到達目標 goal of the class	<p>1. 大学で学んだ高度な専門知識を生かして、国や言語、文化を問わず世界で活躍するために、社会人として必要な知識や態度を身につける</p> <p>2. なぜ日本で多文化共生社会が進行しているのか、それによってどのような問題が社会の中で生じているのかについて把握する</p> <p>3. 異なる背景を持つ人とコミュニケーションし、1つの目的に向かって協働できる人材となるために、世界情勢を学ぶと同時に身近な地域に存在する問題に目を向け、柔軟な思考で問題を解決するための思考力や発信力を身につける</p> <p>1. Acquire the knowledge and attitude necessary as a member of society to play an active role in the world regardless of country or culture by making use of the advanced specialized knowledge learned at the university.</p> <p>2. Understand why Japan is moving towards a multicultural society and what problems it is causing in society.</p> <p>3. In order to become a human resource who can communicate with people from different backgrounds and collaborate toward one purpose, while learning the world situation, we will look at the problems that exist in the immediate area and solve the problems with flexible thinking. Acquire the ability to think and communicate.</p>
授業の概要 course description	<p>本授業は、大学生のキャリアの捉え方を軸に据え、特に日本の「地方経済」と「多様性」の関係を学ぶ授業です。青森県の経済状況や産業構造、地域の抱える問題、職場における多様性について、専門家や企業人の方にご講演をいただきます(テーマ:青森県の経済状況、地方の産業にもたらす外国人材の雇用による影響、高度外国人材の日本企業内におけるコミュニケーションの問題、外国で就職するということ、青森県の観光業について)。これらの講演を聞くことを通して、日本の地方が抱える問題を的確に把握し、異文化背景の他者とのディスカッションを通じてその問題解決の方法を考えます。</p> <p>This class focuses on how university students perceive their careers, and in particular on the relationship between Japan's "regional economy" and "diversity." We will have experts and business people give lectures on Aomori Prefecture's economic situation and industrial structure, regional issues, and diversity in the workplace (themes: Aomori Prefecture's economic situation, the impact of hiring foreign workers on regional industries, communication issues within Japanese companies for highly skilled foreign workers, finding employment abroad, and Aomori Prefecture's tourism industry). By listening to these lectures, students will accurately grasp the issues facing regional areas in Japan and consider ways to solve these problems through discussions with others from different cultural backgrounds.</p>

授業の内容予定 schedule of the class	<p>第1回 4月17日 オリエンテーション、自己紹介</p> <p>第2回 4月24日 【演習】日本の「就職活動」について ディスカッション:「新卒一括採用、就活、終身雇用」といった日本の企業風土・就職事情について</p> <p>第3回～第5回 5月1日～5月15日 【グループワークⅠ】「日本における多文化共生の背景と現状」、「東京一極集中、地方の人口減少、人手不足と言った日本社会の問題」、「日本における外国人材の受け入れについての問題」</p> <p>第6～10回 5月22日～6月19日 【講演会】ゲストスピーカー4名による講演(感想シート提出) ▼JETRO(日本貿易振興機構)青森所長 清川裕志様、東洋ワーク(株)黒澤 瞬様、青森県観光推進機構(元弘大留学生) クオン・チョウク様、黒石温泉郷・落合温泉 花禅の庄 支配人 石澤 亮太様</p> <p>第11回 6月26日 【グループワークⅡ】グループワーク①テーマ決め、</p> <p>第12回 7月3日 グループワーク②アイディア出し、ディスカッション、発表の構想準備</p> <p>第13回、第14回 7月10日、7月17日 グループワーク③、④ 発表準備</p> <p>第15回 7月24日 最終発表会</p> <p>Week 1 Orientation and self-introduction</p> <p>Week2 【Discussion】About the system of employment in Japan</p> <p>Week3~5 【Group Study】Theme: "The background and current state of multicultural coexistence in Japan," "Issues in Japanese society such as overconcentration in Tokyo, population decline in rural areas, and labor shortages," and "Issues regarding the acceptance of foreign human resources in Japan."</p> <p>From Week 6~10 【The special lecture】The lecture series by four guest speakers(write the report for each lecture)▼Cheif Director JETRO(Japan External Trade Organization) Aomori Mr. Hiroshi Kiyokawa, Toyo Work Mr. Shun Kurosawa, Aomori Prefectural Organization for Tourism and Globalization(ex-exchange student of Hirodai) Mr. Kwon Chuwook, Kuroishi-Onsen Japanese-Inn Kazen-no-Sho Manager Mr. Ryota Ishizawa.</p> <p>Week11~14 【Group Work】Pick up the theme, research, make presentation</p> <p>Week15 【Final presentation】</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	<p>授業への積極的参加10% グループワークでの役割分担と自己および他者評価20%、最終発表30%レポート40% Active participation and submissions 10% Division of roles in group work and self- and others evaluation of final presentation 20%, Final presentation 30% Final report 40%</p>
準備学習（予習・復習）等の 内容 preparation for class	<p>グループワークでは、締め切りまでにメンバーで協働し発表準備などをするため、授業時間内外での調整が必要です。互いに時間を作り、課題に取り組むようにしてください。In group work, it is necessary to make adjustments both inside and outside of class time in order to work together and prepare for presentations before the deadline. Make time for each other and work through the challenges.</p>
教材・教科書 text	なし
参考文献 references	『大学生として学ぶ 自分らしさとキャリアデザイン』高丸理香他 有斐閣ブックス(2021)
留意点・予備知識 remarks	<p>本授業は日本人学生と留学生が共に学ぶ「国際共修」授業です。留学生はN2以上(日常会話は支障なくできるレベル)の日本語能力が必要です。日本人の学生も、留学生と話す機会が多くありますので、やさしい日本語や媒介語(主に英語)を使うなどして、「相手に伝わる」コミュニケーションを積極的に行うようにしてください。本授業の上限定員数は留学生20名、日本人学生20名です。定員数を超える場合は、担当教員による審査により、人数を調整します。This class or special lectures will be provided in Japanese. So, International students required above N2 Japanese proficiency. But if you are interested in the Japanese business style or the career in Japan, N3 students could take(you should do preparation of every class). Takahashi will provide you some English translation or easy Japanese support. The limited number of students in this class is 20 international students and 20 Japanese students. If the number exceeds the capacity, the number will be adjusted by the examination by the instructor in charge.</p>

授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。Please make an appointment by email.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、講演、グループワーク Face-to-face classes, seminar, discussion, group work, presentation
その他 other	<p>※ゲストスピーカーによる講演(テーマ、日程、講演者)は変更の可能性があります。</p> <p>※講演会はオンラインで行われることもあります。</p> <p>※授業の内容に変更がある場合があります。</p> <p>*This syllabus is subject to change based on the needs of the class.</p> <p>*The theme or schedule of the lectures by guest speakers is subject to change.</p> <p>*Some of the Lectures may be held online.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	サークル活動に見る日本社会① Insights into Japanese Society through Circle Activity ①
副題 subtitle	
対象学生	Exchange Students
単位 credit	2
学期 semester	前期 Semester I
曜日 day 時限 period	月曜日 7・8時限目 Monday
授業形式 class format	講義・演習 Lecture and Action Research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪 淳一郎 SUWA Jun'ichiro
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	サークル活動への参加を通じて日本の学生の暮らしと社会について深く理解していきます。 Through participant observation in student circles, students will deepen understanding about Japanese student life and social interactions.
授業の概要 course description	自分で選んだ弘前大学内のサークルなどの学生団体に所属し、活動の記録と考察をまとめたレポートを定期的に提出し、教員からのフィードバックを受けます。 Students will participate in a student circle activity of choice and submit reports and receive feedbacks.
授業の内容予定 schedule of the class	(状況により変更する場合があります。Subject to change.) 1. 日本の学生社会について Lecture: Social interaction of Japanese students 2. 所属サークルの発表 Present student circles 3. フィールド学習① Field Study 1 4. フィールド学習② 5. フィールド学習③ 6. 中間報告① Intermediary Report 1 7. フィールド学習④ 8. フィールド学習⑤ 9. フィールド学習⑥ 10. 中間報告② 11. フィールド学習⑦ 12. フィールド学習⑧ 13. フィールド学習⑨ 14. 最終報告 Final presentation 15. まとめ Conclusion
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	サークル活動レポート Reports 60%、発表 Presentations 40%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	授業中に指示します。 To be instructed in class.
教材・教科書 text	
参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	参加するサークルは第2回目の授業までに各自で見つけてください。 Student circle should be selected by the second week of course. サークル活動を途中でやめる時は必ず諏訪に相談してください。 Consult J.Suwa before you are thinking about quitting circle activity.

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語と英語 Japanese and English
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	芸術－津軽のアートとナラティブー 【教養】 Art and narrative of the Tsugaru region
副題 subtitle	芸術－津軽のアートとナラティブー
対象学生	Japanese students and international students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Tuesday 火曜日 5・6 (12:40～14:10)
授業形式 class format	Lectures, fieldtrips, and practice レクチャー、フィールド、体験
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of Int. Education and Collaboration 国際連携本部), Sekine Tatsuhito 関根達人 (Humanities and Social Sciences 人文社会科学部) 高橋憲人 (Education, The Research Center for Next Generation Well-being 教育学部附属次世代ウェルビーイング研究センター)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○芸術ならびにその近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、演奏表現や作品制作の実践や鑑賞を理解すること
授業の概要 course description	This course aims to enable students to deepen their understanding of the historical background of art forms from the Tsugaru region and the narratives they embody. They are introduced to Jomon and Ainu art forms, Tsugaru-nuri (Tsugaru lacquer-ware), Aizome and Koginzashi (indigo-dyeing and embroidery) and Neputa-e (paintings used for Neputa festival floats) as well as artists from the Tsugaru region and their works. 津軽地方のアートの歴史的背景とこめられたナラティブについて理解を深めます。縄文のアート、アイヌのアート、津軽塗、藍染め、こぎん刺し、ねふた絵に加え津軽地方のアーティストと作品について学びます。
授業の内容予定 schedule of the class	1 : Introduction・overview 概要 2 : Jomon art 縄文のアート 3 and 4 : Sannai Maruyama and Museum of Art 三内丸山・県立美術館 5 : Ainu art アイヌのアート 6 : Tsugaru lacquer-ware today 現代の津軽塗① 7 : Tsugaru lacquer-ware today 現代の津軽塗② 8 : Tsugaru lacquer-ware workshop 津軽塗ワークショップ 9 : Tsugaru lacquer-ware in historical context 津軽塗の歴史背景 10 : A History of Kogin embroidery こぎん刺しの歴史 11 : Indigo-dyeing workshop 藍染ワークショップ 12 : Kogin embroidery workshop こぎん刺しワークショップ 13 : A history of Neputa painting ねふた絵の歴史 14 : Neputa painting ① ねふた絵① 15 : Neputa painting ② ねふた絵② 16 : Final reflections
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	評価は100%授業中に完成するレポートに基づいて行われます。 Evaluations will be based 100%on students' written work completed in class.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: students will be given reading assignments to prepare for classes. Review: they will be required to reflect on the content of classes in order to complete their written work. 予習: 授業に備えて資料を読みます。 復習: コースの内容を振り返りながらレポートを書きます。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	<p>Students will be required to pay for the materials used to make their own craftwork on fieldtrips. (Total estimated cost: approximately ¥4,000 depending on what each student chooses to make.)</p> <p>フィールドで体験する工芸制作の材料費は自己負担となります。（選ぶ作品によって¥4,000前後）</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>Email to make an appointment. メールで予約してください。</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	<p>hannah@hirosaki-u.ac.jp</p>
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability to communicate with each other during class discussions and activities. 指導は日本語と英語で行われます。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。</p>
その他 other	<p>Class capacity:20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity. 定員：20名 定員を超えた場合くじ引きを行います。</p>

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本美術史 Japanese Art History
副題 subtitle	
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	Semester I
曜日 day 時限 period	Tuesday 7・8 Period
授業形式 class format	Lecture and Active Learning
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪 淳一郎 SUWA, Jun'ichiro (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	Students will develop insights into Japanese art by taking lectures and making presentation and project.
授業の概要 course description	Basic guidance about the topic will be given on lecture, followed by fieldwork and individual presentation.
授業の内容予定 schedule of the class	This is a tentative schedule and is subject to change. 1. General guidance 2-4. Kominka (w/Fieldwork 2 class hours) 5-6. Paintings from scroll and ukiyo-e to manga & research 7. Presentation #2 (Manga and artwork) 8. Presentation #1 (kominka) 9. The art of Kitaoji Rosanjin: A case study & Fieldwork in Tableware 10. Presentation #3 (Tableware & Decor) 11-13. Fieldwork for presentations 14. Presentation #4 (Cinema) 15. Presentation #5 (Art gallery)
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Presentations 80%, Active participation 20%.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Class assignments are to find an example of topic of the class. Prepare an example before class hour.
教材・教科書 text	None
参考文献 references	None
留意点・予備知識 remarks	
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Wed. 7・8 Period
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Entirely in English.
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	青森エクスカーショナーCultural anthropology of Exhibitionー【教養】 Japanese Local Food Culture and Dietary Practices
副題 subtitle	
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	前期
曜日 day 時限 period	水曜日 7・8時限目
授業形式 class format	講義、発表、校外学習 Lecture, Presentation, Filed Study
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 (国際連携本部)、片岡太郎 (人文社会科学部) SUWA Jun'ichiro (DIEC), KATAOKA Taro (Humanities and Social Sciences)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○現地調査のノウハウを身につけること Acquire skills for field research. ○現地調査を通して、青森の地域社会や自然について、探求していくことができるようになること Acquire ability to deepen understanding about local society or nature through field research.
授業の概要 course description	○対象とした視聴覚的な側面についてフィールドワークし、考古/文化人類学的な学修を身に着けます。 Archaeological/Anthropological study based on the audiovisual aspects in field work will be conducted through observing archaeological sites. ○青森の地域性について考古学的遺跡のフィールドトリップから学習します。 Locality of Aomori will be explored through making field trips to archaeological sites and contemporary street landscape.
授業の内容予定 schedule of the class	(確定版は授業開始後にお知らせします。Schedulae will be finlized after the class starts.) 1. 概説：日本列島の人類史 Introduction: Human History and Japanese Archipelago 2. 見えるものと見えないもの The Visible and the Invisible 3. 狩猟採集民とアニミズム Hunter-gatherers&Animism 4. 現代日本と縄文 Contemporary Japan and Jomon 5. 収集と展示の文化史 Cultural history of collection and exhibition 6. フィールドトリップの準備 Preparation of FT 7. 青森県内の縄文遺跡群と遺跡展示について Archaeological sites and display in Aomori 8～13. フィールドトリップ(終日)、是川遺跡および小牧野遺跡(授業5回分を使って青森と八戸まで行きます) Field study in exhibition: Korekawa and Komakino sites. 14～15. フィールドトリップ発表 Presentation on FT
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	発表(3回)100% Presentations
準備学習(予習・復習) 等の内容 preparation for class	授業内容に関する予備の知識とまとめに取り組む。Study of and reflection on in-class materials.

教材・教科書 text	None
参考文献 references	TBA
留意点・予備知識 remarks	<p>発表を含む授業のすべてを英語で行います。 This course is taught in English.</p> <p>フィールドトリップ（授業9～13に相当）は週末の終日実施します。 Field trip takes a whole day and is scheduled in weedend.</p> <p>フィールドトリップが実施できない場合は、映像を視聴してもらいます。 In case if field tripis cancelled, a video of archaeological sites is viewed.</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日9・10時限目 or Team
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	In English.
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	文学－日本の絵本の世界－【教養】 The world of Japanese picture books
副題 subtitle	文学-日本の絵本の世界
対象学生	International students and Japanese students 留学生と日本人学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Wednesday 水曜日 5・6 (12:40～14:10)
授業形式 class format	Lectures、 discussions レクチャー、ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ Hannah Joy Sawada (国際連携本部 Dept.of Int.Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○文学ならびにその学問の近接領域についての学識を得ること ○ 上記学問の知識や技能に基づいて、文学と歴史・社会の関連を学びその意義を理解できる ようになること
授業の概要 course description	This course explores the world of Japanese picturebooks. It harnesses picturebook theory to examine how picturebooks convey meaning. It then traces the evolution of picturebooks in Japan and examines predominant themes which recur in widely-read works by contemporary picturebook makers. 絵本論を活用し、絵本の日本での展開をたどり、今日広く読まれている作品の主たるテーマを検証します。
授業の内容予定 schedule of the class	Sessions 1-2: Introduction and overview 概要 Sessions 3-5: How picturebooks make meaning 絵本と意義 Sessions 6-8: A history of Japanese picturebooks 日本の絵本の歴史 Sessions 9-13: Contemporary picturebook makers and their works 現代の絵本作家と作品 Sessions 14-15: Final reflections 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluations will be based 100% on students' written work, completed in class. 評価は100%授業で完成させるレポートに基づいて行われます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be assigned readings. テキストを予習します。
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. Students will also collaborate when we conduct a weekend picture book reading for children partway through the course. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。コースの中頃、こどものための読み聞かせを週末に行う時も協力します。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be conducted in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity:20 Lots will be drawn if enrollments exceed capacity. 定員:20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	文学－日本の戦争文学－【教養】 Japanese war literature
副題 subtitle	文学 - 日本の戦争文学
対象学生	International students and Japanese students 留学生と日本人学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Thursday 木曜日 5・6 (12:40～14:10)
授業形式 class format	Lectures, discussions レクチャー、ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of Int. Education and Collaboration 国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○文学ならびにその学問の近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、文学と歴史・社会の関連を学びその意義を理解できるようにすること
授業の概要 course description	This course harnesses postwar literature as a means of gaining a deeper understanding of how WWII is remembered in Japan. We will read fiction, non-fiction, comics and picturebooks which portray war as well as watching their screen versions. 戦後の文学を活用し、第二次世界大戦が日本においてどのように記憶されているのか理解を深めることを目標とします。戦争に関連するフィクション、ノン・フィクション、漫画や絵本、映画により、検証します。
授業の内容予定 schedule of the class	Changes may be made to the following schedule if the need arises. 状況により下記の予定を変更する場合があります。 Session 1: Introduction 概要 Session 2: Historical background 歴史的背景 Session 3-4: Harp of Burma 『ビルマの竖琴』 Session 5: Bones 『骨』 Session 6-7: Unexpected muteness 『不意のおし』 Session 8-10: Barefoot Gen 『はだしのゲン』 Session 11-12: Picturebooks depicting the war years 戦争をテーマとする絵本 Session 13: Hiroshima no Pika and The Hiroshima Panels 『ひろしまのピカ』と『広島の日』 Session 14-15: The Friends 『夏の庭』 Session 16: Final reflections
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based 100% のwritten submissions. 評価は100%レポートによって行われます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Students will be given reading assignments to prepare for classes. Review: They will be required to reflect on the content of classes to complete their written work. 予習: 授業にそなえて作品を読みます。 復習: コースの内容を振り返りながらレポートを書きます。
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料を配布します。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and International students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be held in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. 授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity. 定員：20名定員を超えた場合はくじ引きを行います。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	芸術—茶室の美学—【教養】 The Aesthetics of the Japanese Tea Room
副題 subtitle	茶室の美学
対象学生	International Students and Japanese students
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Thursday 木曜日9・10 (16:00~17:30)
授業形式 class format	Lectures, groupwork and fieldwork レクチャー、グループワーク、見学
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Tada Megumi 多田恵実 (Visiting Lecturer) Sanae 片桐早苗 (教養教育開発実践センター) Katagiri
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○芸術ならびにその近接領域についての学識を得ること ○上記学問の知識や技能に基づいて、演奏表現や作品制作の実践や鑑賞を理解すること
授業の概要 course description	This course introduces the aesthetics of Japanese tea ceremony and the room in which it takes place. We will watch portrayals of tea ceremony on screen and visit a tearoom to gain a basic understanding of this art before learning in more detail about the matcha, wagashi, flower arrangement, calligraphy, and traditional Japanese attire integral to its practice. この授業は茶道と茶室の美学の入門です。映画の鑑賞や茶室の訪問を通して茶道を紹介し、抹茶、和菓子、華道、書道、和装について理解を深めます。
授業の内容予定 schedule of the class	Sessions 1~4: An Introduction to the tearoom, utensils and philosophy central to Japanese tea ceremony. 茶道の茶室、道具や精神の基礎知識 Sessions 5~7: The practice of tea ceremony and a tea room visit 茶道の体験、茶室へ訪問 Session 8: Wagashi和菓子 Session 9: The preparation of tea Sessions 10~11: Calligraphy 書道 Sessions 12~13: Ikebana 生け花 Session 14: Japanese clothing 和装 Session 15: Final reflections Session 16: Feedback
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluations will be based 100%on student's written work. 評価は100%レポートに基づいて行われます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be asked to carry out individual research to prepare for classes. They will be required to review the content of classes to submit their written work. 予習として調べ学習を行い、授業内容を復習してレポートを提出します。
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other to complete group work. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がgroupワークを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be conducted in person, and Teams used if circumstances demand. 授業は対面で行い、メディア授業に移行した場合はTeams で行います。
その他 other	Class capacity:20 Lots will be drawn if enrollments exceed capacity. Students will be required to purchase materials estimated to cost approximately ¥3000. 定員:20名 定員 を超えた場合はくじ引きを行います。材料費約¥3000は自己負担となります。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップAーリンゴ栽培、商品開発、マーケティング Internship A-Apple cultivation, product development, marketing-
副題 subtitle	インターンシップA: リンゴ栽培、商品開発、マーケティング
対象学生	Exchange students who have upper-intermediate Japanese proficiency 日本語中上級レベルの交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(I Semester) 前期
曜日 day 時限 period	Wednesday 水曜日 7・8 (14:20~15:50)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in industries related to apple cultivation, which Aomori prefecture has the largest share of in Japan. このインターンシップでは 青森県が全国で最大のシェアを誇るリンゴ栽培と関連業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in apple cultivation, product development and marketing. 学生にリンゴの栽培、商品開発とマーケティングの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at the Apple Park managed by the Hirosaki Tourism and Convention Bureau for 6 Saturdays during the first semester (dates to be announced). They will be required to support a range of staff duties, anticipated to include translating materials for international visitors to the park. 前期中の土曜日6回 弘前観光コンベンション協会の運営するりんご公園に勤務し観光客向けの資料の通訳を含む各種の業務をサポートする(日程は後日確定)。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。

授業形式・形態及び授業方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will submit a final report on completion. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。
オフィスアワー Office hour	Make an appointment by email. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	N/A

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップAー観光PRー Internship AーTour Promotionー
副題 subtitle	インターンシップ A: 観光PR
対象学生	International students with upper intermediate Japanese language proficiency or above日本語中上級以上の語学力を有する交換留学生
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日12:40~14:10
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the Japanese or Japan-related tourist industry. このインターンシップは日本、又は日本に関係した観光産業で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	It offers first hand experience in working with the Hirosaki Tourism and Convention Bureau. 弘前観光コンベンション協会の仕事に取り組む機会を提供します。
授業の内容予定 schedule of the class	1: Preparatory instruction 事前指導 2: Work with Hirosaki Tourism and Convention Bureau staff, undergoing their training for guides, translating materials for overseas tourists and writing posts for their social media. 弘前観光コンベンション協会のスタッフとともに作業し、ガイドのトレーニングを受け、海外からの観光客のための資料の翻訳やSNSの投稿を行う。 3: Final reflections and report. 振り返りと活動報告レポート。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and/or view resources. 資料の熟読あるいは視聴が求められます。
教材・教科書 text	Resources will be provided. 関連資料を提供します。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. Upper intermediate Japanese language proficiency or above is required. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Students will be required to go to the Hirosaki Tourist Convention Bureau for approximately 3hours on Friday afternoons, so if they plan to take other classes on Friday afternoons as well, they will not be able to participate in this internship. Tasks will involve 3～4 Saturdays as well. Dates to be announced. 弘前観光コンベンション協会での仕事は金曜日の午後, 約3時間かかるため金曜日の午後に別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。なお、3～4回の土曜日の仕事も含みます。日程は後日調整となります。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this workplace is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」(火曜日12:40～14:10)をも履修することを強くお勧めします。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップA—シティ・プロモーション— Internship A—City Promotion—
副題 subtitle	インターンシップ A: シティ・プロモーション
対象学生	Exchange students with upper-intermediate Japanese proficiency or above 日本語中上級以上の語学力を有する交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(I Semester) 前期
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日 5・6 (12:40～)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship offers valuable experience to students who are interested in future work in Japan such as becoming a coordinator for international relations in a municipality or work which puts their Japanese language skills to use. 将来日本の自治体で国際交流員として働きたいなど、日本での仕事や、日本語の語学力を生かした仕事に興味や意欲を持った学生に実習体験をさせることを目的とします。
授業の概要 course description	Participants are offered the opportunity to engage in tasks related to work in a municipality. Duties will pertain to city promotion and involve providing information for Japanese and International visitors. After preliminary instruction participants will gather information about Hirosaki city and its attractions, undertake translation from Japanese to other languages, and take photographs and videos to post on social media. There are times that participants will be asked to use their own mobile phone cameras to compile these images. このインターンシップは、学生に自治体事務などに関わる仕事の実体験をさせるものです。業務は、日本の国内外に向けた情報発信などのシティプロモーション事業に関わる内容です。事前指導後、弘前市についての情報収集や魅力の発掘、日本語から母国語への翻訳、自ら撮影した画像や動画などによるSNSでの情報発信などの業務に従事していただきます。学生はこの作業に自身の携帯電話のカメラなどを使用する場合があります。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will usually be required to work for the Hirosaki City Office on Friday afternoons and on other pre-negotiated times and weekends when involving city events (Dates/times of these events to be discussed and confirmed). Students who are taking classes in the 7・8 and 9・10 periods on Fridays cannot participate in this internship, as they may not be able to return to the University on time. 学生は基本的に金曜日の午後、そしてイベントと関わる場合はあらかじめ調整した空き時間や週末、弘前市役所に勤務する。(これらのイベントの日時は事後確定) 金曜日の7・8 と 9・10に他の授業を受けている学生は間に合って大学に戻れないためこのインターンシップに参加できません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be given tasks to complete on their own, in addition to attending work sessions at the city office. 市役所で行う実習に加え学生は自習を行い、与えられた課題を自宅などで行う。

教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	<p>Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int.Education and Collaboration.</p> <p>インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。</p>
授業形式・形態及び授業 方法 class format	Preparatory sessions will be held before work at the city office begins. 勤務前に事前指導を行う。
留意点・予備知識 remarks	<p>Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants who should have upper intermediate level of Japanese or above.</p> <p>参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。</p>
オフィスアワー Office hour	Email to make an appointment. 予約要
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	<p>Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where Hirosaki City is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40~14:10)</p> <p>このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」（火曜日12:40~14:10）をも履修することを強くお勧めします。</p>

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップA—Webマーケティング— Internship A—Web marketing—
副題 subtitle	インターンシップ A: Webマーケティング
対象学生	International exchange students with a high level of English and/or other languages. 英語や他の言語の高い能力を持った交換留学生
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Tuesday 火曜日 (16:00～17:30)
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire skills required for working in a Japanese workplace through first-hand experience under the supervision of Consis Co.Ltd. このインターンシップは 株式会社コンシスの指導下で、日本の職場で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	After initial preparatory instruction students will translate websites and social media operated by Consis Co. Ltd. into other languages and make this information available to people who use these languages to communicate. They will then conduct analysis of these sites. They will also support consultation for prefectural businesses and organizations by performing translation tasks and assisting in the facilitation of events . 学生は株式会社コンシスが運営しているWebサイトやSNSを多言語化することにより、当該言語が主なコミュニケーション手段とする人たちに情報発信を行う。 また更新したサイトの分析を行う。また県内企業・団体のコンサルティングサポート（翻訳業務、イベントサポート等）を実施する。
授業の内容予定 schedule of the class	<u>Changes may be made to the following schedule depending on circumstances:</u> Sessions 1～2: Preparatory instruction. (Writing a personal history, first meetings and manners, communications related to the workplace) Sessions 3～13: Weekly meetings with supervisors, and submission of tasks outlined above Sessions 14～15: Final reflections and report <u>状況によりスケジュールを変更する場合があります。</u> 1～2: 事前指導（履歴書の書き方、会社訪問やマナー、職場に必要なコミュニケーション） 3～13: ミーティング・課題提出 14～15: 振り返り、最終レポート
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int.Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料が配布されます。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	Numbers of participants are strictly limited, and a high standard of conduct is required of all. Participants must attend all meetings, and submit all tasks. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。すべてのミーティングに出席し課題を完成させなければなりません。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction will be mostly given in Japanese but English support will be available. <u>Students will be required to go to the company office to attend staff meetings between 15:00~17:30 on Tuesdays, so students who plan to take another class before this one will not be able to participate in this internship.</u> 指導は主に日本語で行いますが英語のサポートもあります。学生が会社で出席する会議は火曜日の15:00~17:30に開催されるため、この授業の前に別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40~14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」（火曜日12:40~14:10）をも履修することを強くお勧めします。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップAー地域ツーリズムー Internship AーRegional Tourismー
副題 subtitle	インターンシップ A: 地域ツーリズム
対象学生	Exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese. 中上級以上の日本語能力あるいは高い英語能力と中級日本語能力を持つ交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(I Semester) 前期
曜日 day 時限 period	Wednesday 水曜日 9・10 (16:00～17:30)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the tourist industry. このインターンシップは 観光業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in regional tourism. 学生に地域ツーリズムの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at a tourist facility, Tsugaru Han Neputa Mura for 6 Saturdays spread out over the semester (Dates to be confirmed.) They will be required to support a wide range of staff duties in addition to translating printed materials and coaching staff in the pronunciation of their own language. A measure of remote work may be assigned, depending on circumstances. 6日間土曜日に津軽藩ねぷた村に勤務する(日程は後日確定)。翻訳やスタッフの発音指導を行い、各種の業務をサポートする。状況により、実習の一部をリモートで行うかもしれません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。

授業形式・形態及び授業方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will submit a final report on completion. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。
オフィスアワー Office hour	Email to make an appointment. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40~14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」(火曜日12:40~14:10)をも履修することを強くお勧めします。

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	Internship A-Hospitality management インターンシップA-ホスピタリティ-経営
副題 subtitle	
対象学生	International exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency (N2 or preparing for the N2 test) 中上級以上(N2、あるいはN2の日本語能力試験を受ける予定)の交換留学生
単位 credit	2
学期 semester	Semester I (前期)
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日 9・10
授業形式 class format	Instruction, internship, reflection 指導、インターンシップ、振り返り
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the hospitality industry. このインターンシップは ホスピタリティ業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	Students will work at a resort hotel for 3 weekends spread over the semester. (Dates to be confirmed.) They will be required to support a wide range of staff duties. リゾートホテルで3回、週末に泊まり込みで勤務する(日程は後日確定)。スタッフの各種の業務をサポートします。
授業の内容予定 schedule of the class	1. Preliminary instruction 事前指導 2. Internship インターンシップ 3. Reflection 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	N/A

参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	<p>Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. Each of the 3 weekend sessions which take place at the hotel will start from early Friday afternoon and end on Sunday evening. (Lodging is provided) Therefore students who intend to enroll in other classes on Friday afternoons cannot participate in this internship.</p> <p>参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。3回行う週末の勤務は金曜日の昼から始まり、ホテルで宿泊して日曜日の夕方終了しますので、他の金曜日の午後の授業に履修している場合はこのインターンシップに参加できません。</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>Email to make an appointment メールで予約をしてください。</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>After preliminary training, students will undertake the tasks they are assigned at their workplace. They will be required to submit a final report.</p> <p>事前指導を受けてからインターンシップ先で実習に取り組みます。終了時にレポートを提出します。</p>
その他 other	<p>Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40~14:10)</p> <p>このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」(火曜日12:40~14:10)をも履修することを強くお勧めします。</p>

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップAーアートツーリズム、プロモーションー Internship A-Art Tourism and Promotionー
副題 subtitle	インターンシップ A: 美術観光とプロモーション
対象学生	International exchange students with a high level of English and/or other languages. 英語や他の言語の高い能力を持った交換留学生
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	I Semester 前期
曜日 day 時限 period	Monday 月曜日 (14:20～15:50)
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire skills required for working in a Japanese workplace through first-hand experience under the supervision of the Hirosaki Museum of Contemporary art. このインターンシップは 弘前れんが倉庫美術館の指導下で、日本の職場で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	After initial preparatory training, students will attend lectures to learn about the Hirosaki Museum of Contemporary art, conduct research regarding sources of information available to tourists from their own countries, engage in promotion and customer service, and assist at events held at the museum. 事前指導後、学生は弘前れんが倉庫美術館について学ぶためにレクチャーに出席し、各国の観光客の情報収集についてリサーチを行い、広報とお客様対応の実習に取り組み、イベントのサポートを行う。
授業の内容予定 schedule of the class	<u>Changes may be made to the following schedule depending on circumstances:</u> Sessions 1～3: Preparatory instruction. (Writing a personal history, first meetings and manners, communications related to the workplace) Sessions 4～13: Tasks outlined above Sessions 14～15: Final reflections and report <u>状況によりスケジュールを変更する場合があります。</u> 1～3: 事前指導 (履歴書の書き方、会社訪問やマナー、職場に必要なコミュニケーション) 4～13: 上記の課題への取り組み 14～15: 振り返り、最終レポート
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料が配布されます。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	Numbers of participants are strictly limited, and a high standard of conduct is required of all. Participants must attend all sessions, and submit all tasks. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。すべての実習に出席し課題を完成させなければなりません。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Make an appointment by email. Eメールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction will be mostly given in Japanese but support will be available when needed. Students will be required to go to the Hirosaki Museum of Contemporary Art to engage in tasks between 14:20~17:30 on Mondays, so students who plan to take another class from 16:00 will not be able to participate in this internship. There will also be occasional weekend tasks. 指導は主に日本語で行いますが必要があればサポートもあります。弘前れんが倉庫美術館で月曜14:20~17:30に実習を行うため、16:00から別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。時々週末の実習もあります。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this museum is located by also enrolling in "Art and narrative of the Tsugaru region" (Tues. 12:40~14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽のアートとナラティブ」(火曜日12:40~14:10)をも履修することを強くお勧めします。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	TESOL—ティーチング・プラクティス IA TESOL—Teaching Practice IA
副題 subtitle	
対象学生	International students who are native speakers of English , or have a high level of English language proficiency
単位 credit	2
学期 semester	Semester I
曜日 day 時限 period	Tuesday 7・8 (14:20～15:50)
授業形式 class format	Instruction, preparation, teaching practice and reflection.
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Tatsuta Natsuko (Institute for Promotion of Higher Education), Sato Tsuyoshi (Faculty of Education), Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Ed and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This class aims to provide instruction and practical training in teaching English to speakers of other languages.
授業の概要 course description	Participants will receive instruction and supervision regarding preparation of activities/exercises aimed to enhance English language acquisition. They will implement this content in classes held by the lecturer for Japanese students.
授業の内容予定 schedule of the class	1. Meetings (instruction, preparation and reflection) will be undertaken on Tuesdays 7・8. 2. Participants will practice teaching the content they have prepared at 13 classes. (Days for practice will be negotiated, not to clash with other classes that participants are required to enroll in.)
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Reflection paper of teaching practice: 80% Final paper: 20%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Participants are required to attend meetings on Tuesdays 7・8 to prepare for their teaching practice, and will practice teaching at least once a week, for a total of 13 times at English language classes conducted during the semester. They will complete a reflection paper after each teaching practice.
教材・教科書 text	N/A
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Both a high level of English language proficiency and a basic level of Japanese language proficiency or above are required in addition to enthusiasm regarding education.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	総合教育棟2F B206-4 Tuesdays 10:30-12:00 Thursdays 10:30-12:00
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	tatsuta*hirosaki-u.ac.jp (replace the @ with *)
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction, practice and reflection
その他 other	A certificate of completion will be issued to those who have earned credits.

※上記の内容は変更される場合があります。
※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	児童教育－ティーチング・プラクティス I B Childhood Education－Teaching Practice I B
副題 subtitle	
対象学生	Exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese.
単位 credit	2
学期 semester	Semester I 前期
曜日 day 時限 period	Friday (金) 7・8 (14:20～)
授業形式 class format	Instruction, preparation, practice, reflection 指導、準備、実習、振り返り
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This class aims to give students a deeper understanding of childhood education in Japan and an opportunity to practice teaching children multicultural understanding. 日本における児童教育について理解を深め、多文化理解を育む教育の実習を行う。
授業の概要 course description	Participants will be given initial instruction, and prepare activities to foster multicultural understanding for children, primarily of kindergarten and elementary school age. They will implement these activities in educational facilities, and reflect on their practice to improve outcomes. 事前指導後、保育園児や小学生向けに国際理解を育むアクティビティを準備し、教育機関で実習を行う。実習後、振り返り、改善方法を考える。
授業の内容予定 schedule of the class	1. Initial Instruction and preparation 事前指導、準備 2. Core teaching practice at Kindergarten/after school facilities every other week 隔週、保育園や児童館で実習 (Additional visits to other facilities may also be undertaken, for further experience 他の施設を訪問する機会もあるかもしれません。) 3. Reflection on activities 実習の振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Participants grades will be based on evaluations of performance completed by staff of facilities visited, and their own reflections. 実習先の評価と振り返りレポートに基づいて採点を行います。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will prepare for teaching practice and reflect on their performance to consider possible improvements. 実習内容の準備をし、振り返りを通して改善を検討する。
教材・教科書 text	N/A
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. On days that practice is undertaken at educational facilities, students will not be able to return to University until 17:30, so they must keep this time slot free. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。実習を実践する日は17:30まで大学に戻れませんので、この時間帯を開けておく必要があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction/practice in person.
その他 other	Students who require certification that they have participated in teaching practice in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int.Education and Collaboration.成績証明書に加え実習に参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域プロジェクトティーチングプラクティスIC Community Project -Teaching Practice IC
副題 subtitle	
対象学生	International students 留学生
単位 credit	2
学期 semester	Semester I (前期)
曜日 day 時限 period	Monday 9・10
授業形式 class format	Instruction, preparation, practice, reflection 指導、準備、実習、振り返り
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This class aims to give students a deeper understanding of community in Japan and an opportunity to practice teaching children multicultural understanding. 日本におけるコミュニティの理解を深め、多文化理解を育む教育の実習を行う。
授業の概要 course description	Participants will be given initial instruction, and prepare activities to foster multicultural understanding for children in a community project managed by Supo-netto-Hirosaki. They will implement these activities and reflect on their practice to improve outcomes. 事前指導後、スポネット弘前の運営するコミュニティプロジェクトで子供のための国際理解を育むアクティビティーを準備し、実習を行う。実習後、振り返り、改善方法を考える。
授業の内容予定 schedule of the class	1. Initial Instruction and preparation 事前指導、準備 2. Facilitation of activities to foster cultural understanding for children who gather at a community hall every other week. 隔週、弘前市民文化交流館で集まる子供と文化理解を育むアクティビティーを実施する。(Additional visits to other facilities may also be undertaken, for further experience 他の施設を訪問する機会もあるかもしれません) 3. Reflection on activities 実習の振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Participants grades will be based on evaluations of performance completed by project supervisors, and their own reflections. プロジェクトのスーパーバイザーの評価と振り返りレポートに基づいて採点を行います。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will prepare activities and reflect on their performance to consider possible improvements. 実習内容の準備をし、振り返りを通して改善を検討する。
教材・教科書 text	
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. On days that community activities are undertaken, students will be engaged until 18:00, so they must be prepared to adapt their schedules . 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。実習を実践する日は18:00までかかるので、スケジュールを調整する必要があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment. Eメールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction/practice in person. 指導と対面の実習

その他 other	Students who require certification that they have participated in teaching practice in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int.Education and Collaboration. 成績証明書に加え実習に参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
-----------	--

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域観光と地域プロモーションA Tourism and Regional Promotion A
副題 subtitle	
対象学生	日本語もしくは英語が中級レベル以上の外国人留学生 International students who have at least intermediate proficiency either in Japanese or English
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	木1・2 (1・2 Thursday)
授業形式 class format	講義、ディスカッション、校外学習、発表 Lectures, Discussions and Presentations
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	鹿嶋 彰 (非常勤講師) KASHIMA, Akira
授業としての具体的到達目標 goal of the class	①津軽地域の具体的なイメージを持ち、それを伝えることができる ②①のイメージをもとに、観光を核にした地域プロモーションについて、外国人留学生の視点ならではの建設的な意見を持てるようになる ①The goal is to create a concrete image of the Tsugaru region and explain it to the others. ②Be able to offer constructive opinions from the perspective of an international student regarding regional promotion centered on tourism.
授業の概要 course description	○観光を通じた地域プロモーションの話題を通して、弘前を中心とした津軽地域について学びます。 Learn about the Tsugaru region centered on Hirosaki through the topic of regional promotion through tourism. ○津軽地域の多様な観光資源とその可能性について検討します。 Learn about the Tsugaru region centered on Hirosaki through the topic of regional promotion through tourism.
授業の内容予定 schedule of the class	○津軽の自然、歴史、食、農業、祭り等について検討し、皆さん自身の留学生の視点からの津軽地域プロモーションプランの作成に繋がります。 We will discuss Tsugaru's nature, history, food, agriculture, festivals, etc. and help you create your own Tsugaru region promotion plans from the perspective of an international student. ○「弘前を中心とした津軽の地理歴史」、「津軽の祭り（特に弘前の桜祭り、県内のねぶた、ねぶた祭り）」、「白神山地を中心とした津軽の自然」、「田んぼアートに代表される地域おこしイベント」等に関連した話題について学び、これらの観光資源としての可能性の検討、これらを用いた地域プロモーションプランの作成を行います。具体的な授業プランは1回目の授業で説明します。 Learn about topics related to "Geography and history of Tsugaru centered on Hirosaki", "Tsugaru's Festivals in Tsugaru (especially Hirosaki's cherry blossom festival, Neputa and Nebuta festivals in the prefecture)", "Nature of Tsugaru centered on the Shirakami Mountains", and "Regional revitalization events such as Inakadate Rice Field Art" etc, and explore those tourist resources. We will examine the potential of those as tourism resources and create regional promotion plans using them. The specific lesson plan will be explained in the first meeting. ○3回程度、フィールドトリップを実施する予定です。フィールドトリップは週末に行う可能性があります We plan to conduct field trips three times. Field trips will take place on weekends.
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	最終発表とレポート50%, 授業参加 (課題の達成度等を含む) 50% Final presentation and final written work 50%, Productive participation (including the degree of achievement of the task) 50%

準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	<p>○資料がある場合は、事前によく読んでください。 Students are required to read carefully related resources.</p> <p>○扱うトピックに関連のあるフィールドワーク、インターンシップを経験している学生は、自分の経験、知識を言語化して、他の学生とシェアできるよう準備をしてください。 Students who have experience in fieldwork or internships related to the topics covered should be prepared to verbalize their experiences and knowledge and share them with other students.</p>
教材・教科書 text	資料を配ります。Handouts will be provided.
参考文献 references	TBA
留意点・予備知識 remarks	<p>○授業は日本語、英語の一方もしくは両方を使って行います。主に使用する言語は、一回目の授業で決めます。 Classes will be conducted either in Japanese or English, or both of the two languages. The main language to be used in the classroom will be confirmed during the first meeting.</p> <p>○参加者の人数は20名程度までとします。 The number of participants is limited to around 20 students.</p> <p>○参加学生は、地域のフィールドトリップを含む授業やインターンシップ関連授業を履修済みもしくは平行して履修することを強くお勧めします。 It is strongly recommended that participating students have already completed or taken concurrently courses that include local field trips and/ or internship-related courses.</p>
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	<p>質問は、授業の前後かemail/ Teamsでしてください。 Please ask questions before or after class or by email/ Teams if you have any.</p>
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	akashima_hirosaki@yahoo.co.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>講義、グループディスカッション、プレゼンテーションによる授業です。 Lectures, group discussions, presentations</p>
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	自主研究 IA Seminar IA
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生または授業担当教員が管理するJASSOプログラムで奨学金を受けている学生 Sected students or the students under designated JASSO Scholarship 人文社会科学部研究科専門科目「文化人類学」に出席する学生も、こちらの科目として履修登録してください。
単位 credit	2
学期 semester	前期 Semester I
曜日 day 時限 period	木曜日7・8時限目または個別相談 Thursday by appointment
授業形式 class format	ゼミ Seminar
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 SUWA Jun'ichiro (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	それぞれの学修計画で志向する専門知識を深化させる。
授業の概要 course description	与えられたテーマに関する文献購読、討論、論文の作成。テーマや教材は原則として学生が選ぶ。 Readings, discussions and/or essay writing about the course materials. The materials are chosen by the student.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進めていく。 Based upon discussion between the student and instructor
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Discussions and participation 100% (this is a seminar class)
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。 TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	JASSOプログラムで指定している場合は必ず履修すること。 Requirement for designated JASSO programs absolutely. 「文化人類学」のシラバスは諏訪研究室の前に貼りだしてあります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日9・10時限目 Wednesday 9・10 period
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語または英語 JP or EN (student's choice)
その他 other	JASSOプログラムが不採択であった場合は学修計画の提出により開講を判断する。 When there is no JASSO scholarship, individual students might be able to enroll upon submitting a study plan.

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	自主研究 IB Seminar IB
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生 Students who have the approval of the lecturer
単位 credit	2
学期 semester	前期・Semester I
曜日 day 時限 period	個別相談 By appointment
授業形式 class format	自主研究 Independent research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ Hannah Joy Sawada (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	学生がこの授業において志向する専門知識を深めること。To deepen the understanding of the student in their chosen field of knowledge.
授業の概要 course description	選ばれたテーマに関する日本語または英語の文献購読と対論や英文課題作成。 Readings, discussions in Japanese or English and/or written assignments in English.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進める。Based on discussion between the student and instructor.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物に基づいて採点する。Based on assignments.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	指導の可能な分野は近代の日本文学、特に津軽地方の文学やその文化的背景、女性による文学と歴史的背景、戦後に書かれた戦争文学や絵本です。指導について許可を求める際は具体的な学習計画を持参してください。Supervision can be requested for independent research in regional studies or modern Japanese literature, particularly literature of the Tsugaru region and/or its cultural background, women's literature and its history, war literature written in post war Japan and picture books. Students are asked to bring a concrete study plan when they come to request supervision.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	Readings and discussions in Japanese and English, in accordance with students' needs. Written assignments to be submitted in English. 文献購読や対論は学生のニーズに合わせて日本語、あるいは英語で行います。課題は英語で提出していただきます。
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	自主研究IC Seminar IC
副題 subtitle	ピアサポートで学ぶ「研究」の方法 Peer Support learning for Research skills
対象学生	研究したいテーマのある学生（全レベル） The students with research topics (all levels of Japanese welcome)
単位 credit	2
学期 semester	前期 Semester1
曜日 day 時限 period	未定（相談の上決めます） decide after meeting
授業形式 class format	演習、グループ（ペア）ワーク
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	高橋千代枝（国際連携本部）、片桐早苗、ヤグノ・ライク（教育推進機構） Chiyoe, Takahashi (D-IEC), Sanae Katagiri, Reik Jagno (Liberal Arts Ed. Center)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心のあるテーマについて、アカデミックレベルの「研究」をする方法がわかる ・ 世界に存在する課題について理解を深め、クリティカルシンキングの考え方を身につける ・ 文化背景が異なる人と協働するために必要な異文化理解能力や、自文化を客観的に見る力、世界を舞台に活躍するためのコミュニケーション能力等、多文化共生社会を構成する一員として必要とされる能力を身につける ・ 論理的・客観的な意見を構築し、自分の主張をわかりやすく世界に発信する方法を学ぶ -To be able to carry out an academic “research” on topics of your interest. - To deepen your understanding of global issues and think critically. -To develop communication skills and gain perspectives necessary for cooperation in a multicultural society. -To be able to present logical and objective arguments.
授業の概要 course description	各自のテーマについて、クラスメートとディスカッションしながら、アカデミックレベルの「研究」の方法について学びます。世界に存在する課題について批判的な視点からの分析・考察をし、自らの意見を客観的根拠を基に論理的に構築し、その主張をわかりやすく世界に発信する方法を学びます。 Students will learn about academic research methods and discuss their own topics with classmates. Students will also learn to communicate their arguments clearly and concisely. The course will teach critical thinking skills, enabling students to analyse issues objectively and formulate logical opinions based on evidence.
授業の内容予定 schedule of the class	授業内で以下の内容をクラスメンバーとペア、またはグループで行う ①テーマ決め、②リサーチ、③ディスカッション、④主張をプレゼンテーションの形でまとめる、⑤発表、質疑応答 具体的な進捗は相談の上決定する。学生だけで授業時間外に作業する場合もある。 In pairs or groups, student will complete the following class activities. ① Choosing a topic, ② Conducting research, ③ Participating in a discussion, ④ Summarizing the argument in a presentation format, ⑤ Delivering a presentation and participating in a Q&A session. The specific detail class content for this course will be determined according to the students needs in the orientation session. Students may work outside of class hours.
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	クラスメートとの協働作業への参加態度40%、最終発表60% Active participation in collaborative work with classmates 40%, Final presentation 60%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	自分のテーマ、及びクラスメートのテーマに関する情報収集、最終発表に向けての準備 Collect information about your topic and your classmates' topics, and prepare for the final presentation.
教材・教科書 text	プリントを配布します。
参考文献 references	なし

留意点・予備知識 remarks	N3以上の留学生は、最終発表を日本語で行うことが望ましい。難しい場合は、英語での発表を認める。教室内でディスカッションを行う場合は、日本語、もしくは英語を使用する。 If you are N3 or above, it is highly recommended that you present in Japanese. English is also acceptable. The class discussion and communication between classmates will be either in Japanese or English.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。Make appointment by e-mail.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、ピアラーニング、アクティブラーニング
その他 other	※本授業には、弘前大学はやぶさカレッジの日本人学生が参加する予定です。 *Hirosaki University Hayabusa College students will participate in this class as a part of their curriculum. (Hayabusa College is a special course to aim to foster a global leader.)

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	自主研究I Independent research ID
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した留学生 International Students who have the approval of the lecturer
単位 credit	2
学期 semester	前期・Semester I
曜日 day 時限 period	金曜日 (Friday) 9・10(16:00～17:30)
授業形式 class format	自主研究 Independent research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	澤田真一 Sawada Shinichi (人文社会科学部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	学生がこの授業において志向する専門知識を深めること。To deepen the understanding of the student in their chosen field of knowledge.
授業の概要 course description	選ばれたテーマに関する日本語または英語の文献購読, 対論や課題作成。日本人学生とゼミに参加し、そこで研究成果を発表する。Readings, discussions and written assignments in Japanese or English. Participation in seminar held with Japanese students, and presentations of findings there.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進める。Based on discussion between the student and instructor.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物に基づいて採点する。Based on assignments and presentations
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	指導の可能な分野は多文化共生、ケア、ジェンダー、セクシュアリティ、障害。指導について許可を求める際は具体的な研究計画を持参してください。Supervision can be requested for independent research concerning multicultural interdependence, care, gender, sexuality or disability. Students are asked to bring a concrete study plan when they come to request supervision.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	By appointment
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	ssawada@hirosaki-u.ac.jp

<p>授業形態及び授業方法 Class form and method</p>	<p>Readings and disscussions are conducted primarilly in Japanese and where necessary, in English. Written assignments are to be submitted in either Japanese or English. 文献購読や対論は主に日本語で行い学生のニーズに合わせて英語を活用する。課題は日本語か英語で提出していただきます。</p>
<p>その他 other</p>	<p>人数制限があります。中級以上の日本語能力はが必要となります。受講が認められた学生はゼミへの出席と研究への熱心な取り組みが求められます。There is a limit to the number of applicants who can be approved. Applicants should have intermediate level Japanese proficiency or above. Approved applicants are required to be consistent in their attendance and dedicated to their studies.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	自主研究 IE Seminar IE
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生 Students who have the approval of the lecturer
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I semester)
曜日 day 時限 period	個別相談 By appointment
授業形式 class format	自主研究 Independent research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	それぞれの学修計画に必要な専門知識を深めること To deepen the understanding of the student in their chosen field of knowledge
授業の概要 course description	選ばれたテーマに関する文献購読と討論・アドバイジングや課題実践 Readings, discussion, advising and assignment practice on selected topics
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進める Based on discussion between the student and instructor.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物 (学修ダイアリー20%、中間報告30%、最終発表50%) に基づいて採点する。 Grading will be based on the deliverables (Learning diary 20%, the interim oral report 30% and for the final presentation 50%).
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	指導の可能な分野は応用言語学 (言語教育・学習、自律言語学習、中間言語語用論、ポ ライトネス)、タンデム言語交換、異文化間コミュニケーションに関する研究です。 指導について許可を求める際は具体的な学修計画を持参してください。Supervision can be requested for independent research in Applied Linguistics (Language education and learning, Self access language learning, Interlanguage pragmatics, Politeness), Tandem language exchange and Intercultural Communication. Students are asked to bring a concrete study plan when they come to request supervision.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	金曜 12:40-14:10 要予約 Friday 12:40-14:10 by appointment
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	主に日本語による指導です。英語・スペイン語を補助的に使うこともあります。 Instruction is primarily in Japanese. English and Spanish may be used as an adjunct.

その他 other	<p>受け入れ人数に制限があります。中級以上の日本語能力が必要となります。</p> <p>There is a limit to the number of applicants who can be approved. Applicants should have intermediate level Japanese proficiency or above.</p>
-----------	---

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	Exploring Nature and Local Realities in English
副題 subtitle	Exploring Nature and Local Realities in English
対象学生	2, 3, 4年生 留学生
単位 credit	2
学期 semester	前期/first semester
曜日 day 時限 period	水/Wed 9・10
授業形式 class format	講義科目
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	片桐早苗, SOLOMON JOSHUA LEE, JAGNO REIK
授業としての具体的到達目標 goal of the class	<p>○日本の文明・文化に関する見識を深めること ○日本の文明・文化に関する知識を活用して、日本および諸外国の歴史や現状、展望について理解すること</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 津軽の文化について学習すること 2. 「場」について考察し、身の回りの文化に気づくこと 3. フィールドワーク技能、プレゼンテーション技能を学習すること <p>○To deepen understanding about Japanese civilization and culture ○To apply knowledge of Japanese civilization and culture in understanding the history, present, and future prospects of Japan and other countries</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. To study Tsugaru culture 2. To reflect on and analyze the concept of "place" and become aware of local culture 3. To study techniques of fieldwork and presenting
授業の概要 course description	<p>自文化について学び、身近な文化についての見識を深め、世界語である英語を使い、自分の考えを自らの言葉で世界に発信できるようになる。Tsugaru Life: English Through Local TopicsのテキストをベースにCLIL(内容言語統合型学習)で英語を学びながら、観光ガイドにはない津軽の文化を知ることによって、自らの基本となる故郷のごく身近な文化に対する気づきを高め、それを調査し、英語で発表する。中間報告と最終報告ではそれぞれ口頭発表と、ポスター発表を行う。課題のテーマを選ぶ過程とその理由を意識し、フィールドワーク、インタビュー、文献検索により発見した情報の整理と考察を深め、発表につなげていく。</p> <p>Through this class, students will learn about their own culture, deepen their understanding about culture near to themselves, use the global medium of English, and become able to express their personal thoughts in their own words. Using the content and English integrated learning (CLIL)-style textbook "Tsugaru Life: English Through Local Topics," students will learn English, learn about Tsugaru culture that does not appear in tourism guides, and in doing so raise awareness of local culture in their own homes. They will then conduct a survey about their home culture and present about it in English. The mid-term and final reports will both be oral presentations, and will include a poster presentation. Students will pay attention to the process and reasons for choosing a project theme, conduct fieldwork, interviews, and/or text-based research, and give presentations based on the information they find therein.</p>

授業の内容予定 schedule of the class	<p>第1回 Orientation 第2回 Theme introduction “Thinking about Nature: “湧水” 第3回 Theme introduction “Thinking about the Mundane” 第4回 Research skills 第5回 Thinking about Local: 弘前れんが倉庫美術館 第6回 Think about Local: 弘前市 第7回 Midterm report 中間報告 “The Mundane” 第8回 Thinking about Local: “津軽手踊り” 第9回 Thinking about Local: “津軽周辺の盆踊り” 第10回 Thinking about Local: “北辰堂” 第11回 Thinking about Local: 弘前藩伝林崎新夢想流居合 第12回 Thinking about Nature: “スキー” 第13回 Progress Report 経過報告 第14回 Thinking about Nature: “久渡寺” 第15回 Final project 最終報告</p> <p>Parts of class may be taught in Japanese with English support. 授業の一部は日本語で行われますが、英語でのサポートがあります。</p> <p>シラバスに変更がある場合は、授業内でお知らせします。</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	<p>Class participation: 20% Assignments (reflection/further thinking task): 20% Midterm report: 15% Progress report: 15% Final project: 30%</p>
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	<p>教員の指示により、 1. 教科書 ” Tsugaru Life: English Through Local Topics” の指示した箇所を読み、必要な語彙を調べる 2. 最終報告の為に、地元の事物・文化について調査を行う 3. 各回で学んだことを振り返り、復習する</p> <p>その他、Teamsのビデオや音声機能・メッセージ機能やeメールなどを使い積極的に意見交換、質問をする。</p> <p>Teachers will assign: 1. Read assigned parts of ” Tsugaru Life: English Through Local Topics” and study unknown vocabulary words 2. Conduct a small survey of your home culture for the final project 3. Reflect on and review the contents of each class In addition, use chat functions on Teams or e-mail to actively share your opinions or ask questions.</p>
教材・教科書 text	<p>教材はこちらで提供します ”Tsugaru Life: English Through Local Topics” 弘前大学イングリッシュ・ラウンジ発行（購入する必要はない。初回に配布。）</p> <p>The textbook will be provided in class. There is no need to purchase the book. ”Tsugaru Life: English Through Local Topics”</p>

参考文献 references	<ul style="list-style-type: none"> ・イングリッシュラウンジにある英語の書籍 ・各自の地元・津軽地方についての参考文献 <p>e. g. (弘前大学附属図書館にあります) 『青森の文学世界』 郡千寿子、仁平政人編著 弘前大学出版会 『津軽学入門』 ハンナ・ジョイ・サワダ、北原かな子著 弘前大学出版会 『つがるの夜明け』 『続・つがるの夜明け 上巻~下巻』 陸奥新報社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Books in the English Lounge ・Reference materials about local culture <p>e. g. (Available at Hirosaki University Library) 『青森の文学世界』 郡千寿子、仁平政人編著 弘前大学出版会 『津軽学入門』 ハンナ・ジョイ・サワダ、北原かな子著 弘前大学出版会 『つがるの夜明け』 『続・つがるの夜明け 上巻~下巻』 陸奥新報社</p>
留意点・予備知識 remarks	<ul style="list-style-type: none"> ・最終報告では各自の地元の事物・文化についての調べ、その内容を英語で発表します。 ・中間報告、経過報告では、授業内で学習するResearch Skillsを元に、最終報告に向けた、課題選択、調査方法などについての予備的発表を行います。率先して積極的に行ってください。 ・内容言語統合型学習として英語をコンテンツと並行して学習します。 <ul style="list-style-type: none"> ・For the final report, each student will research for him local objects or culture and present the results in English. ・In the interim and progress reports, students will make preliminary presentations on topic selection, research methods, etc. in preparation for the final report, based on the Research Skills learned in class. Please take the initiative and be proactive in your presentations. ・As part of content and language integrated learning, students will study English in parallel with the content.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	<p>メール・Teams上のメッセージで連絡のうえ、各担当者にアポイントを取り、Teams上の会議機能での相談や、直接研究室においてください。</p> <p>Please contact us by email or message on Teams to make an appointment.</p>
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	<p>ソロモン・ジョシュア・リー : jsolomon@hirosaki-u.ac.jp 片桐早苗 : katagirisanan@hirosaki-u.ac.jp ヤグノ・ライク : r.jagno@hirosaki-u.ac.jp (*を@に変えて送信してください) The English Lounge: https://home.hirosaki-u.ac.jp/salc/ja/</p>
授業形態及び授業方法 Class form and method	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツを授業で学習し、学生が発表をまとめるアクティブラーニング形式です。 ・講義室での演習、グループワーク、またペアワークを行います。 ・メディア授業に移行した場合は、Teamsで実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・This is an active learning format in which students will study the content in class and then summarize it into a presentation. ・Practice, group work, and pair work will be conducted. ・If classes switch to digital classes, they will be conducted on Teams.
その他 other	無

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

後期

(II Semester)

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語初級1（口頭表現B） Basic Japanese 1 (Oral Expression)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	6 単位 (credits)
学期 semester	後 期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	Monday 8:40-10:10 山崎 達郎 Tuesday 10:20-11:50 小山 宣子 Friday 10:20-11:50 小山 宣子
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	小山 宣子（国際連携本部）Nobuko, OYAMA （Department of International Education and Collaboration） 山崎 達郎（非常勤講師）Tatsuro, YAMAZAKI
授業としての具体的到達目標 goal of the class	Can greet people in Japanese, shop in Japanese, use necessary Japanese when using public transportation, talk about daily activities, use Japanese when eating out, talk about plans and things they have done, talk with friends(1)
授業の概要 course description	<p>Basic Japanese is a basic training in Japanese. Each section consists of the same type of activities.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Letters and Pronunciation 2. "Scene Conversation" for each part of the textbook 3. Checking and practicing sentence patterns 4. Applied conversation 5. Activities, reading and writing for each lesson <p>By repeating these activities, students build a solid foundation in beginning Japanese. A solid foundation is essential for sufficiently advanced and detailed language activities in the upper levels.</p>
授業の内容予定 schedule of the class	<p>1st week Hiragana Part 1 of Lesson1 2nd week Katakana Part 2 of Lesson1 3rd week Part 3 of Lesson1, Activities, Reading and Writing 4th week Part 1,2 of Lesson2 5th week Part 3 of Lesson2, Activities, Reading and Writing 6th week Part 1,2 of Lesson3 7th week Part 3 of Lesson3, Activities, Reading and Writing Intermediate Exam 8th week Part 1,2 of Lesson4 9th week Part 3 of Lesson4, Activities, Reading and Writing 10th week Part 1,2 of Lesson5 11th week Part 3 of Lesson5, Activities, Reading and Writing 12th week Part 1,2 of Lesson6 13th week Part 3 of Lesson6, Activities, Reading and Writing 14th week Part 1,2 of Lesson7 15th week Part 3 of Lesson7, Activities, Reading and Writing Final Exam</p>
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	65% for regular tests, 35% for homework/submissions
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	Preparation: Vocabulary study Review: workbook and reading aloud/recording
教材・教科書 text	『つなぐにほんご 初級1』アスク出版 2500円 『つなぐにほんご 初級1 ワークブック』2000円
参考文献 references	Introduced in class as needed.

留意点・予備知識 remarks	<p>This class should be taken with Thursday's written expression.</p> <p>You may wonder why Japanese has three types of letters, or why it does not just use the alphabet or one simple type like other languages, but it is a natural question to ask. The answer to your question will vary from person to person, but I personally believe that it would be very inconvenient if any one of the three types were no longer in use. The good and bad of this may be a point that different people appreciate differently. However, as a practical matter, learning characters is the most important point in the foundation of the Japanese language. If you get stuck here, it will be difficult to move on, even if you spend a lot of time on it. Please come to class with strong determination.</p>
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	<p>We have 3 classes a week, so if you have any questions, please ask after class. You can also use the Teams' Chat.</p>
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	<p>nobuko(a)hirosaki-u.ac.jp</p>
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>In this textbook teaching method, we talk in class without looking at the textbook. The textbook is used for preparation and review. The "workbook" is used for homework.</p>
その他 other	<p>As this may create an ethical conflict for those present, please refrain from using illegal copies or PDFs.</p> <p>Please use Japanese as much as possible in class. You may use your native languages to teach each other what you don't understand. The key to improving your Japanese is to keep practicing. Trying to use Japanese both outside and inside the classroom is very important.</p> <p>This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語初級1 (筆記表現B) Basic Japanese 1 (Written Expression)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	2 単位 (credits)
学期 semester	後 期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	Thursday 10:20-11:50
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	田中 美由紀 (非常勤講師) Miyuki, TANAKA
授業としての具体的到達目標 goal of the class	Can greet people in Japanese, shop in Japanese, use necessary Japanese when using public transportation, talk about daily activities, use Japanese when eating out, talk about plans and things they have done, talk with friends(1)
授業の概要 course description	<p>Basic Japanese is a basic training in Japanese. Each section consists of the same type of activities.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Letters and Pronunciation 2. "Scene Conversation" for each part of the textbook 3. Checking and practicing sentence patterns 4. Applied conversation 5. Activities, reading and writing for each lesson <p>By repeating these activities, students build a solid foundation in beginning Japanese. A solid foundation is essential for sufficiently advanced and detailed language activities in the upper levels.</p>
授業の内容予定 schedule of the class	<p>1st week Hiragana Part 1 of Lesson1 2nd week Katakana Part 2 of Lesson1 3rd week Part 3 of Lesson1, Activities, Reading and Writing 4th week Part 1,2 of Lesson2 5th week Part 3 of Lesson2, Activities, Reading and Writing 6th week Part 1,2 of Lesson3 7th week Part 3 of Lesson3, Activities, Reading and Writing Intermediate Exam 8th week Part 1,2 of Lesson4 9th week Part 3 of Lesson4, Activities, Reading and Writing 10th week Part 1,2 of Lesson5 11th week Part 3 of Lesson5, Activities, Reading and Writing 12th week Part 1,2 of Lesson6 13th week Part 3 of Lesson6, Activities, Reading and Writing 14th week Part 1,2 of Lesson7 15th week Part 3 of Lesson7, Activities, Reading and Writing Final Exam</p>
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	65% for regular tests, 35% for homework/submissions
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Vocabulary study Review: workbook and reading aloud/recording
教材・教科書 text	『つなぐにほんご 初級1』アスク出版 2500円 『つなぐにほんご 初級1 ワークブック』2000円
参考文献 references	Introduced in class as needed.

留意点・予備知識 remarks	<p>This class should be taken with oral expression which is held 3 times a week.</p> <p>You may wonder why Japanese has three types of letters, or why it does not just use the alphabet or one simple type like other languages, but it is a natural question to ask. The answer to your question will vary from person to person, but I personally believe that it would be very inconvenient if any one of the three types were no longer in use. The good and bad of this may be a point that different people appreciate differently. However, as a practical matter, learning characters is the most important point in the foundation of the Japanese language. If you get stuck here, it will be difficult to move on, even if you spend a lot of time on it. Please come to class with strong determination.</p>
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	<p>If you have any questions, please ask after class. You can also use the Teams' Chat.</p>
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>In this textbook teaching method, we talk in class without looking at the textbook. The textbook is used for preparation and review. The “workbook” is used for homework.</p>
その他 other	<p>As this may create an ethical conflict for those present, please refrain from using illegal copies or PDFs.</p> <p>Please use Japanese as much as possible in class. You may use your native languages to teach each other what you don't understand, but please use Japanese to greet or to communicate current situations. The key to improving your Japanese is to keep practicing. Trying to use Japanese both outside and inside the classroom is very important.</p> <p>This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語初級2（口頭表現B） Basic Japanese 2 (Oral Expression B)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	4単位 (4 credits)
学期 semester	後 期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	Monday (10:20-11:50) Thursday (14:20-15:50)
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	小山 宣子（国際連携本部） Nobuko, OYAMA (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	Talking with friends, Asking for Advice or Instructions, Introducing People and Places, Giving Thanks
授業の概要 course description	<p>Basic Japanese is a basic training in Japanese. Each section consists of the same type of activities.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Letters and Pronunciation 2. "Scene Conversation" for each part of the textbook 3. Checking and practicing sentence patterns 4. Applied conversation 5. Activities, reading and writing for each lesson <p>By repeating these activities, students build a solid foundation in beginning Japanese. A solid foundation is essential for sufficiently advanced and detailed language activities in the upper levels.</p>
授業の内容予定 schedule of the class	1st week Part1 of Lesson8 2nd week Part2 of Lesson8 3rd week Reading & Writing 4th week Part1 of Lesson9 5th week Part2 of Lesson9 6th week Part3 of Lesson9 7th week Reading & Writing Intermediate Exam 8th week Part1 of Lesson10 9th week Part2 of Lesson10 10th week Part3 of Lesson10 11th week Reading & Writing 12th week Part1 of Lesson11 13th week Part2 of Lesson11 14th week Part3 of Lesson11 15th week Reading & Writing Final Exam
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	65% for regular tests, 35% for homework/submissions
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	Preparation: Vocabulary study Review: workbook and reading aloud/recording

教材・教科書 text	『つなぐにほんご 初級1』アスク出版 2500円 『つなぐにほんご 初級1 ワークブック』2000円
参考文献 references	Introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	<p>You may wonder why Japanese has three types of letters, or why it does not just use the alphabet or one simple type like other languages, but it is a natural question to ask. The answer to your question will vary from person to person, but I personally believe that it would be very inconvenient if any one of the three types were no longer in use. The good and bad of this may be a point that different people appreciate differently. However, as a practical matter, learning characters is the most important point in the foundation of the Japanese language. If you get stuck here, it will be difficult to move on, even if you spend a lot of time on it. Please come to class with strong determination.</p>
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	<p>We have 2 classes a week, so if you have any questions, please ask after class. You can also use the Teams' Chat.</p>
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	nobuko(a)hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>In this textbook teaching method, we talk in class without looking at the textbook. The textbook is used for preparation and review. The “workbook” is used for homework.</p>
その他 other	<p>Please use Japanese as much as possible in class. You may use your native languages to teach each other what you don't understand. The key to improving your Japanese is to keep practicing. Trying to use Japanese both outside and inside the classroom is very important.</p> <p>Textbooks and workbooks cost a total of 4,500 yen, but since there are 45 hours (30 classes), the cost is 100 yen per hour, which is not so expensive considering the price of other books and materials. Please do not use illegal printouts or pdfs.</p> <p>This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語初級3（口頭表現B） Basic Japanese 3 (Oral Expression B)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	4単位 (4 credits)
学期 semester	後 期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	月曜日 (Monday) : 12:20-11:40 木曜日 (Thursday) : 16:00-17:30
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	志喜屋カロリーナ（非常勤講師）Carolina , SHIKIYA
授業としての具体的到達目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> • To be proficient on basic patterns/expressions of Japanese • To be proficient on basic Japanese conversation in daily settings (equivalent to A2-1 of JF standard)
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Conversational Grammar section. Although the primary focus is on developing conversation skills, time is also devoted to studying grammar and vocabulary in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.
授業の内容予定 schedule of the class	<p>The topics for each lesson in the textbook are as follows:</p> <p>1st& 2nd week LESSON 16 Lost and Found 3rd & 4th week LESSON 17 Grumble and Gossip 5th & 6th week LESSON 18 John's Part-time Job 7th & 8th week LESSON 19 Meeting the Boss 9th & 10th week LESSON 20 Mary Goes Shopping 11th & 12th week LESSON 21 Burglar 13th & 14th week LESSON 22 Education in Japan 15th & 16th week Final Exam</p> <p>One lesson is finished in four sessions. (Each session is a 90-minutes class period.)</p>
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	<p>2 regular examinations ---- 60% Homework -----25% Quizzes -----15% The final grade will be determined by adding up the above results.</p>
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	<p>Preparation: Study and memorize vocabulary using a recommended app. It is required to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, recordings of role-plays, and other related tasks. Note: As this is a 6-credit course, it is expected that you will dedicate about 10 hours per week to studying outside of class.</p>
教材・教科書 text	<p>1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800)</p>

参考文献 references	References will be introduced in class as needed.
留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	If you have any questions, please ask after class. You can also use the Teams Chat.
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

授業科目名 subject [英文名]	日本語初級3 (筆記表現B) Basic Japanese 3 (Written Japanese B)
副題 subtitle	
対象学生	International students who are assessed to this level by the placement test by Hirosaki University
単位 credit	2単位 (2 credits)
学期 semester	後 期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	水曜日 (Thursday) : 10 : 20-11 : 50
授業形式 class format	Lecture, Practice, Activity
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	田中美由紀 (非常勤講師) Miyuki, TANAKA
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	・ To be proficient on reading and writing passage with Hiragana, Katakana and some basic Kanji.
授業の概要 course description	The textbook is divided into two parts: students study the Conversation and Grammar Section three times a week and the Reading and Writing Section once a week. This syllabus is for the Reading and Writing section. Although the primary focus is on learning Kanjis and Reading, time is also devoted to Writing in order to ensure a smooth transition to the initial stages of the Intermediate Level.
授業の内容予定 schedule of the class	The topics for each lesson in the textbook are as follows: 1st& 2nd week LESSON 16 漫画「ドラえもん」 3rd & 4th week LESSON 17 オノ・ヨーコ 5th & 6th week LESSON 18 大学生生活 7th & 8th week LESSON 19 手紙とメール 9th & 10th week LESSON 20 猫の皿 11th & 12th week LESSON 21 厄年 13th & 14th week LESSON 22 さくらの日記 15th & 16th week Final Exam
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Final examination -- 40% Homework ----- 30% Quizzes ----- 30% The final grade will be determined by adding up the above results.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: It is recommended to read the textbook before attending class. Review: After each class, homework assignments will be given. These may include exercises from the textbook and workbook, and other related tasks. Note: As this is a 2-credit course, it is expected that you will dedicate about 3 hours per week to studying outside of class.
教材-教科書 text	1. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥3,500) 2. GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II [Workbook] Third Edition Japan Times, 2020 (Tax not included ¥1,800) 3. The compliant app of Kanji is recommended. (¥730)
参考文献 references	References will be introduced in class as needed.

留意点・予備知識 remarks	The syllabus is written in English for convenience, but not all students can understand spoken English. Since there is often no common language that all students can understand, teachers try to explain everything in Japanese as much as possible during class. Students are also encouraged to use Japanese in the classroom as much as possible.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 (Wednesday) : 12:00-13:00
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	
授業形態及び授業方法 Class form and method	This course combines lecture and performance components. All classes will be held in-person in the classroom. During class, students may write Kanjis, words or sentences on paper. Homework assignments may be submitted through online platforms, such as Microsoft Teams.
その他 other	This description may be fine-tuned to suit the students taking the course.

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級 1 (総合B) Intermediate Japanese 1 (Integrated Course B)
副題 subtitle	
対象学生	初級（教室で200時間から250時間[1時間は60分]）を勉強し、内容を十分習得した学生。日本語能力試験でN4程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。
単位 credit	4単位 (4 Credits)
学期 semester	後期 (II semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 3・4 時限 (10:20～11:50) 木曜日 7・8 時限 (14:20～15:50)
授業形式 class format	講義と活動 (Lecture & Activities)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	あるテーマやトピックについて日本語で学ぶことを通して、日本語の力と、内容を理解して思考する力の二つの力をつける。
授業の概要 course description	日本語を使った様々な四技能（聞く・話す・読む・書く）のタスクを行うのに必要な言語知識（語彙、文型・表現、漢字のことばなど）と言語スキル（メモの取り方、情報の集め方、発表の仕方など）を学ぶ。
授業の内容予定 schedule of the class	<p>第1回～第5回 ガイダンス 第1課 習い事は役に立つ？ （習い事の経験について自分の気持ちや考えとその理由を、時間を追って語ることができる）</p> <p>第6回～第10回 第2課 漢字・ひらがな・カタカナ、どれで書く？ （日本語の表記の歴史や使い分けについての説明文を読み、理解することができる）</p> <p>第11回～第15回 第3課 昔話の世界を知ろう （昔話の流れを理解し、新しい結末を書く）</p> <p>第16回 第1課～第3課の復習</p> <p>第17回 中間テスト</p> <p>第18回～第22回 第4課 旅の計画を立ててみよう （グループ旅行の計画を立てて発表する）</p> <p>第25回～第27回 第5課 違いについて考えてみよう （自分にとって身近な国・地域と日本を比べ、習慣や制度等を比較したまとまりのある文章を書くことができる）</p> <p>第28回～第29回 第7課 日本から世界へ （点字ブロックの誕生や発展についての説明文を読み、主題を理解することができる）</p> <p>プロジェクトの説明と実施：このコースで学んだテーマを1つ選び、日本人学生にインタビューし、その結果について発表する。レポートを書く。</p> <p>第30回 プロジェクト発表①</p> <p>第31回 プロジェクト発表②</p> <p>レポート提出</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	出席・積極的な授業参加10%、中間テスト30%、課題提出20% プロジェクト発表20% プロジェクトレポート20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	教科書付属の教材「漢字のことば」練習シート、メインタスクの課題の一部、「文型・表現」練習シートを課題として行う。 多読教材から本を選んで読み、ログを書く。
教材・教科書 text	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程著（2022）『タスクベースで学ぶ日本語中級1』スリーエーネットワーク

参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	テーマは身近なものからやや社会的なものへ、タスクも単純なものからやや複雑なものへとっていきます。言語の形式にも注意しながら、自分の経験や考えをまとめる、自分たちで考えた計画を説明する、調べたことを発表するといったことを積極的に日本語を使って行うようにしましょう。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業中に質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	プレタスク（背景知識を活性化するタスク・聞くタスク・読むタスクによるインプット メインタスクをする準備）⇒メインタスク（「聞く」「読む」「話す」「書く」「やり とり」）⇒文型・表現⇒ポストタスク（創造的・発展的な活動）⇒漢字の言葉⇒質問文 を使ったやりとり⇒振り返り
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進度や興味によりシラバスが変更される場合があります。

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級2 (総合 B) Intermediate Japanese 2 (Integrated Course B)
副題 subtitle	
対象学生	今年度(2025年度)前期に「日本語中級1」を受講した学生、または日本語能力試験のN3かCERFのB1程度のレベルにある学生。
単位 credits	4単位 (4 credits)
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	火曜日 3・4時限 (10:20～11:50)と木曜日 3・4時限 (10:20～11:50)
授業形式 class format	講義と活動 (Lecture and Activities)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小笠原淑子 OGASAWARA, Yoshiko (非常勤講師)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	中上級に進むために必要な漢字・語彙〔ごい〕・文型・表現の習得に加え、読解力と作文力を高める。
授業の概要 course description	1. プレタスクで自分の考えを話したり、テーマに関する説明文を読む。 2. メインタスクで情報を検索し、調べて考えたことを説明する。 3. ポストタスクでテーマに関する聞き取り、作文、発表等を行う。 4. 定期的に漢字と語彙の小テストを行い、定着を図る〔はかる〕。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：オリエンテーション 第2回：第1課 なぜその言葉？①プレタスク 第3回：第1課 なぜその言葉？②メインタスク 第4回：第1課 なぜその言葉？③ポストタスク 第5回：第1課 なぜその言葉？④復習 第6回：第2課 ユニバーサルデザインとは？①プレタスク 第7回：第2課 ユニバーサルデザインとは？②メインタスク 第8回：第2課 ユニバーサルデザインとは？③ポストタスク 第9回：第2課 ユニバーサルデザインとは？④復習 第10回：第3課 公共施設を利用している？①プレタスク 第11回：第3課 公共施設を利用している？②メインタスク 第12回：第3課 公共施設を利用している？③ポストタスク 第13回：第3課 公共施設を利用している？④復習 第14回：第1課～第3課 復習 第15回：第4課 違う自分になりたい？①プレタスク 第16回：第4課 違う自分になりたい？②メインタスク 第17回：第4課 違う自分になりたい？③ポストタスク 第18回：第4課 違う自分になりたい？④復習 第19回：第5課 災害に対して準備している？①プレタスク 第20回：第5課 災害に対して準備している？②メインタスク 第21回：第5課 災害に対して準備している？③ポストタスク 第22回：第5課 災害に対して準備している？④復習 第23回：第6課 地球の環境、大丈夫？①プレタスク 第24回：第6課 地球の環境、大丈夫？②メインタスク 第25回：第6課 地球の環境、大丈夫？③ポストタスク 第26回：第6課 地球の環境、大丈夫？④復習 第27回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？①プレタスク 第28回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？②メインタスク 第29回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？③ポストタスク 第30回：第7課 なぜそう見える？どう見せる？④復習 第31回：第4課～第7課 期末試験、1学期のまとめ
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	漢字・語彙〔ごい〕の小テスト：30% 中間試験と期末試験：40% その他（文型・表現学習、作文、口頭発表など）：30%

準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	1) 次の授業で扱う箇所〔かしよ〕を前もって読み、漢字や語句を調べてくる。 2) 宿題や課題は、次の授業の活動に関わるので、必ず完成させて来る。 3) 漢字と語彙や新しい文型・表現を復習する。
教材・教科書 textbook	国際基督教大学 教養学部 日本語教育課程（2022） 『タスクベースで学ぶ日本語 中級2』スリーエーネットワーク
参考文献 references	特になし
留意点・予備知識 remarks	間違いを恐〔おそ〕れずに、積極的に日本語を使うようにしてください。
授業内容に関する質問・ 疑義等 office hours	授業の前後に質問を受けます。個人面談が必要な場合は時間を設〔もう〕けます。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address	louloudi99@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義に加え、ペア・グループ活動や課題などの実践的練習も行うことで学習内容を身に付ける
その他 other	1) 週2回の授業です。火曜日と木曜日、両方出席しなければなりません。 2) シラバスの内容に変更が生じる場合はプリントと口頭でお知らせします。 3) 単位が必要な場合は3分の2以上出席しなければなりません。 4) 遅刻や早退〔そうたい〕は3回で一回の欠席としてカウントされます。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級（聴解B） Intermediate Japanese (Listening B)
副題 subtitle	一般日本語中級（中級1・中級2）
対象学生	初級（教室で200時間から250時間[1時間は60分]）を勉強し、内容を十分習得した学生。日本語能力試験でN4またはN3程度の学生。CEFR A2に到達し、B1を目指す学生。または、B1の学生。
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	後期 (II semester)
曜日 day 時限 period	月曜日 (Mon) 5・6時限 (12:40～14:10)
授業形式 class format	講義・活動(Lecture & Activities)
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースの構成や表現を意識しながら、ニュースのポイントを聞き取る力を養成する ・ニュースの内容についてクラスメートと意見交換ができる
授業の概要 course description	ニュース 全体を理解する、ポイントをつかむ、詳しく理解する、内容を確認する、発音を確認する ニュースの新出語彙や表現の確認をする ニュースに関してクラスメートと意見交換をする
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 ガイダンス 第1課「ペンギン、逃げ出す」 第2回 第2課「一足先に夏、ビアガーデンオープン」 第3回 第3課「眠い日本人」 第4回 第7課「アニメの聖地巡礼が人気」 第5回 第9課「ネットにいじめの動画、中学生を逮捕」 第6回 第15課「音楽で地方を元気に」 第7回 中間テスト（聴解・語彙テスト） 第8回 第19課「一夜で銅像19体に赤い服」 第9回 第24課「企業による学校向け出張授業」 第10回 第31課「世界初、紙のカミソリ発売」 第11回 第32課「ブラック校則、見直しへ」 第12回 第35課「ユニークな自動販売機」 第13回 第38課「ウーブン・シティ、建設始まる」 第14回 自分でニュースを選んで聞き、レポートを作成 小グループで共有 第15回 ニュースに関するグループ発表と聴解ノートの作成 レポートを提出
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業への積極的参加 20%、中間テスト+語彙テスト30% 自分で選んだニュースのレポート 20% 自分で選んだニュースの発表と聴解ノート 30%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習 各課の新出語彙を前もって勉強し、テーマについてコメントができるように準備しておくこと 復習 ニュースに出た新出語彙やニュース特有の表現の復習をする コース中、時折、「大学生があるテーマについて話をしているPodcastの一部を聞いて、質問に答える課題」や「自分のニュースを選んで聞き、スライドを準備する課題」が出ます。日頃から気になるニュースを調べておくようにしてください。
教材・教科書 text	瀬川由美・紙谷幸子（2022）『中級からはじめる ニュースの日本語 聴解40』スリーエーネットワーク

参考文献 references	NHK やさしいことばニュース 聴き逃し配信 https://www.nhk.jp/p/rs/34PY344RPJ/plus/ NHK やさしいことばニュース https://www3.nhk.or.jp/news/easy/
留意点・予備知識 remarks	日本語能力試験N4以上の日本語能力が必要です。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業で質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義・聞いたニュースを思い出して話す再話・活動（グループディスカッション）
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進捗や興味によりシラバスが変更される場合があります。 遅刻や早退を3回すると、1回欠席になります。

※上記の内容は変更される場合があります。
※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中級（口頭表現B） Intermediate Japanese (Oral Expression B)
副題 subtitle	
対象学生	ブレースメントテストで中級（口頭表現）を指定された学生
単位 credit	2 単位
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	金曜日(Friday) 3・4時限(10:20-11:50)
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達目標 goal of the class	まとまった内容の文章を、スムーズに話すことができる。 自分に関することを、相手に話すことができる。 相手について知りたいことを、質問することができる。 相手から聞いた内容を、文章にまとめることができる。
授業の概要 course description	このクラスは、中級会話のクラスです。このクラスでは、次のことを学習します。 (1) まとまった内容をスムーズに話すこと (2) テーマについて、自分のことを話すこと (3) テーマについて、相手にたずねること。 (4) 相手から聞き取ったことをまとめて、話すこと
授業の内容予定 schedule of the class	第 1回：授業の説明、住んでいるところ (1) 第 2回：住んでいるところ (2) 第 3回：毎日の食事 (1) 第 4回：毎日の食事 (2) 第 5回：学んでいたところ (1) 第 6回：学んでいたところ (2) 第 7回：きっかけ (1) 第 8回：きっかけ (2) 第 9回：中間テスト、授業の振り返り (1) 第10回：国の食べもの (1) 第11回：国の食べもの (2) 第12回：便利な道具 (1) 第13回：便利な道具 (2) 第14回：祭り (1) 第15回：祭り (2) 第16回：期末テスト、授業の振り返り (2)
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	中間テスト：35% 期末テスト：35% 課題、授業時のパフォーマンス：30%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	予習：授業の前に以下のことをしておいてください。 (1) 課題文を読み、内容を理解する。また、音読の練習をする。 (2) インタビューしたことを文章にする。 復習：授業後は、授業で話した内容を、さらにスムーズに話せるように練習してください。
教材・教科書 text	決まったテキストは使いません。

参考文献 references	必要なときは、授業で紹介します。
留意点・予備知識 remarks	プレースメントテストの結果、「中級（口頭表現）」と指示された学生が受けることができます。
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	需要についての質問は、授業中にしてください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業 授業方法：授業は以下のように進める予定です。 (1) 課題文の音読練習 (2) テーマについて、学生同士のQA (3) 聞き取った内容をまとめ、発表
その他 other	授業に参加する学生は、積極的に発言してください。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級（読解B）【A2】 Upper Intermediate Japanese (Reading B) 【A2】
副題 subtitle	Upper Intermediate Japanese (Reading B) 【A2】
対象学生	中上級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 5・6 時限 (12:40～14:10)
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子(非常勤)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	大学・大学院進学に必要なレベルの日本語文を読む力、読んで発信する力を身に付ける。
授業の概要 course description	多彩なジャンルの読みものを読んで、まず全文の内容を大まかに理解し、文章内容の背景などを推測する。その上で、筆者の伝えたいメッセージを読み取る。また、課題を通して、筆者のメッセージや文章を読んで自分が感じたことを適切な形で表現する練習を積む。
授業の内容予定 schedule of the class	<div> 第1回 オリエンテーション 第3～4回 01 働かない働きアリ 第7～8回 03 言葉の意味 第11～12回 10 高齢化の中で 第14回 06 Kawaii 第16回 修了課題 </div> <div> 第2回 読解ストラテジー 第5～6回 02 血液型 第9～10回 04 IT社会 第13回 新聞記事 第15回 07 消費の行方 </div> ★進行状況によって予定を変更する可能性あり
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	毎回の授業参加度 20% 課題 60% 修了テスト 20%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	全体課題や担当課題があれば、期限までに準備または提出する。
教材・教科書 text	『日本語学習者のための読解厳選テーマ10【中上級】』改訂第2版 清水正幸/奥山貴之著 にほんごの凡人社
参考文献 references	授業時に提示
留意点・予備知識 remarks	授業内では読解に集中し、授業外では課題に積極的に取り組むことが望まれます。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は授業内もしくは終了後に直接してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語中上級（作文B）【A4】 Upper Intermediate Japanese (Writing B) 【A4】
副題 subtitle	Upper Intermediate Japanese (Writing B) 【A4】
対象学生	中上級以上の学習者
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 3・4時限 (10:20～11:50)
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川以智子（非常勤）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	中上級以上の語彙・表現を用いて、適切な場面でより正確で適切な日本語作文を作成できるよう、作文技術の向上を目指します。
授業の概要 course description	「弘前の魅力と課題」というテーマのもとで、作文の全体構成に沿って、各回のテーマごとに作文に必要な技術を習得し、各章を書き進めていって、最終的に一つのレポートを完成させる
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 作文の技術「説明」 第3回 作文の技術「位置」「順序」 第4回 作文の技術「列挙」「定義」 第5回 作文の技術「手段」「方法」 第6～8回 作文の技術「対比」 第9～11回 作文の技術「情報分析」 第12～13回 作文の技術「問題提起」 第14回 作文の技術「意見・提案」 第15回 全体作文完成 第16回 作文発表とフィードバック ★進行状況などにより、変更する可能性あり
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業参加度 30% 課題 40% 最終作文 30%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習課題、復習課題がある場合は、期限までに準備、提出すること
教材・教科書 text	購入する教科書はなし
参考文献 references	随時 提示
留意点・予備知識 remarks	話し合いや課題活動に積極的に取り組むことが望まれる。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業内容に関する質問は、授業内もしくは授業終了後に直接質問するように

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英名]	日本語中上級(アカデミックジャパニーズ聴解B)【A6】 Upper Intermediate Academic Japanese (ListeningB)【A6】
副題 subtitle	
対象学生	ブレースメントテストで中上級（聴解）を指定された学生
単位 credit	2 単位
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	月曜 1・2 時限
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達目標 goal of the class	講義形式の発表を聞いて、理解できる。 聞いた講義について、ノートが取れる。 理解した内容を、説明できる。 理解した内容を、短い文章にまとめることができる。
授業の概要 course description	中上級レベルの聴解のクラスです。講義形式の教材を聞き、まとまりのある内容を理解するとともに、理解した内容をまとめる（話す、書く）練習を行います。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：授業案内、第9課「剣道」 (1) 第2回：第9課「剣道」 (2) 第3回：第10課「落語」 (1) 第4回：第10課「落語」 (2) 第5回：第11課「そばをすする音」 (1) 第6回：第11課「そばをすする音」 (2) 第7回：第12課「将棋」 (1) 第8回：第12課「将棋」 (2) 第9回：中間テスト、第13課「南極」 (1) 第10回：第13課「南極」 (2) 第11回：第14課「明治神宮の森」 (1) 第12回：第14課「明治神宮の森」 (2) 第13回：第15課「虚偽の自白」 (1) 第14回：第15課「虚偽の自白」 (2)、「三内丸山遺跡の特徴」 (1) 第15回：「三内丸山遺跡の特徴」 (2) 第16回：期末テスト、授業の振り返り
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	中間テスト：30% 期末テスト：30% クイズ：20% 課題、授業時のパフォーマンス：20%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	予習：当日の授業範囲のCDを聞いてくること。 授業で行う発表の準備をすること。 復習課題：聞き取った内容について、要約を作成すること。

教材・教科書 text	東京外国語大学 留学生日本語教育センター編著『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解 [中上級]』2014、スリーエーネットワーク
参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。
留意点・予備知識 remarks	プレースメントテストの結果に従って、授業登録をしてください。
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>対面授業 授業方法：授業は以下のように進める予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 教材の聞き取り (2) 問題への解答 (3) 内容のまとめ（ノートのとおり方） (4) ノートをもとにした再話 (5) 内容の要約
その他 other	学生には、積極的に授業に参加し、発言をすることを求めます。

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級（文法B）【A8】 Upper Intermediate Japanese (Grammar B) 【A8】
副題 subtitle	Upper Intermediate Japanese (Grammar B) 【A8】
対象学生	中上級以上の留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	木曜日（Thu） 3・4時限（10:20～11:50）
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	新川 以智子（非常勤）
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本語文法の様々な機能を理解し、適切な場面で適切な日本語表現が使えるようになること、また将来国で日本語教育に携わることができる知識を身につけることを目標とする。
授業の概要 course description	日本語文法の様々な機能を理解し、適切な場面で適切な日本語表現が使えるようになるよう導く。活動としては、中級までの文法事項を正確に理解し、適切に使用するために、項目ごとに練習問題や会話文作成を行う。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション 第2回 文末形式 第3回 表現機能 感覚 第4回 表現機能 確信・主張 第5回 表現機能 不可能 第6回 表現機能 判断・推量 第7回 表現機能 願望・感嘆 第8回 表現機能 伝聞 第9回 表現機能 提案・忠告 第10回 表現機能 状況評価 第11回 表現機能 依頼・懇願 第12回 表現機能 感謝・恩恵 第13回 敬語表現 1 第14回 敬語表現 2 第15回 まとめ 第16回 テスト ★進行の状況によって予定を変更する可能性あり。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業時の参加度20%、各回の課題達成度50%、修了テスト30%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	各回の課題を期限までに提出し、授業で解説された後、誤答を訂正したものを再提出することとする。
教材・教科書 text	教科書はなし。資料はTeamsにファイルで提示
参考文献 references	中級日本語文法要点整理ポイント20 他 授業内でも提示
留意点・予備知識 remarks	自分で考えて、疑問点を解決しようとする姿勢が望まれる。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業に関しての質問があれば、なるべく授業中にしてください。課題作成時の質問などは、Teamsのチャットで質問してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	yiichiko@hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	対面形式 課題提出などでTeamsを利用する。
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	日本語中上級・上級日本事情プレゼンテーションB【A10】 Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-B【A10】
副題 subtitle	Upper Intermediate and Advanced Japanese Culture and Society, Presentation-B
対象学生	中上級と上級の留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	水2
授業形式 class format	演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	高橋千代枝（国際連携本部）
授業としての具体的到達目標 goal of the class	<p>1. 日本の文化・生活にかかわる資料や文章を読み、日本社会・文化についての理解を深める</p> <p>2. 中上級～上級の日本語語彙・文法・表現能力を身に付け、場面によって適切な言葉遣いや態度で話せる「日本語使用者」となる</p> <p>3. 世界で起きている出来事を把握し、自らテーマについて調べ、適切な日本語を用いてまとめ、ディスカッションやディベートの中で自分の意見を発表したり、異なる意見に耳を傾け、論理的・建設的に話し合いができる</p> <p>1. Read materials and texts related to Japanese culture and life to deepen your understanding of Japan.</p> <p>2. Acquire intermediate to advanced Japanese vocabulary, grammar, and expression skills, and become a "Japanese language user" who can speak with appropriate language and attitude depending on the situation.</p> <p>3. Be able to grasp world events, research the topic on one's own, summarize it using appropriate Japanese, express one's opinion in discussions and debates, listen to differing opinions, and discuss logically and constructively.</p>
授業の概要 course description	<p>教科書から日本事情・社会・文化に関する様々なトピックを取り上げ、グループワークで調査・まとめ・発表をする。新聞のワークシートを使って、日本事情や国際情勢についての理解を深めると同時に、新聞記事で用いられる上級レベルの語彙・表現・文法を身につける。中上級・上級レベルの日本語によるプレゼンテーションスキルを学ぶ。</p> <p>Students will take up various topics related to Japanese affairs, society, and culture from the textbook, and will research, summarize, and present in group work. Using newspaper worksheets, students will deepen their understanding of Japanese affairs and international affairs, while also acquiring upper-intermediate and advanced-level vocabulary, expressions, and grammar used in newspaper articles. Students will also learn advanced-level Japanese presentation skills.</p>

授業の内容予定 schedule of the class	<p>第1回 10月8日 オリエンテーション</p> <p>第2, 3回 10月15日、10月22日 Unit1 「日本ってどんな国？」地理・気候・風土について知る・調べる・まとめる、発表する（以降繰り返し）</p> <p>第4, 5回 10月29日、11月12日 Unit2 「都市の暮らし・地方の暮らし」</p> <p>第6, 7, 8回 11月19日～12月3日 Unit4 「いただきます」日本の食文化について</p> <p>第9, 10, 11回 12月10日～12月24日 Unit5 「季節を楽しむ年中行事」日本の年中行事と宗教観について</p> <p>第12, 13回 1月7日、1月14日 Unit6 「知っておきたい日本の歴史」日本の歴史について</p> <p>第14, 15回 1月21日、1月28日グループで発表テーマを決め、調べ学習を行い、スライドを作成、授業内で発表する</p> <p>1st session: October 8th Orientation</p> <p>2nd and 3rd sessions: October 15th and 22nd Unit 1: "What kind of country is Japan?" Learn about, research, summarize, and present about geography, climate, and customs (repeated)</p> <p>4th and 5th sessions: October 29th and November 12th Unit 2: "Living in the city and living in the countryside"</p> <p>6th, 7th, and 8th sessions: November 19th to December 3rd Unit 4: "Itadakimasu" - About Japanese food culture</p> <p>9th, 10th, 11th: December 10th to December 24th Unit 5: "Annual events to enjoy the seasons" About Japanese annual events and religious views</p> <p>12th and 13th: January 7th and January 14th Unit 6: "Japanese history you should know" About Japanese history</p> <p>14th and 15th: January 21st and January 28th Groups decide on a presentation topic, conduct research, create slides, and present in class</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	<p>授業参加度10% 提出・発表40% 最終レポート50%</p> <p>Class participation 10% Submission/presentation 40% Final report 50%</p>
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	<p>ネットニュースやテレビなどで、日本社会や国際情勢についての知識を普段から意識的に得るようにしてください。Make a conscious effort to regularly obtain knowledge about Japanese society and international situations through online news, television, etc.</p>
教材・教科書 text	<p>『クローズアップ日本事情15 日本語で学ぶ社会と文化』佐々木瑞枝著 The Japan times</p>
参考文献 references	<p>『日本語文型辞典 改訂版』グループ・ジャマシイ くろしお出版</p> <p>『新訂版 どんな時どう使う日本語表現文型辞典』友松悦子他 アルク</p>
留意点・予備知識 remarks	<p>この授業の対象者は、プレースメントテストで中上級と上級にプレースされた留学生です。中級にプレースされた人でこの授業を取りたい人は相談してください。This class is targeted at international students who have been placed in the upper-intermediate and advanced levels in the placement test. If you have been placed in the intermediate level and would like to take this class, please contact us.</p>
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	<p>メールでアポイントを取ってください。Make an appointment by e-mail.</p>
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	<p>takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp</p>

授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、アクティブラーニング Exercises, Active learning
その他 other	<p>※受講生の日本語レベルや進度、興味関心によってシラバスの内容が変更になる場合があります。</p> <p>※MSpower pointを使用して発表をします。日本語フォント（MS明朝やゴシックなど）をインストールしたPCを用意してください。</p> <p>*The syllabus may change depending on the students' Japanese level, progress, and interests.</p> <p>*The presentation will be made using MS Power Point. Please prepare a PC with Japanese fonts (such as MS Mincho or Gothic) installed.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英名]	日本語上級（読解B）【B2】 Advanced Japanese (Reading B) 【B2】
副題 subtitle	Advanced Japanese (Reading B) 【B2】
対象学生	ブレースメントテストで、上級（読解）を指定された学生
単位 credit	2 単位
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	金曜 1・2 時限
授業形式 class format	対面授業
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	山崎 達郎（非常勤講師）
授業としての具体的到達目標 goal of the class	上級レベルの日本語の文章を、独力で読むことができるようになる。 上級レベルの語彙、文法、漢字を習得する。 読み取った内容をまとめ、自分のことばで説明できる。 日本社会の現状に対する認識を深める。
授業の概要 course description	上級レベルの読解の授業です。現代の日本社会に関する文章を読み、上級レベルの日本語能力を身につけるとともに、現代の日本社会についての理解を深めていきます。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回：授業案内、14. 日本型雇用システム（1）（1回目） 第2回：14. 日本型雇用システム（1）（2回目）、15. 日本型雇用システム（2）（1回目） 第3回：15. 日本型雇用システム（2）（2回目） 第4回：16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ（1回目） 第5回：16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ（2回目）、17. どうする？ 長時間労働（1回目） 第6回：17. どうする？ 長時間労働（2回目）、18. なぜコミュニケーション能力か（1回目） 第7回：18. なぜコミュニケーション能力か（2回目） 第8回：中間テスト、19. インターネットの隆盛（1回目） 第9回：19. インターネットの隆盛（2回目） 第10回：20. ロボットの活用（1回目） 第11回：20. ロボットの活用（2回目）、21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか（1回目）22. 「ビッグデータ社会」 第12回：21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか（2回目）、 第13回：22. 「ビッグデータ社会」（1回目） 第14回：22. 「ビッグデータ社会」（2回目）、23. 本当に「原発は安い」のか（1回目） 第15回：23. 本当に「原発は安い」のか（2回目） 第16回：期末テスト
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	中間テスト：40% 期末テスト：40% 小テスト、課題、授業時の発表：20%
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	予習：当日の学習範囲の文章を事前に読んでくること。読んだ内容を説明できるようにしておくこと。また、テキストの問題の答えを考えてくること。 復習、課題：次の回に小テストを行うので、学習範囲に出てきた、新出語彙、文法項目、漢字を復習すること。 テキストの文章課題を書いてくること。

教材・教科書 text	宮原 彬（編著）『留学生のための時代を読み解く上級日本語 第3版』2018、スリーエーネットワーク
参考文献 references	必要があれば、授業時に紹介します。
留意点・予備知識 remarks	プレースメントテストの結果に従って、授業登録をしてください。
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	授業に関する質問等は、授業時に質問してください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	t.yamazaki@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業 授業方法：授業は、以下のように進めることを予定しています。 (1) 当日の学習範囲の文章について、担当学生による内容の説明 (2) 発表内容に対する質疑応答 (3) 発表内容に関する検討 (4) 教師からの解説
その他 other	出席する学生には、最低1回発表の担当者となり、文章の内容について発表することを求めます。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本語上級アカデミックジャパニーズ(講義の聴解・論文の書き方B)【B4】 Advanced Academic Japanese (Listening and Writing B)【B4】
副題 subtitle	Advanced Academic Japanese Writing/listening B 【B4】
対象学生	中上級と上級の留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	木4
授業形式 class format	演習
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝(国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	1) 適切に設計されたアカデミック場面における模擬講義を聞き、説得力のある論が展開されている文章構成とはどのようなものかを学ぶ 2) 上級以上のアカデミック場面で使用される日本語の語彙・文法・表現を学び、段落と段落の関係やある程度の長さの文章の構造を分析的に見る能力を身につける 3) 1)、2)で学んだアカデミック日本語を使い、日本語で大学のレポートや論文を書くために必要なライティングスキルを身につける 4) 社会的、国際的なテーマについて、高度な日本語の表現を適切に使用して、大学の講義を聞いたり、議論をしたりでき、それらに基づいた論文やレポートが書けるようになる。
授業の概要 course description	アカデミックレベルの日本語を使用した模擬講義を聞き、わからない語彙があっても前後の文脈から推測して大まかな内容をつかむ方法を身につけると同時に、大学の講義で使用される上級レベルの語彙・文法・表現を学びます。また、大学の講義のような、ある程度の長さがある長文を聞き、どのように論が展開されているか、段落と段落の関係はどうなっているかなどに着目して、長文の構成を分析的に見る視点を身につけます。以上のリスニングで学んだ長文の構成の仕方や、アカデミックレベルの日本語を使って、大学生に求められるレポート、論文の書き方を学びます。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション、【ライティング】ライティングの基礎Ⅰ(原稿用紙の使い方(縦書き・横書き)、文体、書きことば、段落の構成、「は」と「が」) 第2回 【ラ】ライティングの基礎Ⅱ(文の基本、記号、引用)【リスニング】第2課「天神様」① 第3回 【リ】第2課「天神様」②【ラ】説明・紹介するー「自分の好きなもの」 第4回 【リ】第14課「防災教育」①【ラ】ー仕組みの説明ー 第5回 【リ】第14課「防災教育」②【ラ】ー因果関係ー 第6回 【リ】第5課「開発途上国支援」①【ラ】ー理由・経過を述べるー「before/afterの文」 第7回 【リ】第5課「開発途上国支援」②【ラ】ー比較するー「意見文」 第8回 中間テスト 第9回 【リ】第8課「渋滞学」①【ラ】ー判明していることを述べるー 第10回 【リ】第8課「渋滞学」②【ラ】ー定義するー 第11回 【ラ】ー問題点を述べるー「現状の把握と問題点、解決策の提案」 第12回 【リ】第12課「ガラスの天井」① 第13回 【リ】第12課「ガラスの天井」② 第14回 【ラ】ー引用するー(データの利用、資料の引用)「論説文」 第15回 期末テスト
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業態度10%、提出物30%、最終レポート60%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	授業内で指示します

教材・教科書 text	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解[上級]』東京外国語大学留学生日本語教育センター編著
参考文献 references	『大学生のための文章表現練習帳』坂東実子 国書刊行会 『改訂版 留学生のための 論理的な文章の書き方』二通信子他 スリーエーネットワーク 『新訂版 どんなときどう使う日本語表現文型辞典』友松悦子他 アルク 『日本語文型辞典 改訂版』グループジャマシイ くろしお出版
留意点・予備知識 remarks	※プレースメントテストで中上級以上、またはN2以上の日本語能力が必要です。 ※研究生や院生で、日本語で論文を書く予定がある人は受講を強くおすすめします。 ※受講生の日本語レベルや進度、興味関心によって内容を変更する可能性があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	対面授業
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域プロジェクト 津軽地域文化国際共修②【教養】 Regional Project Seminar-Intercultural Collaborative Learning of regional culture of Tsugaru ②
副題 subtitle	津軽地域文化国際共修(つがるちいきぶんかこくさいきょうしゅう) ② [Intercultural Collaborative Learning of Regional Culture of Tsugaru ②]
対象学生	留学生、日本人学生2, 3, 4年生(医学部1年生) International Students, Japanese students(1~4year)
単位 credit	2
学期 semester	後期/Second Semester
曜日 day 時限 period	火4 Tuesday 4
授業形式 class format	プロジェクトワーク、講演、体験学習、フィールドツアー、グループワーク Project Work, Lecture, Field trip, Culture experience
担当教員(所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝(国際連携本部) Chiyo, TAKAHASHI(D-IEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	<p>①青森県津軽地方に残る日本文化的な歴史遺産や伝統文化等についての理解を深める ②地方に残る歴史・文化的資源を教材として学ぶことを通して、他国の文化と比較してどのような特徴があるかを客観的に見る視点を身につける ③異文化を背景に持つクラスメートと一緒に活動することによって、国・言語・文化を超えて相手のことを理解する異文化コミュニケーションの能力を身につけ、自分の身の回りにある社会的な問題に気づき、柔軟な発想で解決する方法を提言することができるようになる</p> <p>①Deepen student's understanding about the Japanese culture, history, and traditional culture, etc. especially which left in Aomori-ken Tsugaru area. ②By studying the history and culture of the region, students can objectively see the characteristics of your own culture compared to the culture of other countries. ③By working with classmates who have different cultures, you can acquire the ability of cross-cultural communication to understand the other person regardless of country, language, and culture, and become aware of social problems around you, and will be able to propose solutions with flexible ideas.</p>
授業の概要 course description	<p>本授業は以下の構成で行う。①青森県津軽地方の伝統文化について、事前調査・発表(グループワーク)、②特別講演会:津軽地域の歴史・文化について、こけし職人のライフストーリー、③体験学習(ワークショップ①こぎん刺し②ねぶた絵アート③こけし絵付け(黒石こけし館にバスツアー))④津軽文化PRビデオ作製以上の活動を、留学生と日本人学生の混成グループによるグループワークで行います。</p> <p>This class will be structured as follows: 1) Research and presentation (group work) on the traditional culture of the Tsugaru region of Aomori Prefecture, 2) Special lecture: History and culture of the Tsugaru region, life stories of Kokeshi craftsmen, 3) Experiential learning (Workshops 1) Kogin embroidery, 2) Neputa painting art, 3) Kokeshi painting (bus tour to Kuroishi Kokeshi Museum), 4) Creation of a promotional video for Tsugaru culture. The above activities will be carried out in group work by a mixed group of international students and Japanese students.</p>

<p>授業の内容予定 schedule of the class</p>	<p>第1回 10月7日 オリエンテーションと他己紹介のppt作成（パソコンを持ってくるくださいBring your PC.）</p> <p>第2回 10月21日【文化についての調べ学習】グループ分けとテーマ決め（以下のテーマから選ぶ：ねぶたまつり、こけし、こぎん刺し、青森県津軽地方の文化歴史）</p> <p>第3、4、5回 10月28日、11月4日、11月11日 【グループ発表とディスカッション】</p> <p>第6、7、8、9回（11月18日～12月9日）▼【スペシャルレクチャー（2回）】（テーマ：「津軽地方の歴史文化」（本学教授瀧本壽文先生）「津軽こけしについて」（津軽温泉系こけし工人小島利夏様）▼【体験学習】「こぎん刺し」（授業内、講師：近藤康子様）、「ねぶた絵」（土曜日から日曜日に開催、講師：澤田励也様）▼【バスツアー】黒石市こけし館（見学と絵付け体験/土曜日にいきます）※日程は調整します</p> <p>第10回 12月16日 【津軽PRビデオプロジェクト】 テーマ決め、ディスカッション、動画作成案の企画立案、動画撮影、編集、発表準備</p> <p>第11回～14回 土・日に開催するワークショップ・バスツアーの振り替え休講（授業はありませんが、PRビデオ作製をしていただきます）</p> <p>第15回 2月3日 PRビデオ披露会、総括</p> <p>※黒石市こけし館訪問と、ねぶた絵ワークショップは授業内の土曜日から日曜日(11月頃)に行います。</p> <p>※1月第2週から4回は授業を行いません（8時間4コマ分を振り替え）。その間にグループワークでビデオ作製をしていただきます。</p> <p>Contents of this class:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Group presentation to prepare to research of regional traditional culture as a group mixed by international students and Japanese students for 4~5 themes(About the features of Aomori , Tsugaru cultures, Neputa-festival, Kokeshi doll, Koginzashi embroidery, The connection of the culture and the society). 2.The special lecture from the professor major in Tsugaru historical culture. 3.Lectures and workshops by guest professional craftsmen (Theme:Koginzashi embroidery, Kokeshi doll, Neputa picture, or other 4. Field tour to the Kokeshi museum in Kuroishi city by bus. 5. Making PR multilingual video(choose the theme, research and discussion, planning of video creation, video shooting, editing, presentation preparation) as a final task. 6. Final presentation of your PR Video in multilingual. <p>※We will arrange the date of those lectures, workshops, and field trip(2 times on Saturday or Sunday in November or December)</p> <p>※From week11 to week14 we have no class, but creating video by groupwork.</p> <p>※The first class is for orientation and peer-introduction activity.</p>
<p>成績評価方法及び採点基準 method of evaluation</p>	<p>授業参加態度10%、グループワークにおける活動（ポートフォリオ、相互評価による）20%、作成動画・発表の内容30%と最終レポート40%</p> <p>Class participation attitude10%、Activities in group work (self and peer evaluation)40%、Contents of the created video and presentation and the Final Report 50%</p>
<p>準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class</p>	<p>授業内で指示します。It will be given in class.</p>
<p>教材・教科書 text</p>	<p>なし None</p>

参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	<p>・この授業は留学生と日本人学生が共に学ぶ「国際共修」授業です。日本人学生も授業中や作業中、留学生のメンバーと積極的にコミュニケーションを取ってください。日本語が通じない場合には、英語や（初級者でもわかる）簡単な日本語に言い換えたり、ジェスチャーや漢字、スマホの翻訳を使うなど、意思疎通を図ってください。</p> <p>・中級以上の留学生は参加可能です（簡単な英語、やさしい日本語でのサポートがあります）。</p> <p>・特別講演会、ワークショップの講演者、講師は日本語のネイティブスピーカーです。説明等はすべて日本語で行われますが、適宜高橋が英語かやさしい日本語によるサポートをします。</p> <p>・最終的に作成してもらう動画は、音声・字幕を複言語にさせていただきます。</p> <p>・ねぶた絵ワークショップとこけし館訪問は、授業期間内の土日（6月頃）に行われます。参加できるように日程を調整して受講を検討してください。</p> <p>・作成した動画は、大学や地域のプロモーションに使用される場合があります。</p> <p>*This class is an "international co-education" class that both international students and Japanese students learn together.</p> <p>*The language used is basically Japanese, but English translations or easy Japanese will be provided(desirely more than N3, but N4 level students can participate).</p> <p>*The final PR video must be created in multiple languages.</p> <p>*Neputa-art workshop and visiting Kokeshi-museum in Kuroishi-city will be held on Saturday or Sunday. Make time in your schedule and take a class.</p> <p>*The videos produced may be used for university and local promotional activities.</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。Please make an appointment by email.
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	プロジェクトワーク、講演、体験学習、フィールドツアー、グループワーク Project work, lectures, group work
その他 other	<p>社会情勢やゲストスピーカーの都合により授業の内容・日程が変更になる場合があります。</p> <p>*This syllabus is subject to change based on the needs of the class.</p> <p>*The schedule or theme of the lectures by guest speakers is subject to change.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	地域の経済・産業 日本の国際化と地域経済ー多文化共生社会におけるキャリア②(国際共修授業)【教養】 Regional economy and industry Japan's Internationalization and Regional Economy: Careers in a Multicultural Society②
副題 subtitle	日本の国際化と地域経済ー多文化共生社会におけるキャリア②Japan's Internationalization and Regional Economy: Careers in a Multicultural Society②
対象学生	留学生(International Students)、日本人学生1,2,3年生(Japanese Students 1~3year)
単位 credit	2
学期 semester	後期 Second semester
曜日 day 時限 period	木4 4,Thursday
授業形式 class format	演習、講演、グループワーク Lectures, Group work, Presentation
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	高橋千代枝 Chiyo, TAKAHASHI(D-IEC)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	<p>1. 大学で学んだ高度な専門知識を生かして、国や言語、文化を問わず世界で活躍するために、社会人として必要な知識や態度を身につける</p> <p>2. なぜ日本で多文化共生社会が進行しているのか、それによってどのような問題が社会の中で生じているのかについて把握する</p> <p>3. 異なる背景を持つ人とコミュニケーションし、1つの目的に向かって協働できる人材となるために、世界情勢を学ぶと同時に身近な地域に存在する問題に目を向け、柔軟な思考で問題を解決するための思考力や発信力を身につける</p> <p>1. Acquire the knowledge and attitude necessary as a member of society to play an active role in the world regardless of country or culture by making use of the advanced specialized knowledge learned at the university.</p> <p>2. Understand why Japan is moving towards a multicultural society and what problems it is causing in society.</p> <p>3. In order to become a human resource who can communicate with people from different backgrounds and collaborate toward one purpose, while learning the world situation, we will look at the problems that exist in the immediate area and solve the problems with flexible thinking. Acquire the ability to think and communicate.</p>
授業の概要 course description	<p>本授業は、大学生のキャリアの捉え方を軸に据え、特に日本の「地方経済」と「多様性」の関係性を学ぶ授業です。青森県の経済状況や産業構造、地域の抱える問題、職場における多様性について、専門家や企業人の方にご講演をいただきます(テーマ: 青森県の経済状況、地方の産業にもたらす外国人材の雇用による影響、高度外国人材の日本企業内におけるコミュニケーションの問題、外国で就職すること、青森県の観光業について)。これらの講演を聞くことを通して、日本の地方が抱える問題を的確に把握し、異文化背景の他者とのディスカッションを通じてその問題解決の方法を考えます。</p> <p>This class focuses on how university students perceive their careers, and in particular on the relationship between Japan's "regional economy" and "diversity." We will have experts and business people give lectures on Aomori Prefecture's economic situation and industrial structure, regional issues, and diversity in the workplace (themes: Aomori Prefecture's economic situation, the impact of hiring foreign workers on regional industries, communication issues within Japanese companies for highly skilled foreign workers, finding employment abroad, and Aomori Prefecture's tourism industry). By listening to these lectures, students will accurately grasp the issues facing regional areas in Japan and consider ways to solve these problems through discussions with others from different cultural backgrounds.</p>

<p>授業の内容予定 schedule of the class</p>	<p>第1回 10月2日 オリエンテーション、自己紹介 第2回 10月9日 【演習】日本の「就職活動」について ディスカッション:「新卒一括採用、就活、終身雇用」といった日本の企業風土・就職事情について 第3回～第5回 10月16日～11月6日 【グループワークⅠ】「日本における多文化共生の背景と現状」、「東京一極集中、地方の人口減少、人手不足と言った日本社会の問題」、「日本における外国人材の受け入れについての問題」 第6～10回 11月13日～12月11日【講演会】ゲストスピーカー4名による講演(感想シート提出) ▼JETRO(日本貿易振興機構)青森所長 清川裕志様、東洋ワーク(株)黒澤 瞬様、青森県観光推進機構(元弘大留学生) クオン・チョウク様、黒石温泉郷・落合温泉 花禅の庄 支配人 石澤亮太様 第11回 12月18日 【グループワークⅡ】グループワーク①テーマ決め、 第12回 12月25日 グループワーク②アイディア出し、ディスカッション、発表の構想準備 第13回、第14回 1月8日、1月22日 グループワーク③、④ 発表準備 第15回 1月29日 最終発表会</p> <hr/> <p>Week 1 Orientation and self-introduction Week2 【Discussion】About the system of employment in Japan Week3～5 【Group Study】Theme:“The background and current state of multicultural coexistence in Japan,” “Issues in Japanese society such as overconcentration in Tokyo, population decline in rural areas, and labor shortages,” and “Issues regarding the acceptance of foreign human resources in Japan.” From Week 6～10 【The special lecture】The lecture series by four guest speakers(write the report for each lecture)▼Cheif Director JETRO(Japan External Trade Organization) Aomori Mr. Hiroshi Kiyokawa, Toyo Work Mr. Shun Kurosawa, Aomori Prefectural Organization for Tourism and Globalization(ex-exchange student of Hirodai) Mr. Kwon Chuwook, Kuroishi-Onsen Japanese-Inn Kazen-no-Sho Manager Mr. Ryota Ishizawa. Week11～14 【Group Work】Pick up the theme, research, make presentation Week15 【Final presentation】</p>
<p>成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation</p>	<p>授業への積極的参加10% グループワークでの役割分担と自己および他者評価20%、最終発表30%レポート40% Active participation and submissions 10% Division of roles in group work and self- and others evaluation of final presentation 20%, Final presentation 30% Final report 40%</p>
<p>準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class</p>	<p>グループワークでは、締め切りまでにメンバーで協働し発表準備などをするため、授業時間内外での調整が必要です。互いに時間を作り、課題に取り組むようにしてください。In group work, it is necessary to make adjustments both inside and outside of class time in order to work together and prepare for presentations before the deadline. Make time for each other and work through the challenges.</p>
<p>教材・教科書 text</p>	<p>なし</p>
<p>参考文献 references</p>	<p>『大学生として学ぶ 自分らしさとキャリアデザイン』高丸理香他 有斐閣ブックス(2021)</p>
<p>留意点・予備知識 remarks</p>	<p>本授業は日本人学生と留学生が共に学ぶ「国際共修」授業です。留学生はN2以上(日常会話は支障なくできるレベル)の日本語能力が必要です。日本人の学生も、留学生と話す機会が多くありますので、やさしい日本語や媒介語(主に英語)を使うなどして、「相手に伝わる」コミュニケーションを積極的に行うようにしてください。本授業の上限定員数は留学生20名、日本人学生20名です。定員数を超える場合は、担当教員による審査により、人数を調整します。This class or special lectures will be provided in Japanese. So, International students required above N2 Japanese proficiency. But if you are interested in the Japanese business style or the career in Japan, N3 students could take(you should do preparation of every class). Takahashi will provide you some English translation or easy Japanese support. The limited number of students in this class is 20 international students and 20 Japanese students. If the number exceeds the capacity, the number will be adjusted by the examination by the instructor in charge.</p>

授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。Please make an appointment by email.
Eメールアドレス・HP アドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、講演、グループワーク Face-to-face classes, seminar, discussion, group work, presentation
その他 other	<p>※ゲストスピーカーによる講演(テーマ、日程、講演者)は変更の可能性があります。</p> <p>※講演会はオンラインで行われることもあります。</p> <p>※授業の内容に変更がある場合があります。</p> <p>*This syllabus is subject to change based on the needs of the class.</p> <p>*The theme or schedule of the lectures by guest speakers is subject to change.</p> <p>*Some of the Lectures may be held online.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域の国際化に役立つ「やさしい日本語」の実践（国際共修授業）【教養】 Practicing "Easy Japanese" to help internationalize the region
副題 subtitle	
対象学生	留学生／学部1年生～4年生 International Students, Japanese Students 1~4year
単位 credit	2
学期 semester	後期 Second semester
曜日 day 時限 period	月4 / Monday 4
授業形式 class format	プロジェクト・ワーク、アクティブ・ラーニング Active learning, Project work, Group work
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	高橋千代枝（国際連携本部） Chiyoe, TAKAHASHI (D-IEC)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	<p>①地域の社会と文化を人間の生活の営みとの関連で考察し、その仕組みを理解すること ②国際化の進む世界の中で、日本で生活する外国人を取り巻く環境や、遭遇する生活上の困難について知り、「やさしい日本語」を使ってできる支援について考える ③特に青森県弘前市在住の外国人の多様性について知り、弘前市における多文化共生の推進に資するような方策を、学生同士で探究しながら、弘前市独自の国際化の方向性について提言する</p> <p>1. To consider the local society and culture in relation to human life activities and understand their mechanisms 2. In an increasingly internationalized world, to learn about the environment surrounding foreigners living in Japan and the difficulties they encounter in daily life, and to think about how to support them using "easy Japanese" 3. To learn about the diversity of foreigners living in Hirosaki City, Aomori Prefecture, in particular, and to propose a direction for internationalization unique to Hirosaki City while exploring with other students ways to contribute to the promotion of multicultural coexistence in Hirosaki City.</p>
授業の概要 course description	<p>本授業は以下①～③によって構成される。①日本で生活する外国人の現状や問題について知る。②日本で暮らす外国人の生活を支援することができる「やさしい日本語」について、その歴史・概要・目的・活用法・事例を学ぶ。③留学生と共に、青森県弘前市を中心とした地域に在住する外国人のための「やさしい日本語」を用いた支援方法を提案する。これらのことを、プロジェクトワークとして行います。</p> <p>This class will consist of the following ① to ③. ① Learn about the current situation and issues facing foreigners living in Japan. ② Learn about the history, overview, purpose, usage and examples of "Easy Japanese" that can support the lives of foreigners living in Japan. ③ Together with international students, propose support methods using "Easy Japanese" for foreigners living in the area centered around Hirosaki City, Aomori Prefecture. These will be carried out as project work.</p>

<p>授業の内容予定 schedule of the class</p>	<p>第1回 10月1日 オリエンテーション・自己紹介 第2回 10月6日 日本で生活する外国人 第3回 10月14日 外国語としての日本語教育の概要 第4回 10月27日 「やさしい日本語」とは① 第5回 11月5日 「やさしい日本語」とは② 第6回～8回 プロジェクトワークⅠ＜日本で生活する外国人が直面する生活上の困難とは＞”トラブルマップ”作成 11月10日 【ディスカッション】弘前で生活する外国人が直面する問題について 11月17日 【ディスカッション】問題の洗い出しとまとめ（「やさしい日本語」を使って解決できる問題を選ぶ）、現地調査や取材等が必要な場合、その計画を立てる 12月1日 【中間発表】ディスカッションを通して発見したことを”トラブルマップ”として発表 第9回～第14回 プロジェクトワークⅡ＜「やさしい日本語」を使った生活上のトラブルを解決する方法の提案＞ 12月8日 【ディスカッションとグループ分け】「やさしい日本語」を使った問題解決のテーマ決め 12月15日 【グループワーク①】具体的な方法(ガイドブック、アプリ、ウェブサイト、道路標識、注意書き、説明書等)について検討、現地調査が必要な場合はその計画を立てる 12月22日 【グループワーク②】調査・作業① 1月5日 【グループワーク③】調査・作業② 1月15日 【グループワーク④】発表準備① 1月19日 【グループワーク⑤】発表準備② 第15回 1月26日 最終報告会</p> <p>Week 1 Orientation, Self-introduction Week 2 Foreigners living in Japan Week 3 How foreigners learn Japanese Week 4,5 learn "easy Japanese" Week 6~8 Project Work I: <What kind of difficulties do foreigners living in Japan face?> Creating a "trouble map" Week9~14 Project Work II: Proposing ways to solve everyday problems using "easy Japanese"(①Discussion and group division: Deciding on a problem-solving theme using "easy Japanese".②Consider specific methods (guidebooks, apps, websites, road signs, warning notices, instructions, etc.) and make a plan for on-site investigation if necessary.③Research and Work.④Preparation for the final presentation.) Week 15 Final Presentation</p>
<p>成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation</p>	<p>授業参加態度10%、グループワークの自己・他者評価20%、成果物30%、期末レポート40% Class participation attitude: 10%, self- and peer-evaluation of group work: 20%, deliverables: 30%, final report: 40%</p>
<p>準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class</p>	<p>授業内で指示します。Instructions will be given during class.</p>
<p>教材・教科書 text</p>	<p>プリントを配布します。Instructions will be given during class.</p>

参考文献 references	『入門・やさしい日本語 外国人と日本語で話そう』吉開章 アスク 『「やさしい日本語」表現辞典』庵功雄編著 丸善出版 『やさしい日本語－多文化共生社会へ』庵功雄 岩波書店
留意点・予備知識 remarks	<p><日本人学生に向けての注意>この授業は留学生と共に学ぶ「国際共修授業」です。授業では、基本日本語を使いますが、留学生とのコミュニケーションの際、日本語が通じない場合があります。英語や簡単な日本語への言い換え、漢字などの文字を使ったりジェスチャーやスマホ翻訳、検索を使うなど、様々な手段で意思疎通を図るようにしてください。</p> <p><For exchange students>This Class is "Intercultural Co-learning" class. When you join in this cours, please be active to show your concerning about "living problem in Japan as a foreigner". We pick up the troubles or inconvenience things that you encountered in Japan life, work with Japanese students to solve those problems by using "やさしい (かんたんな) 日本語". This class target is from N4~. If you have ever had trouble with difficult Japanese signs around town, in shops, or at city hall, join this class and find a solution.</p>
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	メールでアポイントを取ってください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	takahashichiyoe@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	演習、グループワーク、アクティブラーニング、プロジェクトワーク Exercises, group work, active learning, project work
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	サークル活動に見る日本社会② Insights into Japanese Society through Circle Activity ②
副題 subtitle	
対象学生	Exchange Students
単位 credit	2
学期 semester	後期 Semester II
曜日 day 時限 period	月曜日 7・8時限目 Monday
授業形式 class format	講義・演習 Lecture and Action Research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪 淳一郎 SUWA Jun'ichiro
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	サークル活動への参加を通じて日本の学生の暮らしと社会について深く理解していきます。 Through participant observation in student circles, students will deepen understanding about Japanese student life and social interactions.
授業の概要 course description	自分で選んだ弘前大学内のサークルなどの学生団体に所属し、活動の記録と考察をまとめたレポートを定期的に提出し、教員からのフィードバックを受けます。 Students will participate in a student circle activity of choice and submit reports and receive feedbacks.
授業の内容予定 schedule of the class	(Subject to change) 1. 日本の学生社会について Lecture: Social interaction of Japanese students 2. 所属サークルの発表 Present student circles 3. フィールド学習① Field Study 1 4. フィールド学習② 5. フィールド学習③ 6. 中間報告① Intermediary Report 1 7. フィールド学習④ 8. フィールド学習⑤ 9. フィールド学習⑥ 10. 中間報告② 11. フィールド学習⑦ 12. フィールド学習⑧ 13. フィールド学習⑨ 14. 最終報告 Final presentation 15. まとめ Conclusion
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	サークル活動レポート Reports 60%、発表 Presentations 40%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	授業中に指示します。 To be instructed in class.
教材・教科書 text	
参考文献 references	
留意点・予備知識 remarks	参加するサークルは第2回目の授業までに各自で見つけてください。 Student circle should be selected by the second week of course. サークル活動を途中でやめる時は必ず諏訪に相談してください。 Consult J. Suwa before you are thinking about quitting circle activity.

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語と英語 Japanese and English
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject 〔英文名〕	国際地域・社会・文化—トランスナショナリズムの音楽—【教養】 International Area Studies/Society/Culture—Music in Transnationalism—
副題 subtitle	
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	後期 Semester II
曜日 day 時限 period	月曜日 9・10 時限目 Monday Period 9・10
授業形式 class format	講義 Lecture
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	諏訪淳一郎（国際連携本部） SUWA Jun'ichiro (D-IEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	異なる国の地域・社会・文化などを理解することを通して、多面的な知性・知恵・実践的教養能力を身につけること Student will acquire the knowledge with multifaceted aspect through understanding cultures of the world.
授業の概要 course description	音楽を聴く（あるいは演奏・創作する）ことは、人間として存在することの重要な一条件である。しかし、世界の音楽文化は多様であって、その背景には複雑な事情が存在している。この授業では、多面的な知性を育みながら世界の中の一地域で暮らすことの特殊性と、人間の音楽による営みの普遍性という二つの側面を有する音楽がもつ文化的な力について理解を深める。 Music listening (and making) is an indispensable condition of humanity. However, musical culture is globally various and behind it there are complex backgrounds. This class will deepen understanding about particularity of regional lives as well as universality of life with music.
授業の内容予定 schedule of the class	1. 序論「近い体験・遠い体験」Introduction "near and far experience" 2. P0序：「語りえぬもの」のエスノグラフィー Introduction 3. 『扉をたたく人』視聴 The Visitor 4. 『扉をたたく人』解説 Guide to The Visitor 5. P01：「いま－ここ」の神話論理（前）Chapter 1 6. P01：「いま－ここ」の神話論理（後）Chapter 1(cont'd) 7. P02：呼びかけと振り向き（前）Chapter 2 8. P02：呼びかけと振り向き（後）Chapter 2(cont'd) 9. P03：テリトリーを生み出す「切り分け」（前）Chapter 3 10. P03：テリトリーを生み出す「切り分け」（後）Chapter 3 (cont'd) 11. P04：「あいだ」の感覚（前）Chapter 4 12. P04：「あいだ」の感覚（後）Chapter 4 (cont'd) 13. P05：メラネシアのポップ Chapter 5 14. P06：トゥバのホームエイ Chapter 6 15. P07：奄美の島唄 Chapter 7 ※P0＝『パフォーマンスの音楽人類学』Performance no ongaku-jinruigaku
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	リフレクションペーパー30% Reflection paper 課題レポート70% Final assignment
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：教科書を読み次回の導入を理解する。Have an idea about next lecture's topic 復習：リフレクションペーパーの振り返り。Review reflection paper
教材・教科書 text	『パフォーマンスの音楽人類学』（勁草書房 2012年）
参考文献 references	

留意点・予備知識 remarks	世界の音楽文化に興味をもって授業に臨んでください。Students are expected to share a deep interest in music.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9・10 時限目 Teams
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa @ hirosaki-u.ac.jp (スペース空ける)
授業形態及び授業方法 Class form and method	Reflection paper in English is accepted but the class is entirely in Japanese. Interest in music with intellectual scope helps. You are also encouraged to get a copy of text book.
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	現代日本学ー日本文学とアイデンティティの形成ー【教養】 Modern Japanese literature and the formation of identity
副題 subtitle	現代日本学-日本文学とアイデンティティの形成
対象学生	Japanese students and International students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Tuesday 火曜日 5・6 12:40～14:10
授業形式 class format	Lectures and discussions レクチャー、ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept of Int. Education and Collaboration 国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本の社会と文化を世界の国々と比較の観点から考察し、現代日本学に関する深い知識を獲得すること
授業の概要 course description	In this course we will examine the lives and works of modern Japanese authors whose writings illuminate the formation of Japanese identity. In addition to discussing assigned texts and examining related resources, we will view screen versions of selected works. 近代文学に反映されている日本人のアイデンティティの形成を考察します。テキストに関するディスカッション、関連資料の解説に加え映画を鑑賞することを通して作品の理解を深めます。
授業の内容予定 schedule of the class	Session 1: Introduction Session 2～4: The broken commandment 『破戒』 Session 5～6: Foreign studies 『留学』 Session 7～9: No longer human 『人間失格』 Session 10～11: A personal matter 『個人的体験』 Session 12～14: Deep river 『深い河』 Session 15: Final reflections 振り返り Session 16: Feedback
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on written work completed in class (100%). 評価は授業で完成するレポート (100%)に基づいて行なわれます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Students will be required to read literary works and prepare for the discussions which will be held at each session. Review: They will be required to reflect on the content of classes in order to complete their written work. 予習: 学生は作品を読み、毎回行なわれるディスカッションの準備をします。復習: コースの内容を振り返りながらレポートに取り組みます。
教材・教科書 text	Learning materials will be provided. 資料は配布されます。
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 指導は日本語と英語で行います。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be held in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. 授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity. 定員：20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	現代日本学－日本の表象文化－【教養】 Contemporary Japanology－Japanese Representation Culture－
副題 subtitle	日本の表象文化：Japanese Representation Culture
対象学生	
単位 credit	
学期 semester	後期Second Semester
曜日 day 時限 period	火曜日9・10時限目Tuesday, Period 5
授業形式 class format	講義Lecture
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	諏訪淳一郎（国際連携本部） SUWA Jun'ichiro (DIEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○日本の文明・文化に関する見識を深めること To deepen understanding about Japanese culture and civilization. ○日本の文明・文化に関する知識を活用して、日本および諸外国の歴史や現状、展望について理解すること To understand the past, present and future of Japan and other areas of the world through the knowledge about Japanese culture and civilization.
授業の概要 course description	教科書を参考にしながら『鬼滅の刃』を読解し、そこに現れる表象について比較文化的な理解を深める。 By referring to the textbook, the text of anga Daemon Slayer is analyzed to deepen understanding aboutn the representations expressed in the text cross-culturally.
授業の内容予定 schedule of the class	1. 序論 Introduction 2. 『鬼滅の妖異学』① Kimetsu no Yoigaku 1 (to be continued below) 3. 『鬼滅の妖異学』② 4. 『鬼滅の妖異学』③ 5. 『鬼滅の妖異学』④ 6. 『鬼滅の妖異学』⑤ 7. 『鬼滅の妖異学』⑥ 8. 『鬼滅の妖異学』⑦ 9. 『鬼滅の妖異学』⑧ 10. 『鬼滅の妖異学』⑨ 11. 『鬼滅の妖異学』⑩ 12. 『鬼滅の妖異学』⑪ 13. 『鬼滅の妖異学』⑫ 14. 『鬼滅の妖異学』⑬ 15. まとめ
成績評価方法及び採点基 準 method of evaluation	リフレクションペーパー Reflection Papers 100%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	予習：教科書を読む。『鬼滅の刃』のストーリーを十分に理解しておく。Read the textbook and grasp the storyline of Daemon Slayer. 復習：リフレクションペーパーの振り返り。Reflection on returned reflection papers.
教材・教科書 text	『鬼滅の妖異学』（勁草書房 2022年）Kimetsu no Yoigaku, Keiso Shobo, 2022.
参考文献 references	吾峠呼世晴『鬼滅の刃』（集英社 2019年）English Translation: Daemon Slayer: Kimetsu no Yaiba, VIZ Media, 2019. その他、授業で紹介する。Other references will be introduced in class.

留意点・予備知識 remarks	<p>授業中にキャラクターやあらすじなどの説明はしないので、吾峠呼世晴『鬼滅の刃』（集英社 2019年）を全巻読んでおくこと。</p> <p>Lecture will be in Japanese. Students are expected to familiar with the story, setting, and characters of Daemon Slayer beforehand. If your reading skill is inadequate but still wishes to take this course, see the instructor to discuss about substitution.</p> <p>漫画のあらすじやキャラクターを紹介するサイトを利用する際には安全性に十分に配慮すること。Beware security when visiting websites.</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>水曜日 9・10 時限目</p> <p>Teams</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	<p>suwa@hirosaki-u.ac.jp</p>
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>講義の後でリフレクションペーパーを書いてもらいます。</p> <p>Lecture and reflection paper.</p>
その他 other	<p>講義は日本語で行いますが、パワーポイント資料は英語を使用します。提出物は英語でも可能です。</p> <p>Lecture is in Japanese entirely. PowerPoint presentation is in English.</p> <p>Submission in English is welcome.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域の社会・文化ー津軽の近代文化史ー【教養】 Survey of the modern cultural history of Tsugaru
副題 subtitle	地域の社会・文化ー津軽の近代文化史ー
対象学生	Japanese students and International students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2 単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Wednesday 水曜日 5・6 (12:40~14:10)
授業形式 class format	Lectures and fieldtrips レクチャー・フィールドワーク
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of Int. Education and Collaboration), Sugiyama Yuko 杉山祐子 and Yamada Itsuko 山田巖子 (Humanities and Life Sciences人文社会科学部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	地域の社会と文化を人間の生活の営みとの関連で考察し、その仕組みを理解すること
授業の概要 course description	This course is an introduction to the modern cultural history of the Tsugaru region. It guides students on a historical journey from the Jomon era to the present. この授業は津軽近代文化史の入門です。縄文時代から近代にいたるまでの津軽文化の変動を追います。
授業の内容予定 schedule of the class	Changes may be made to the following schedule if the need arises. 状況により、下記の予定を変更する場合があります。 1. Introduction/概要 2. Preparation for visit to Hirosaki castle 弘前城 3. Hirosaki castle 弘前城 4. Samurai dwellings 武家屋敷 5. Visit to kenjutsu dojo 剣術道場訪問 6. Oishi bugakuryu gardens 大石武学流庭園 7. Zazen in Zenringai 座禅 8. Itako and Jizo イタコと地蔵 9. The Tsugaru shamisen 津軽三味線① 10. The Tsugaru shamisen 津軽三味線② 11. Mt Iwaki 岩木山① 12. Mt Iwaki 岩木山② 13. Mt Iwaki 岩木山③ 14. Modern authors of Tsugaru 津軽の近代文学 15. The Modernization of Tsugaru 津軽の近代化 16. Final reflections 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on written work completed in class(100%) 評価は授業で完成させるレポートに基づいて行います。(100%)
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Readings will be assigned to prepare for lectures. Review: Students will reflect on the content of classes in order to complete their reports. 予習: 資料を読み、授業の予習を行います。 復習: 授業の内容を振り返り、レポートを書きます。
教材・教科書 text	Reading materials will be provided. 資料を配ります。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	This course will be taught in both Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 指導は日本語と英語で行います。。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いてコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be held in person.Teams will be used in the event of online instruction. 授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeams で行います。
その他 other	Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed capacity. 定員：20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域の食と産業化—Cultural anthropology of local food and dietary practices— 【教養】 Japanese Local Food Culture and Dietary Practices
副題 subtitle	
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	後期
曜日 day 時限 period	木曜日 5・6時限目
授業形式 class format	講義、発表、校外学習 Lecture, Presentation and Field Study
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 (国際連携本部)、グリゴレ・イリナ (教養教育非常勤) SUWA Jun'ichiro (DIEC), GRIGORE Irina (Adjunct, General Education)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○弘前市周辺の食の多様性について特に食文化の観点から学びます。 Diversity of Food in the Hirosaki area from a cultural point of view will be explored. ○文化資源として青森の食が持っている潜在性について、フィールドトリップの体験から学びます。 Through excursions, potential of cultural resource in Aomori local food will be explored.
授業の概要 course description	○弘前市周辺の食の多様性について特に食文化の観点から学びます。 Diversity of Food in Aomori from a cultural point of view will be explored. ○文化資源として地域の食とそのウェルネスについて、フィールドトリップの体験から学びます。 Through excursions, local food as cultural resource and its aspects of wellness will be explored.
授業の内容予定 schedule of the class	(Finalized schedule will be announced in class.) 1. Outline of local food culture, and Instruction for field trips (Buy insurance) 2. Preliminary research for Presentation 1 3. Presentation 1: 'My/Our Local Food' 4. Presentation 2: Artificial ingredients and food culture today 5. Use of wild plants and mushrooms 6. Preliminary research for Presentation 3 7. Presentation 3: 'What Interests Me about Tsugaru Akatsuki no Kai' 8. Assignment: 'To-Do List in Food Processing Enterprise (With in-class instruction) 9-10. FT at Tsugaru Akatsuki no Kai (Equiv. 2 class hrs.) Pay your own meal. 11. Presentation 4: 'Tsugaru Akatsuki no Kai' 12. Dialogue with small-scale local business 13-14. Field trip to food processing enterprise (Equiv. 2 class hrs.) 15. Presentation 5: 'Report of food processing enterprise'
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	発表80%、授業参加20% Presentation (80) and productive participation (20).
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	授業内容と発表に関する予備知識を得、それらに関するまとめを行うこと。 preparation for class materials (upon announcement), and preparation and reflection on assignments.
教材・教科書 text	TBA
参考文献 references	TBA

留意点・予備知識 remarks	<p>発表を含む授業のすべてを英語で行います。English is the standard regardless of number of Japanese natives. 履修制限あります)。 フィールドトリップは休日に実施します。The Field Trips are scheduled in weekend.</p> <p>食文化体験学習の食事代は個人負担です (1回1,500円程度)。Pay your own meal. 授業の順番は暫定のものです。確定版は第1回目の授業にお知らせする予定です。 Finalized schedule is planned to be announced in the first day of class.</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>水曜日9・10時限目 (諏訪淳一郎) Teams</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	発表と講義は英語で行います。In English.
その他 other	<p>サークル活動などを理由に校外学習を欠席することは認めません。 The field trips are absolute requirement.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	現代日本学－現代日本文化論－【教養】 Contemporary Japanology-Contemporary Japanese Culture-
副題 subtitle	現代日本文化論 Contemporary Japanese Culture
対象学生	
単位 credit	2
学期 semester	Second Semester
曜日 day 時限 period	木曜日 5・6 時限目 Thursdays period 3
授業形式 class format	講義Lecture
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	SUWA Jun'ichiro (DIEC)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本の社会と文化を世界の国々と比較の観点から考察し、現代日本学に関する深い知識を 獲得すること Through crosscultural analysis about Japanese and other cultures of the world, students will deepen understanding about Japanology//
授業の概要 course description	アニメ『千と千尋の神隠し』の視聴しながら、日本と世界の文化の比較を行い、それぞ れに関する知識を深める。 Cross-cultural analysis will take cases from Spirited Away (2000).
授業の内容予定 schedule of the class	1. 序論 introduction 2. 『千と千尋の神隠し』① Spirited Away 3. 『千と千尋の神隠し』② 4. 『千と千尋の神隠し』③ 5. 『千と千尋の神隠し』④ 6. 『千と千尋の神隠し』⑤ 7. 神話的現実Mythical reality 8. 湯立神楽と来訪神 kagura and visiting gods 9. オルフェウスとヤヌス Orpheus and Janus 10. カオナシの場所性 Kaonashi 11. 血と不浄 blood and profanity 12. ヘテロトピア heterotopia 13. 薬の文化史 A cultural history of medicine 14. 贈与と交換 Gift and exchange 15. まとめ conclusion ※順序や内容が変わることがあります
成績評価方法及び採点基 準 method of evaluation	リフレクションペーパー Reflection Papers 100%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	予習: 作品の内容を理解しておく。Understand contents of the anime. 復習: リフレクションペーパーによる学修 Reflection on reflection papers.
教材・教科書 text	なし
参考文献 references	授業中に紹介する。TBA
留意点・予備知識 remarks	パワーポイントは英語で表示し、講義は日本語で行う。 English projector, lecture in Japanese.

授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	水曜日 9 ・ 1 0 時 限 目 Teams
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義の後にリフレクションペーパーを書いてもらいます。 Reflection paper after lecture in each class.
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	国際地域・社会・文化－異文化間コミュニケーションー【教養】 Intercultural communication
副題 subtitle	
対象学生	日本人学生・留学生（中上級以上の学習者：JLPT N2を取得済み、または取得を目指す人）
単位 credit	2単位（2 Credits）
学期 semester	後期（Ⅱ semester）
曜日 day 時限 period	水曜日（Wed） 9・10時限（16:00～17:30）
授業形式 class format	講義・演習
担当教員（所属学部） lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○異なる国の地域・社会・文化などを理解することを通して、多元的な知性・知恵・実践的教養能力を身につけること ○国内の地域差も含めた文化の違いを考える際に参考となる基本的な考え方を知る ○ケーススタディやクラスメートとの対話を通して、様々な立場からある状況について見ることができる ○タンデムパートナーやその文化について知る
授業の概要 course description	異文化間コミュニケーションについての講義を聞き、各回のテーマに関して、留学生と日本人学生による小グループでの意見交換と考察を行います。各回のテーマに出てくる概念を元にして、自分や相手の体験を語り合い、ケーススタディを分析していく中で、今後、起こりうる異なる背景を持つ相手とのコミュニケーションを円滑に行えるような知見を養います。 授業外活動として、テレタンデム（言語交換 ＊ペアにより日本語中心、日本語と英語、日本語と学習している言語、など異なります。）
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 オリエンテーション BEVIについて 第2回 文化とは？ 見える文化と見えない文化 第3回 コミュニケーションスタイルの違い 第4回 ステレオタイプ 第5回 カルチャーショック 第三者返答 第6回 自分の方言と若者ことばを教え合おう 第7回 カルチャーマップ① ケーススタディ 留学編 第8回 カルチャーマップ② ケーススタディ 職場編 第9回 ドキュメンタリー『ハーフ』①最も印象に残った人物 第10回 ドキュメンタリー『ハーフ』②将来への展望 第11回 自分史 ライフチャート やさしい日本語 第12回 価値観 自分の文化で大切にされていること 第13回 異文化感受性発達モデル (DMIS) / 異文化理解力の自己評価 (Value Rubric) 第14回 相互文化的能力 (Byram) 第15回 ふりかえりマップ作り これからしていきたいこと BEVI 第16回 最終レポート提出
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	出席・授業での積極的参加 20% 毎回のテーマについてのコメント 20% テレタンデムとふりかえり 20% 最終レポート 40%
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	毎回のテーマについてコメントを書き込むこと テレタンデムについてのふりかえりをFormsに書き込むこと

教材・教科書 text	西田ひろ子（2000）『異文化間コミュニケーション入門』創元社 エリン・メイヤー（2015）『異文化理解力 The Culture Map』英知出版 ※教科書を購入する必要はありません。
参考文献 references	庵功雄・岩田一成・佐藤琢三・柳田直美（2019）『<やさしい日本語>と多文化共生』ココ出版 オーサ・イエークストロム（2015）『北欧女子オーサが見つけた日本の不思議』KADOKAWA 近藤彩・金孝卿・ムグダ ヤルディー・福永由佳・池田玲子（2013）『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習』ココ出版 マイケル・バイラム（2015）『相互文化的能力を育む外国語教育 グローバル時代の市民性形成をめざして』大修館書店 宮崎七湖（編著）江後千香子・武一美・田中敦子・中山由香・村上まさみ（2016）『留学生のためのケースで学ぶ日本語 問題発見解決能力を伸ばす』ココ出版 「外国につながる子供たちの物語」編集委員会（2020）『まんが クラスメイトは外国人 課題編 ―私たちが向き合う多文化共生の現実―』明石書店 山本志都・石黒武人・Milton Bennett・岡部大祐（2022）『異文化コミュニケーション・トレーニング「異」とともに成長する』三修社 吉開章（2023）『増補版 入門・やさしい日本語 外国人と日本語で話そう』アスク出版 Bennett, M. J. (2004). Becoming intercultural competent. In J. S. Wurzel (Ed.) Toward multiculturalism: A reader in multicultural education. Newton, MA: Intercultural Resource Corporation. http://www.idrinstitute.org/allegati/IDRI_t_Pubblicazioni/1/FILE_Documento.pdf その他、適宜お知らせいたします。
留意点・予備知識 remarks	講義は基本的に日本語で行います。留学生の場合は、日本語能力試験N3レベル以上を目安としてください。 テーマに関する体験や自分の考えについて話し合う時間があります。 計6回ほどのテレタンデムでは日本語のほかに英語や他の学習中の言語で意思疎通する場合があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	授業中に質問するか、メールかTeamsで予約を取ってください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義・テーマに関する対話・テレタンデム
その他 other	シラバスの内容は流動的です。学生の進度や興味によりシラバスが変更される場合があります。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	国際学生フォーラム【人文】 International Student Forum
副題 subtitle	国際学生フォーラム:国境なき対話
対象学生	International students and Japanese students 留学生と日本人学生
単位 credit	2 credits
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Wednesday 9・10 (16:00~17:30)
授業形式 class format	Lectures, group discussion, service learning レクチャー、グループ・ディスカッション、サービス・ラーニング
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Sawada Shinichi 澤田真一 (Humanities) Hannah Joy Sawada (Dept.of International Education and collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	To improve communication skills for the purpose of fostering intercultural collaboration.
授業の概要 course description	This class is taught bilingually in Japanese and English, for the mutual understanding of International and Japanese students. An initial introduction will be given to the practice of dialogue and the topics we will be considering in this course. Classes will consist of talks given by visitors, discussions, presentations of findings, service learning and reflection.
授業の内容予定 schedule of the class	Session 1~3 Introduction Session 4~8 Discussion Topic: Responding to disadvantage in our communities Sessions 9~11 Discussion Topic: Gender and sexuality Sessions 12~15 Discussion topic:Difference and discrimination Session 16 Final reflections :What changes can we bring about?
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Group service learning:40% Oral presentations: 20% Reflective written work: 40%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation will be required for discussions. Review will be required for reflections
教材・教科書 text	Handouts will be provided.
参考文献 references	Helpful references will be introduced in class.
留意点・予備知識 remarks	Class capacity: 10 International students and 10 Japanese students.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Hannah Sawada: Please email to make an appointment
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction is given in Japanese and English. Students are expected to make effort to use both languages to the best of their ability in order understand and learn from each other.
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	現代日本学ー日本の女性による文学ー【教養】 Japanese women writers and their literature
副題 subtitle	現代日本学ー日本の女性による文学ー
対象学生	Japanese students and International students 日本人学生と留学生
単位 credit	2 credits 2単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Thursday 木曜日 5・6 (12:40~14:10)
授業形式 class format	Lectures and discussions レクチャー・ディスカッション
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada サワダ ハンナ ジョイ (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本の社会と文化を世界の国々と比較の観点から考察し、現代日本学に関する深い知識を獲得する。
授業の概要 course description	In this course we will read works by Japanese women writers that reflect the evolution of gender roles from the Meiji era to the present. We will discuss the works under consideration, examine related resources and watch screen versions in order to gain a deeper understanding of what they convey. ○明治時代から今日までジェンダーロールを取り上げた日本の女性作家による文学作品について学びます。 ○作品についてディスカッションをし、関連資料の解説に加え映画を見ながら内容を考察します。
授業の内容予定 schedule of the class	1: Introduction 概要 2: House of the Sleeping Beauties 『眠れる美女』 3: House of the Sleeping Beauties 『眠れる美女』 4: Sandakan Brothel No.8 『サンダカン八番娼館』 5: Sandakan Brothel No.8 『サンダカン八番娼館』 6: Sandakan Brothel No.8 『サンダカン八番娼館』 7: The Waiting Years 『女坂』 8: The Waiting Years 『女坂』 9: The Twilight Years 『恍惚の人』 10: The Twilight Years 『恍惚の人』 11: The Twilight Years 『恍惚の人』 12: Woman on the Other Shore 『対岸の彼女』 13: Woman on the Other Shore 『対岸の彼女』 14: Woman on the Other Shore 『対岸の彼女』 15: Final reflections 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Evaluation will be based on written work completed in class(100%). 評価は授業で完成させるレポート(100%)に基づき、行なわれます。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Preparation: Students are required to read materials and prepare for discussions held in each session. Review: They are required to reflect on the content of the course in order to complete their written work. 予習: 学生は作品を読み、授業で行なうディスカッションの準備をします。復習: 学習内容を振り返り、レポートに取り組む。
教材・教科書 text	Reading materials will be provided. 資料を配布します。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	Classes will be conducted in Japanese and English. Japanese students and international students are expected to use both languages to the best of their ability in order to communicate with each other during class discussions. 授業は日本語と英語の両方で行ないます。日本人学生と留学生がディスカッションを行う際は二つの言語を用いながらコミュニケーションをはかります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Classes will be held in person. Teams will be used in the event of online instruction being required. 授業は対面で行います。メディア授業に移行した場合はTeamsで行います。
その他 other	Class capacity: 20 Lots will be drawn if enrollments exceed class capacity. 定員：20名 定員を超えた場合はくじ引きを行います。

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップBーリンゴ栽培、商品開発、マーケティングー Internship B-Apple cultivation, product development, marketing-
副題 subtitle	インターンシップA: リンゴ栽培、商品開発、マーケティング
対象学生	Exchange students who have upper-intermediate Japanese proficiency 日本語中上級レベルの交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(II Semester) 後期
曜日 day 時限 period	Wednesday 水曜日 7・8 (14:20~15:50)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in industries related to apple cultivation, which Aomori prefecture has the largest share of in Japan. このインターンシップでは 青森県が全国で最大のシェアを誇るリンゴ栽培と関連業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in cultivation, product development and marketing. 学生に栽培、商品開発とマーケティングの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at the Apple Park managed by the Hirosaki Tourism and Convention Bureau for 6 Saturdays during the second semester (dates to be announced). They will be required to support a range of staff duties, anticipated to include translating materials for international visitors to the park. 前期中の土曜日6回 弘前観光コンベンション協会の運営するりんご公園に勤務し観光客向けの資料の通訳を含む各種の業務をサポートする(日程は後日確定)。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will submit a final report on completion. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。

留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. Students will be required to ride a bicycle or take a short bus ride to the Apple Park. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。学生は自転車、あるいはバスで通勤します。
オフィスアワー Office hour	Make an appointment by email. Eメールで予約してください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	N/A

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップBー観光PRー Internship BーTour Promotionー
副題 subtitle	インターンシップ A: 観光PR
対象学生	International students with upper intermediate Japanese language proficiency or above日本語中上級以上の語学力を有する交換留学生
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日12:40~14:10
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the Japanese or Japan-related tourist industry. このインターンシップは日本、又は日本に関係した観光産業で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	It offers first hand experience in working with the Hirosaki Tourism and Convention Bureau. 弘前観光コンベンション協会の仕事に取り組む機会を提供します。
授業の内容予定 schedule of the class	1: Preparatory instruction 事前指導 2: Work with Hirosaki Tourism and Convention Bureau staff, undergoing their training for guides, translating materials for overseas tourists and writing posts for their social media. 弘前観光コンベンション協会のスタッフとともに作業し、ガイドのトレーニングを受け、海外からの観光客のための資料の翻訳やSNSの投稿を行う。 3: Final reflections and report. 振り返りと活動報告レポート。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and/or view resources. 資料の熟読あるいは視聴が求められます。
教材・教科書 text	Resources will be provided. 関連資料を提供します。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants. Upper intermediate Japanese language proficiency or above is required. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Students will be required to go to the Hirosaki Tourist Convention Bureau for approximately 3hours on Friday afternoons, so if they plan to take other classes on Friday afternoons as well, they will not be able to participate in this internship. Tasks will involve 3～4 Saturdays as well. Dates to be announced. 弘前観光コンベンション協会での仕事は金曜日の午後、約3時間かかるため金曜日の午後に別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。なお、3～4回の土曜日の仕事も含まれます。日程は後日調整となります。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this workplace is located by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wed. 12:40～14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」（水曜日12:40～14:10）をも履修することを強くお勧めします。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップBーシティ・プロモーション Internship B-City Promotionー
副題 subtitle	インターンシップ A: シティ・プロモーション
対象学生	Exchange students with upper-intermediate Japanese proficiency or above 日本語中上級以上の語学力を有する交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(II Semester) 後期
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日 5・6 (12:40~)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワ ダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship offers valuable experience to students who are interested in future work in Japan such as becoming a coordinator for international relations in a municipality or work which puts their Japanese language skills to use. 将来日本の自治体で国際交流員として働きたいなど、日本での仕事や、日本語の語学力を生かした仕事に興味や意欲を持った学生に実習体験をさせることを目的とします。
授業の概要 course description	Participants are offered the opportunity to engage in tasks related to work in a municipality. Duties will pertain to city promotion and involve providing information for Japanese and International visitors. After preliminary instruction participants will gather information about Hirosaki city and its attractions, undertake translation from Japanese to other languages, and take photographs and videos to post on social media. There are times that participants will be asked to use their own mobile phone cameras to compile these images. このインターンシップは、学生に自治体事務などに関わる仕事の実体験をさせるものです。業務は、日本の国内外に向けた情報発信などのシティプロモーション事業に関わる内容です。事前指導後、弘前市についての情報収集や魅力の発掘、日本語から母国語への翻訳、自ら撮影した画像や動画などによるSNSでの情報発信などの業務に従事していただきます。学生はこの作業に自身の携帯電話のカメラなどを使用する場合があります。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will usually be required to work for the Hirosaki City Office on Friday afternoons and on other pre-negotiated times and weekends when involving city events (Dates/times of these events to be discussed and confirmed). Students who are taking other classes in the 7・8 and 9・10 periods on Fridays cannot participate in this internship, as they may not be able to return to the University on time. 学生は基本的に金曜日の午後、そしてイベントと関わる場合はあらかじめ調整した空き時間や週末、弘前市役所に勤務する。(これらのイベントの日時は事後確定) 金曜日の7・8 と 9・10に他の授業を受けている学生は間に合って大学に戻れないためこのインターンシップに参加できません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be given tasks to complete on their own, in addition to attending work sessions at the city office. 市役所で行う実習に加え学生は自習を行い、与えられた課題を自宅などで行う。

教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int.Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	Preparatory sessions will be held before work at the city office begins. 勤務前に事前指導を行う。
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required of participants who should have upper intermediate level of Japanese or above. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。中上級以上の日本語能力が必要となります。
オフィスアワー Office hour	Email to make an appointment. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where Hirosaki City is located by also enrolling in "Survey of the Cultural History of the Tsugaru region" (Wed. 12:40~14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」(水曜日12:40~14:10)をも履修することを強くお勧めします。

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップBーWebマーケティングー Internship BーWeb marketingー
副題 subtitle	インターンシップ B: Webマーケティング
対象学生	International exchange students with a high level of proficiency in English or other languages 英語、あるいは他の言語の高い能力を持った交換留学生
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Tuesday 火曜日 7・8 (14:20～15:50)
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire skills required for working in a Japanese workplace through first-hand experience under the supervision of Consis Co.Ltd. このインターンシップは 株式会社コンシスの指導下で、日本の職場で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	After initial preparatory instruction students will translate websites and social media operated by Consis Co. Ltd. into other languages and make this information available to people who use these languages to communicate. They will then conduct analysis of these sites. They will also support consultation for prefectural businesses and organizations by performing translation tasks and assisting in the facilitation of events . 学生は株式会社コンシスが運営しているWebサイトやSNSを多言語化することにより、当該言語が主なコミュニケーション手段とする人たちに情報発信を行う。 また更新したサイトの分析を行う。また県内企業・団体のコンサルティングサポート（翻訳業務、イベントサポート等）を実施する。
授業の内容予定 schedule of the class	<u>Changes may be made to the following schedule depending on circumstances:</u> Sessions 1～2: Preparatory instruction. (Writing a personal history, first meetings and manners, communications related to the workplace) Sessions 3～13: Weekly online meetings with supervisors, and submission of tasks outlined above Session 14～15: Final reflections and report <u>状況によりスケジュールを変更する場合があります。</u> 1～2: 事前指導（履歴書の書き方、会社訪問やマナー、職場に必要なコミュニケーション） 3～13: ミーティング・課題提出 14～15: 振り返り、最終レポート
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int.Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習（予習・復習） 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料が配布されます。

参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers of participants are strictly limited, and a high standard of conduct is required of all. Participants must attend all meetings, and submit all tasks. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。すべてのミーティングに出席し課題を完成させなければなりません。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction will be mostly given in Japanese but English support will be available. Students will be required to go to the company office to attend staff meetings, which may end later than 15:50, so students who plan to take another class from the next period will not be able to participate in this internship. 指導は主に日本語で行いますが英語のサポートもあります。学生が会社で出席する会議は15:50以降に終了する場合があるため、16:00から別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wednesday 12:40~14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」（水曜日12:40~14:10）をも履修することを強くお勧めします。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップBー地域ツーリズムー Internship BーRegional Tourismー
副題 subtitle	インターンシップ B: 地域ツーリズム
対象学生	Exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese. 中上級以上の日本語能力あるいは高い英語能力と中級日本語能力を持つ交換留学生
必修・選択	選択
単位 credit	(2 Credits) 2単位
学期 semester	(II Semester) 後期
曜日 day 時限 period	Thursday 木曜日 9・10 (16:00~17:30)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the tourist industry. このインターンシップは 観光業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	It gives students first-hand experience of work in regional tourism. 学生に地域ツーリズムの実体験をさせるものです。
授業の内容予定 schedule of the class	Students will work at a tourist facility, Tsugaru Han Neputa Mura for 6 Saturdays spread out over the semester (Dates to be confirmed.) They will be required to support a wide range of staff duties in addition to translating printed materials and coaching staff in the pronunciation of their own language. A measure of remote work may be assigned, depending on circumstances. 6日間学期中の土曜日に津軽藩ねぶた村に勤務する(日程は後日確定)。翻訳やスタッフの発音指導を行い、各種の業務をサポートする。状況により、実習の一部をリモートで行うかもしれません。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料を提供します。
参考文献 references	N/A
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
授業形式・形態及び授業 方法 class format	After preliminary guidance, students will undertake tasks they are assigned at their workplace. They will be required to submit a final report. 事前指導を受けてからインターンシップ先で課題に取り組みます。終了時にレポートを提出します。

留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。
オフィスアワー Office hour	Email to make an appointment. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wednesday 12:40~14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」（水曜日12:40~14:10）をも履修することを強くお勧めします。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	Internship B-Hospitality management インターンシップB-ホスピタリティ-経営
副題 subtitle	
対象学生	International exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency (N2 or preparing for the N2 test) 中上級以上(N2、あるいはN2の日本語能力試験を受ける予定) の交換留学生
単位 credit	2
学期 semester	Semester II (後期)
曜日 day 時限 period	Friday 金曜日 9・10
授業形式 class format	Instruction, internship, reflection 指導、インターンシップ、振り返り
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部) Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire valuable skills for working in the hospitality industry. このインターンシップは ホスピタリティ業界で働くための貴重なスキルを身につけることを目的とします。
授業の概要 course description	Students will work at a resort hotel for 3 weekends spread over the semester. (Dates to be confirmed.) They will be required to support a wide range of staff duties. リゾートホテルで3回、週末に泊まり込みで勤務する(日程は後日確定)。スタッフの各種の業務をサポートします。
授業の内容予定 schedule of the class	1. Preliminary instruction 事前指導 2. Internship インターンシップ 3. Reflection 振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will be required to read and familiarize themselves with related resources. 関連資料の熟読をします。
教材・教科書 text	N/A

参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	<p>Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. Each of the 3 weekend sessions which take place at the hotel will start from early Friday afternoon and end on Sunday evening. (Lodging is provided) Therefore students who intend to enroll in other classes on Friday afternoons cannot participate in this internship.</p> <p>参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。3回行う週末の勤務は金曜日の昼から始まり、ホテルで宿泊して日曜日の夕方終了しますので、他の金曜日の午後の授業に履修している場合はこのインターンシップに参加できません。</p>
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	<p>Email to make an appointment. メールで予約をしてください。</p>
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>After preliminary training, students will undertake the tasks they are assigned at their workplace. They will be required to submit a final report.</p> <p>事前指導を受けてからインターンシップ先で実習に取り組みます。終了時にレポートを提出します。</p>
その他 other	<p>Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wednesday 12:40~14:10)</p> <p>このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」(水曜日12:40~14:10)をも履修することを強くお勧めします。</p>

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	インターンシップBーアートツーリズム、プロモーションー Internship B-Art Tourism and Promotionー
副題 subtitle	インターンシップ A: 美術観光とプロモーション
対象学生	International exchange students with a high level of English and/or other languages. 英語や他の言語の高い能力を持った交換留学生
単位 credit	2 Credits 2 単位
学期 semester	II Semester 後期
曜日 day 時限 period	Monday 月曜日 (14:20～15:50)
授業形式 class format	Internship (preparatory instruction/workplace experience/reflection) インターンシップ(事前指導/職場実習/振り返り)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Education and Collaboration) サワダ ハンナ ジョイ (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This internship aims to enable students to acquire skills required for working in a Japanese workplace through first-hand experience under the supervision of the Hirosaki Museum of Contemporary art. このインターンシップは 弘前れんが倉庫美術館の指導下で、日本の職場で必要とされるスキルを身に着けることを目的とします。
授業の概要 course description	After initial preparatory training, students will attend lectures to learn about the Hirosaki Museum of Contemporary art, conduct research regarding sources of information available to tourists from their own countries, engage in promotion and customer service, and assist at events held at the museum. 事前指導後、学生は弘前れんが倉庫美術館について学ぶためにレクチャーに出席し、各国の観光客の情報収集についてリサーチを行い、広報とお客様対応の実習に取り組み、イベントのサポートを行う。
授業の内容予定 schedule of the class	<u>Changes may be made to the following schedule depending on circumstances:</u> Sessions 1～3: Preparatory instruction. (Writing a personal history, first meetings and manners, communications related to the workplace) Sessions 4～13: Tasks outlined above Sessions 14～15: Final reflections and report <u>状況によりスケジュールを変更する場合があります。</u> 1～3: 事前指導 (履歴書の書き方、会社訪問やマナー、職場に必要なコミュニケーション) 4～13: 上記の課題への取り組み 14～15: 振り返り、最終レポート
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Grades will be based on work performance evaluated by internship supervisors. Students who require certification that they have participated in an internship in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int. Education and Collaboration. インターンシップ先の評価に基づいて採点を行います。成績証明書に加えインターンシップに参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students are required to read and familiarize themselves with resources. 関連資料を熟読します。
教材・教科書 text	Handouts will be provided. 資料が配布されます。
参考文献 references	N/A

留意点・予備知識 remarks	Numbers of participants are strictly limited, and a high standard of conduct is required of all. Participants must attend all sessions, and submit all tasks. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。すべての実習に出席し課題を完成させなければなりません。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment. メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction will be mostly given in Japanese but support will be available when needed. Students will be required to go to the Hirosaki Museum of Contemporary Art to engage in tasks between 14:20~17:30 on Mondays, so students who plan to take another class from 16:00 will not be able to participate in this internship. There will also be occasional weekend tasks. 指導は主に日本語で行いますが必要があればサポートもあります。弘前れんが倉庫美術館で月曜14:20~17:30に実習を行うため、16:00から別な授業を受ける予定の学生はこのインターンシップに参加できません。時々週末の実習もあります。
その他 other	Students who participate in this internship are strongly recommended to gain background knowledge of the Tsugaru region where this company is located by also enrolling in "Survey of the cultural history of the Tsugaru region" (Wed. 12:40~14:10) このインターンシップに参加する学生は現地の津軽地域について知識を身に着けるために「津軽の近代文化史」（水曜日12:40~14:10）をも履修することを強くお勧めします。

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	TESOL－ティーチング・プラクティスⅡA TESOL－Teaching Practice ⅡA
副題 subtitle	
対象学生	International students who are native speakers of English , or have a high level of English language proficiency
単位 credit	2
学期 semester	Semester II
曜日 day 時限 period	Tuesday 9・10 (16:00～17:30)
授業形式 class format	Instruction, preparation, teaching practice and reflection.
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Natsuko Tatsuta (Institute for Promotion of Higher Education), Sato Tsuyoshi (Faculty of Education), Brian Birdsell (Institute for Promotion of Higher Education), Hannah Joy Sawada (Dept. of Int. Ed and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This class aims to provide instruction and practical training in teaching English to speakers of other languages.
授業の概要 course description	Participants will receive instruction and supervision regarding preparation of activities/exercises aimed to enhance English language acquisition. They will implement this content in classes held by the lecturer for Japanese students.
授業の内容予定 schedule of the class	1. Meeting (instruction, preparation and reflection) will be undertaken on Tuesdays 9・10. 2. Participants will practice teaching the content they have prepared at 13 classes. (Days for practice will be negotiated, not to clash with other classes that participants are required to enroll in.)
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Reflection paper of teaching practice: 80% Final paper: 20%
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Participants are required to attend meetings on Tuesdays 7・8 to prepare for teaching practice, and will practice teaching at least once a week, for a total of 13 times at English language classes conducted during the semester. They will complete a reflection paper after each teaching practice.
教材・教科書 text	N/A
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Both a high level of English language proficiency and a basic level of Japanese language proficiency or above are required in addition to enthusiasm regarding education.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	総合教育棟2F B206-4 Tuesdays 10:30-12:00 Thursdays 10:30-12:00
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	tatsuta*hirosaki-u.ac.jp (replace the @ with *)
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction, practice and reflection
その他 other	A certificate of completion will be issued to those who have earned credits.

※上記の内容は変更される場合があります。
※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	Childhood Education - Teaching practice IIB 児童教育—ティーチング・プラクティスIIB
副題 subtitle	
対象学生	Exchange students who have upper intermediate Japanese language proficiency OR a high level of English along with a minimum of intermediate level Japanese. 中上級以上の日本語能力あるいは高い英語能力と中級日本語能力を持つ交換留学生
単位 credit	2
学期 semester	Semester II 後期
曜日 day 時限 period	Friday (金) 7・8 (14:20～)
授業形式 class format	Instruction, preparation, practice, reflection 指導、準備、実習、振り返り
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This class aims to give students a deeper understanding of childhood education in Japan and an opportunity to practice teaching children multicultural understanding. 日本における児童教育について理解を深め、多文化理解を育む教育の実習を行う。
授業の概要 course description	Participants will be given initial instruction, and prepare activities to foster multicultural understanding for children, primarily of kindergarten and elementary school age. They will implement these activities in educational facilities, and reflect on their practice to improve outcomes. 事前指導後、保育園児や小学生向けに国際理解を育むアクティビティを準備し、教育機関で実習を行う。実習後、振り返り、改善方法を考える。
授業の内容予定 schedule of the class	1. Initial Instruction and preparation 事前指導、準備 2. Core teaching practice at Kindergarten/after school facilities every other week 隔週、保育園や児童館で実習 (Additional visits to other facilities may also be undertaken, for further experience 他の施設を訪問する機会もあるかもしれません) 3. Reflection on activities 実習の振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Participants grades will be based on evaluations of performance completed by staff of facilities visited, and their own reflections. 実習先の評価と振り返りレポートに基づいて採点を行います。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will prepare for teaching practice and reflect on their performance to consider possible improvements. 実習内容の準備をし、振り返りを通して改善を検討する。
教材・教科書 text	N/A
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. On days that practice is undertaken at educational facilities, students will not be able to return to University until 17:30, so they must keep this time slot free. 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。実習を実践する日は17:30まで大学に戻れませんので、この時間帯を開けておく必要があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment メールで予約してください。

Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction/practice in person.
その他 other	Students who require certification that they have participated in teaching practice in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int.Education and Collaboration.成績証明書に加え実習に参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域プロジェクトティーチングプラクティス IIC Community Project -Teaching Practice IIC
副題 subtitle	
対象学生	International students 留学生
単位 credit	2
学期 semester	Semester II (後期)
曜日 day 時限 period	Monday 9・10
授業形式 class format	Instruction, preparation, practice, reflection 指導、準備、実習、振り返り
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	Hannah Joy Sawada (Dept. of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	This class aims to give students a deeper understanding of community in Japan and an opportunity to practice teaching children multicultural understanding. 日本におけるコミュニティの理解を深め、多文化理解を育む教育の実習を行う。
授業の概要 course description	Participants will be given initial instruction, and prepare activities to foster multicultural understanding for children in a community project managed by Supo-netto-Hirosaki. They will implement these activities and reflect on their practice to improve outcomes. 事前指導後、スポネット弘前の運営するコミュニティプロジェクトで子供のための国際理解を育むアクティビティーを準備し、実習を行う。実習後、振り返り、改善方法を考える。
授業の内容予定 schedule of the class	1. Initial Instruction and preparation 事前指導、準備 2. Facilitation of activities to foster cultural understanding for children who gather at a community hall every other week. 隔週、弘前市民文化交流館で集まる子供と文化理解を育むアクティビティーを実施する。(Additional visits to other facilities may also be undertaken, for further experience 他の施設を訪問する機会もあるかもしれません) 3. Reflection on activities 実習の振り返り
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	Participants grades will be based on evaluations of performance completed by project supervisors, and their own reflections. プロジェクトのスーパーバイザーの評価と振り返りレポートに基づいて採点を行います。
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	Students will prepare activities and reflect on their performance to consider possible improvements. 実習内容の準備をし、振り返りを通して改善を検討する。
教材・教科書 text	
参考文献 references	N/A
留意点・予備知識 remarks	Numbers are strictly limited and a high standard of conduct is required. On days that community activities are undertaken, students will be engaged until 18:00, so they must be prepared to adapt their schedules . 参加人数は制限され、責任のある行動が要求されます。実習を実践する日は18:00までかかるので、スケジュールを調整する必要があります。
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment. Eメールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	Instruction/practice in person. 指導と対面の実習

その他 other	Students who require certification that they have participated in teaching practice in addition to their academic records should make their request known to the Support office of the Dept. of Int.Education and Collaboration. 成績証明書に加え実習に参加したことを証明する書類が必要な学生は国際連携本部のサポート・オフィスへご連絡下さい。
-----------	--

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	地域観光と地域プロモーションB Tourism and Regional Promotion B
副題 subtitle	
対象学生	日本語もしくは英語が中級レベル以上の外国人留学生 International students who have at least intermediate proficiency either in Japanese or English
単位 credit	2 単位 (2 Credits)
学期 semester	後期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	木 1・2 (1・2 Thursday)
授業形式 class format	講義、ディスカッション、校外学習、発表 Lectures, Discussions and Presentations
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	鹿嶋 彰 (非常勤講師) KASHIMA, Akira
授業としての具体的到達目標 goal of the class	①津軽地域の具体的なイメージを持ち、それを伝えることができる ②①のイメージをもとに、観光を核にした地域プロモーションについて、外国人留学生の視点ならではの建設的な意見を持てるようになる ①The goal is to create a concrete image of the Tsugaru region and explain it to the others. ②Be able to offer constructive opinions from the perspective of an international student regarding regional promotion centered on tourism.
授業の概要 course description	○観光を通じた地域プロモーションの話題を通して、弘前を中心とした津軽地域について学びます。 Learn about the Tsugaru region centered on Hirosaki through the topic of regional promotion through tourism. ○津軽地域の多様な観光資源とその可能性について検討します。 Learn about the Tsugaru region centered on Hirosaki through the topic of regional promotion through tourism.
授業の内容予定 schedule of the class	○津軽の自然、歴史、食、農業、祭り等について検討し、皆さん自身の留学生の視点からの津軽地域プロモーションプランの作成に繋がります。 We will discuss Tsugaru's nature, history, food, agriculture, festivals, etc. and help you create your own Tsugaru region promotion plans from the perspective of an international student. ○「弘前を中心とした津軽・青森県の地理歴史」、「弘前とその周辺の歴史的建造物」、「十和田湖、奥入瀬を中心とした青森の自然」、「青森県の縄文文化」等に関連した話題について学び、これらの観光資源としての可能性の検討、これらを用いた地域プロモーションプランの作成を行います。具体的な授業プランは1回目の授業で説明します。 Learn about topics related to "Geography and history of Tsugaru centered on Hirosaki", "Historical buildings in Hirosaki and its surrounding areas", "Nature of Aomori Prefecture centered on the Lake Towada and Oirase Gorge", and "Jomon Pre-historical Culture in Aomori Prefecture" etc, and explore those tourist resources. We will examine the potential of those as tourism resources and create regional promotion plans using them. The specific lesson plan will be explained in the first meeting. ○3回程度、フィールドトリップを実施する予定です。フィールドトリップは週末に行う可能性があります。 We plan to conduct field trips three times. Field trips will take place on weekends.
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	最終発表とレポート50%, 授業参加 (課題の達成度等を含む) 50% Final presentation and final written work 50%, Productive participation (including the degree of achievement of the task) 50%

準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	<p>○資料がある場合は、事前によく読んでください。 Students are required to read carefully related resources.</p> <p>○扱うトピックに関連のあるフィールドワーク、インターンシップを経験している学生は、自分の経験、知識を言語化して、他の学生とシェアできるよう準備をしてください。 Students who have experience in fieldwork or internships related to the topics covered should be prepared to verbalize their experiences and knowledge and share them with other students.</p>
教材・教科書 text	資料を配ります。Handouts will be provided.
参考文献 references	TBA
留意点・予備知識 remarks	<p>○授業は日本語、英語の一方もしくは両方を使って行います。主に使用する言語は、一回目の授業で決めます。 Classes will be conducted either in Japanese or English, or both of the two languages. The main language to be used in the classroom will be confirmed during the first meeting.</p> <p>○参加者の人数は20名程度までとします。 The number of participants is limited to around 20 students.</p> <p>○参加学生は、地域のフィールドトリップを含む授業やインターンシップ関連授業を履修済みもしくは平行して履修することを強くお勧めします。 It is strongly recommended that participating students have already completed or taken concurrently courses that include local field trips and/ or internship-related courses.</p>
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	<p>質問は、授業の前後かemail/ Teamsでしてください。 Please ask questions before or after class or by email/ Teams if you have any.</p>
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	akashima_hirosaki@yahoo.co.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	講義、グループディスカッション、プレゼンテーションによる授業です。 Lectures, group discussions, presentations
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
※The above content is subject to change.

授業科目名 subject [英文名]	自主研究 IIA Seminar IIA
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生または授業担当教員が管理するJASSOプログラムで奨学金を受けている学生 Sected students, students under designated JASSO Scholarship
単位 credit	2
学期 semester	後期 Semester II
曜日 day 時限 period	個別相談 By appointment
授業形式 class format	ゼミ Seminar
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	諏訪淳一郎 SUWA Jun'ichiro (国際連携本部)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	それぞれの学修計画で志向する専門知識を深化させる。 To deepen understanding of the study materials.
授業の概要 course description	与えられたテーマに関する文献購読、討論、論文の作成。テーマや教材は原則として学生が選ぶ。 Readings, discussions and/or essay writing about the course materials. The materials are chosen by the student.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進めていく。 Based upon discussion between the student and instructor
成績評価方法及び採点基準 method of evaluation	Discussions and participation 100% (this is a seminar class)
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。 TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	JASSOプログラムで指定している場合は必ず履修すること。 Requirement for disgnated JASSO programs absolutely.
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	水曜日 9・10 時限目 Wednesday 9・10 period
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	suwa@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	日本語または英語 JP or EN (student's choice)

その他 other	JASSOプログラムが不採択であった場合は学修計画の提出により開講を判断する。 When there is no JASSO scholarship, individual students might be able to enroll upon submitting a study plan.
-----------	--

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	自主研究 IIB Seminar IIB
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生 Students who have the approval of the lecturer
単位 credit	2
学期 semester	後期・Semester II
曜日 day 時限 period	個別相談 By appointment
授業形式 class format	自主研究 Independent research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	サワダ ハンナ ジョイ Hannah Joy Sawada (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	学生がこの授業において志向する専門知識を深めること。To deepen the understanding of the student in their chosen field of knowledge.
授業の概要 course description	選ばれたテーマに関する日本語または英語の文献購読と対論や英文課題作成。 Readings, discussions in Japanese or English and/or written assignments in English.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進める。Based on discussion between the student and instructor.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物に基づいて採点する。Based on assignments.
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	指導の可能な分野は近代の日本文学、特に津軽地方の文学やその文化的背景、女性による文学と歴史的背景、戦後に書かれた戦争文学や絵本です。指導について許可を求める際は具体的な学習計画を持参してください。Supervision can be requested for independent research in regional studies or modern Japanese literature, particularly literature of the Tsugaru region and/or its cultural background, women's literature and its history, war literature written in post war Japan and picture books. Students are asked to bring a concrete study plan when they come to request supervision.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	Email to make an appointment メールで予約してください。
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	hannah@hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	Readings and discussions in Japanese and English, in accordance with students' needs. Written assignments to be submitted in English. 文献購読や対論は学生のニーズに合わせて日本語、あるいは英語で行います。課題は英語で提出していただきます。
その他 other	

※上記の内容は変更される場合があります。
 ※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	自主研究 IID Seminar IID
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した留学生 International Students who have the approval of the lecturer
単位 credit	2
学期 semester	後期・Semester II
曜日 day 時限 period	月曜日 (Monday) 7・8(14:20～15:50)
授業形式 class format	自主研究 Independent research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	澤田真一 Sawada Shinichi (人文社会科学部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	学生がこの授業において志向する専門知識を深めること。To deepen the understanding of the student in their chosen field of knowledge.
授業の概要 course description	選ばれたテーマに関する日本語または英語の文献購読、対論や課題作成。日本人学生とゼミに参加し、そこで研究成果を発表する。 Readings, discussions and/or written assignments in Japanese or English Participation in seminar meetings held with Japanese students, and presentations of findings there.
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進める。Based on discussion between the student and instructor.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物に基づいて採点する。Based on assignments and presentations
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す。TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	指導の可能な分野は多文化共生、ケア、ジェンダー、セクシュアリティ、障害。指導について許可を求める際は具体的な研究計画を持参してください。Supervision can be requested for independent research in multi-cultural interdependence, care, gender, sexuality, or disability. Students are asked to bring a concrete study plan when they come to request supervision.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	By appointment
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	ssawada@hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	Readings and discussions are conducted primarily in Japanese and where necessary, in English. Written assignments are to be submitted in either Japanese or English. 文献購読や対論は主に日本語、そして必要に応じて英語で行われます。課題は日本語か英語で提出していただきます。
その他 other	人数に制限があります。中級以上の日本語能力が必要となります。履修が認められた学生はゼミへの出席と研究への熱心な取り組みが求められます。There is a limit to the number of applicants who can be approved. Applicants should have intermediate level Japanese proficiency or above. Approved applicants are required to be consistent in their attendance and dedicated to their studies.

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	自主研究 IIE Seminar IIE
副題 subtitle	
対象学生	授業担当教員が許可した学生 Students who have the approval of the lecturer
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	後期 (II semester)
曜日 day 時限 period	個別相談 By appointment
授業形式 class format	自主研究 Independent research
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	長尾 和子 NAGAO, Kazuko (Department of International Education and Collaboration)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	それぞれの学修計画に必要な専門知識を深めること To deepen the understanding of the student in their chosen field of knowledge
授業の概要 course description	選ばれたテーマに関する文献購読と討論・アドバイジングや課題実践 Readings, discussion, advising and assignment practice on selected topics
授業の内容予定 schedule of the class	授業担当教員と学生で適切な内容について話し合いながら進める Based on discussion between the student and instructor.
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	成果物 (学修ダイアリー20%、中間報告30%、最終発表50%) に基づいて採点する。 Grading will be based on the deliverables (Learning diary 20%, the interim oral report 30% and for the final presentation 50%).
準備学習 (予習・復習) 等の内容 preparation for class	その都度指示を出す TBA
教材・教科書 text	未定 TBA
参考文献 references	未定 TBA
留意点・予備知識 remarks	指導の可能な分野は応用言語学 (言語教育・学習、自律言語学習、中間言語語用論、ポライトネス)、タンデム言語交換、異文化間コミュニケーションに関する研究です。指導について許可を求める際は具体的な学修計画を持参してください。Supervision can be requested for independent research in Applied Linguistics (Language education and learning, Self access language learning, Interlanguage pragmatics, Politeness), Tandem language exchange and Intercultural Communication. Students are asked to bring a concrete study plan when they come to request supervision.
授業内容に関する質問・ 疑義等 Office Hours	金曜 12:40-14:10 要予約 Friday 12:40-14:10 by appointment
Eメールアドレス・HPア ドレス E-mail address・HP address	kazuko.nagao@hirosaki-u.ac.jp
授業形態及び授業方法 Class form and method	主に日本語による指導です。英語・スペイン語を補助的に使うこともあります。 Instruction is primarily in Japanese. English and Spanish may be used as an adjunct.

その他 other	<p>受け入れ人数に制限があります。中級以上の日本語能力が必要となります。</p> <p>There is a limit to the number of applicants who can be approved. Applicants should have intermediate level Japanese proficiency or above.</p>
-----------	---

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	英語による日本の文化と文学学習 Japanese Culture and Literature in English
副題 subtitle	英語による日本の文化と文学学習/Japanese Culture and Literature in English
対象学生	1, 2, 3, 4 留学生
単位 credit	2
学期 semester	後期/second semester
曜日 day 時限 period	火/Tue 9・10
授業形式 class format	講義科目・lecture
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	SOLOMON JOSHUA LEE
授業としての具体的到達目標 goal of the class	<p>○近現代日本における文学、聴覚、および視覚的な大衆文化の鑑賞・分析の方法を身に着けること</p> <p>○「近代」および「ポストモダン」に関する基本的な知識を得ること</p> <p>○ To learn techniques for appreciating and analyzing literary, audio, and visual works in modern Japan.</p> <p>○ To gain a fundamental understanding of the concepts of "modernity" and "postmodernity."</p>
授業の概要 course description	<p>この授業で、学生は日本における文学、聴覚、および視覚的な大衆文化を鑑賞して分析し、「近代」および「ポストモダン」に関する基本的な知識を得る。内容は近代から現代に渡り、短編小説、音楽、アニメ、映画など、多ジャンルのメディア媒体を学習する。授業は「早期の大衆文化」「都会化のホラー」「異界と身体」そして「世界の終焉」といった四つの大きなユニットからなっており、環境被害、核戦争、近代的な主体性、テクノロジーなど、多様なテーマを取り扱うことになる。</p> <p>*授業での講義・ディスカッションは原則英語で行うが、必要に応じて補助的に日本語を使うことがある。 *授業や宿題で視聴する動画は日本語の音声に英語の字幕が付く。読む宿題は基本として言語が選択できる。</p> <p>In this course, students will read, watch, listen to and then analyze various forms of Japanese popular culture and gain basic knowledge about modernity and postmodernity. The class contents range from the early modern to the contemporary, and texts will be from a variety of media including short stories, music, anime, and film. The class is divided into four units, "Early Examples," "Horror of the City," "Otherworlds, Other Bodies," and "Apocalypse," and we will touch on themes such as environmental damage, nuclear war, modern subjectivity, and technology.</p> <p>*Class lectures and discussion will primarily be held in English, but Japanese may be used to supplement when necessary. *Videos used in class and for homework will use Japanese voice with English subtitles. Homework readings will be provided in both English and Japanese whenever possible."</p>

授業の内容予定 schedule of the class	<p>Class 1: Orientation and basic definitions Early Examples Class 2: Early popular culture in Japan: Edogawa Rampo Class 3: Tsugaru-jamisen and Capitalism Class 4: The folk, religion, monsters: Kobayashi Masaaki Horror of the City Class 5: "Ringu" and urban horror Class 6: "Perfect Blue" and neurosis Class 7: "Monkey Brain Sushi" and postmodern life Otherworlds, other bodies Class 8: "Tehxnolyze" and bodies (psyches) in pieces Class 9: Mid-term Presentations: Reading "Robot Carnival" Class 10: "Summer War" and profligacy Apocalypse Class 11: "Japan Sinks" and environmental apocalypse Class 12: "Starship Yamato" and politics of the apocalypse Class 13: "Godzilla" and nuclear apocalypse Class 14: "Akira" and living the apocalypse Class 15: Review, final presentations, and Cool Japan</p> <p>授業の進行状況により以上のスケジュールを調節することがあります。 The above schedule may be adjusted depending on the progression of the class."</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	<p>パーティシペーション（毎回の短文、クラス・ディスカッションへの積極的参加） 40 % 中間プレゼンテーション 25 % 期末 プロジェクト 35 % Participation (weekly short writing, active participation in group discussion): 40% Mid-term Presentation: 25% Final Project: 35%</p>
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	<p>〔予習〕毎週、授業の前に作品を熟読し、クラス・ディスカッションを基にする短い考察文を書くこと。 Carefully read assignments before class and prepare notes for class discussion each week. 〔復習〕毎週、授業内容をノートで記録し、以降の授業のクラス・ディスカッションなどで参照すること。 Write and organize notes after each class, and refer to them in future class discussions.</p>
教材・教科書 text	授業に配布される／To be distributed in class
参考文献 references	特になし
留意点・予備知識 remarks	<p>クラス・ディスカッションおよびショート・プレゼンテーションを含めて、授業時間はバイリンガルで行う可能性があります。 Class may be conducted bilingually, including class discussion and short presentations.</p>
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	<p>総合教育棟2F B209 月曜日 9:00-12:00 その時間帯以外はメールによる予約で対応する。 Mondays 9:00-12:00, or by e-mail appointment</p>
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	jsolomon*hirosaki-u.ac.jp

授業形態及び授業方法 Class form and method	受講生による主体的なクラス・ディスカッションに、適宜、教員が文脈づけるように解説を交えます。 Class participants will actively participate in class discussion, with the instructor providing explanation and context as appropriate.
その他 other	Students are encouraged to use the resources of the English Lounge to help with their presentations and class comprehension: English Lounge イングリッシュ・ラウンジ https://home.hirosaki-u.ac.jp/salc/

※上記の内容は変更される場合があります。

※The above content is subject to change.

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject [英文名]	日本の歌と文化 <i>Japanese Songs and Culture</i>
副題 subtitle	歌って、遊んで、考える <i>Singing, Playing and Thinking</i>
対象学生	留学生
単位 credit	2 単位 (2 Credits)
学期 semester	後期 (II Semester)
曜日 day 時限 period	水曜日 (Wednesday) 7・8 時限 (14:20~15:50)
授業形式 class format	演習 (Activities)
担当教員 (所属学部) lecturer (faculty)	小田 直弥 (教育学部) ODA, Naoya (Faculty of Education)
授業としての具体的到達目標 goal of the class	○日本の言葉や文化の理解を、歌うことや遊ぶこと、また日本の伝統楽器の演奏を通して深める。 Deepen understanding of Japanese language and culture through singing, playing, and playing traditional Japanese instruments.
授業の概要 course description	<p>現在、日本の歌はJ-POPやアニメソング等を通して、広く世界に知られ、愛されている。一方で、それは日本の歌文化の一部である。本授業では、日本人ならば誰もが知っている「歌い継がれる歌」や「遊び歌」、「地方の歌」を取り上げ、また日本の伝統楽器を演奏する活動を通して、日本語や日本の文化のより深い理解を目指す。</p> <p>Today, Japanese songs are widely known and loved around the world through J-POP and anime songs. On the other hand, it is only a part of Japanese song culture.</p> <p>This class aims for a deeper understanding of the Japanese language and culture through activities involving traditional songs known to all Japanese people and playing traditional Japanese musical instruments.</p>
授業の内容予定 schedule of the class	<p>第1回：イントロダクション、自己紹介 Introduction</p> <p>第2回：遊び歌：もしもしかめよ ※けん玉を使用します Singing and Playing: The Rabbit and the Turtle ※Using Kendama</p> <p>第3回：遊び歌：こんびらふねふね (香川県) Singing and Playing: Konpira fune fune (Kagawa region)</p> <p>第4回：遊び歌：ぼうがいっぱいあったとさ 歌い継がれる歌：ふるさと Singing and Playing: There you go a straight line Singing: Furusato</p> <p>第5回：遊び歌：かごめかごめ 地方の歌：会津磐梯山 (盆踊り、福島県) Singing and Playing: Kagome-kagome Singing and Dancing: Aizu Bandaisan (Bon-odori, Fukushima region)</p> <p>第6回：遊び歌：あんたがたどこさ ※ボールを使います 地方の歌：五木の子守唄 (熊本県) Singing and Playing: Where are you? ※Using Ball Singing: Itsuki no komoriuta (Kumamoto region)</p> <p>第7回：地方の踊り：唐船ドーイ (沖縄県) 地方の歌：ていんさぐぬ花 (沖縄県) Dancing: Tooshin Dooi (Okinawa region) Singing: Tinsagu nu Hana (Okinawa region)</p>

授業の内容予定 schedule of the class	<p>第8回：古い日本の歌：百人一首 世界の歌：あなたの出身地域の歌を紹介しよう Old Japanese song: Hyakunin Isshu, One Hundred Poets Presentation: Introduce a song from your country</p> <p>第9回～第15回：日本の伝統楽器を演奏する Playing traditional Japanese instruments: Koto, Syakuhachi, Shinobue, Hichiriki ※12月6日（土）、7日（日）に集中講義として実施します。 The course will run as an intensive program on December 6th and 7th.</p>
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	<p>授業態度 (Participation) 10% 提出物 (Reflection paper) 30% レポート (Report Assignment) 60%</p>
準備学習（予習・復習）等の内容 preparation for class	<p>授業内で指示します It will be given in class.</p>
教材・教科書 text	<p>特に無し Nothing</p>
参考文献 references	<p>特に無し Nothing</p>
留意点・予備知識 remarks	<p>授業で扱う歌には、古い日本語や方言が含まれることから、授業内容を十分に理解するためにはN3以上の日本語能力が望ましい。 Because the songs covered in class include old Japanese and dialects, N3 or higher Japanese proficiency is desirable to fully understand the class content.</p>
授業内容に関する質問・疑義等 Office Hours	<p>メールもしくはTeamsで連絡してください。 Please contact me by email or Teams.</p>
Eメールアドレス・HPアドレス E-mail address・HP address	<p>n.oda7@hirosaki-u.ac.jp</p>
授業形態及び授業方法 Class form and method	<p>対面授業 In person classes</p>
その他 other	<p>定員：15名を超える場合は抽選を行います。 授業中、ボールやけん玉を使いますが、受講者は持参する必要はありません。 Capacity: 15 people If the number of participants exceeds the limit, a drawing will be held. Balls and Kendama will be used during the class, but students do not need to bring their own.</p>

※上記の内容は変更される場合があります。
※The above content is subject to change.